

令和7年度 事業概要



茨城県教育研修センター



目 次

茨城県教育研修センターの概要	1
茨城県教育研修センターの事業	2
茨城県教育研修センター施設案内図	3
茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標	4
1 研修に関する事業	
(1) 研修体系	
ア 教職員の資質・能力の向上を目指す研修体系	10
イ キャリアステージに応じた教員研修	11
(2) 研修講座一覧（育成指標との対応）	12
(3) 研修講座の受講申込み	17
(4) 研修講座の受講者決定	17
(5) 各種届の提出	18
(6) 研修履歴一覧の送付	18
(7) 研修講座資料等の提供方法	19
(8) 経費	19
(9) 緊急時の連絡方法	19
(10) 研修講座等日程一覧	20
(11) 研修講座実施要項	
ア 基本研修	32
イ 専門研修	
(ア) 悉皆研修	85
(イ) 推薦研修	
a 概要	122
b 実施要項	124
(ウ) 希望研修	
a 概要	132
b 実施要項	139
(12) 公開講義	194
(13) 特別研修	
ア 長期研修（内地留学）	197
イ スキルアップ研修	197
ウ 指導改善研修	197
2 教育研究に関する事業	198
3 研修支援に関する事業	200
4 教育相談に関する事業	203
5 教育情報の収集及び提供に関する事業	205
6 茨城県教育情報ネットワークに関する業務	205
7 いばらき輝く教師塾（Ⅰ期・Ⅱ期）	206
8 その他の事業	
(1) 茨城大学教職大学院との連携	209
(2) 常磐大学との連携	209
(3) 茨城キリスト教大学との連携	209

※ 本事業概要に掲載されている内容は、都合により変更する場合があります。

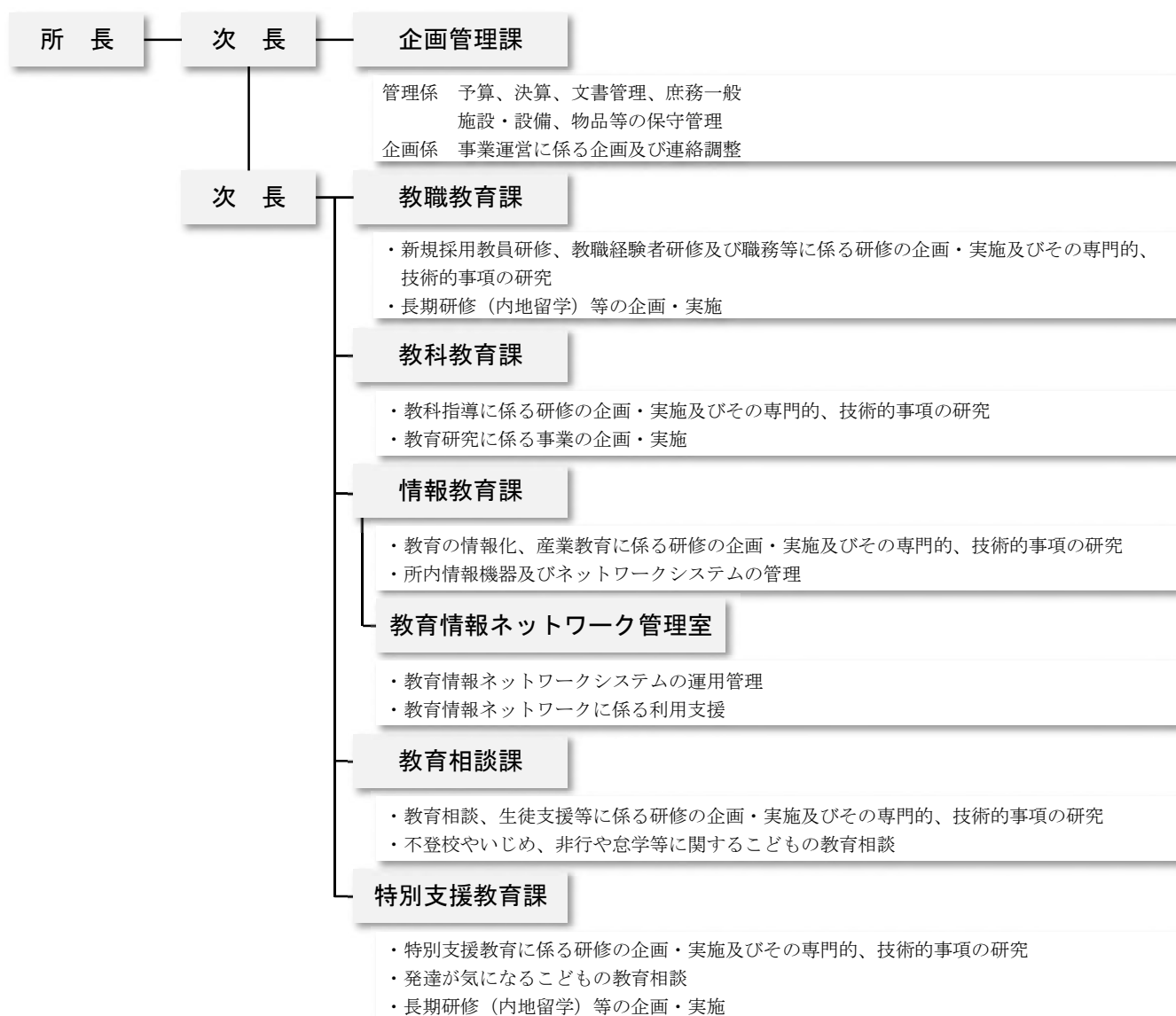
※ 本事業概要では、茨城県教育研修センターを、教育研修センター、研修センター、センターと略記しています。

茨城県教育研修センターの概要

沿革

昭和37年 6 月	茨城県立理科教育センターを設置
昭和39年12月	茨城県立理科教育センターを廃し、茨城県立教育研修センターを設置
昭和40年 4 月	茨城県立教育研修センターの業務開始
昭和52年 3 月	茨城県立情報処理教育センター管理規則制定
昭和52年 4 月	茨城県立情報処理教育センターを設置
昭和60年 3 月	教育庁内に茨城県立総合教育研修センター（仮称）建設調査委員会設置
平成元年 4 月	教育庁指導課内に茨城県立総合教育研修センター（仮称）調査準備室設置
平成 3 年12月	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例が制定され「茨城県教育研修センター」設置決定
平成 4 年 4 月	茨城県立情報処理教育センターを統合し、茨城県教育研修センターを設置
平成 6 年 4 月	6 課制が 8 課制に組織改編
平成11年 4 月	8 課制が 6 課制に組織改編
平成15年 4 月	「特殊教育課」を「特別支援教育課」に改称
平成16年 4 月	教職教育課内に「特別研修室」を設置
平成17年 4 月	企画管理課内に教育情報ネットワーク室を設置
平成19年 4 月	教育情報ネットワーク室を企画管理課から情報教育課に移管
令和 4 年 4 月	教職教育課内に学校経営支援グループを設置

組織

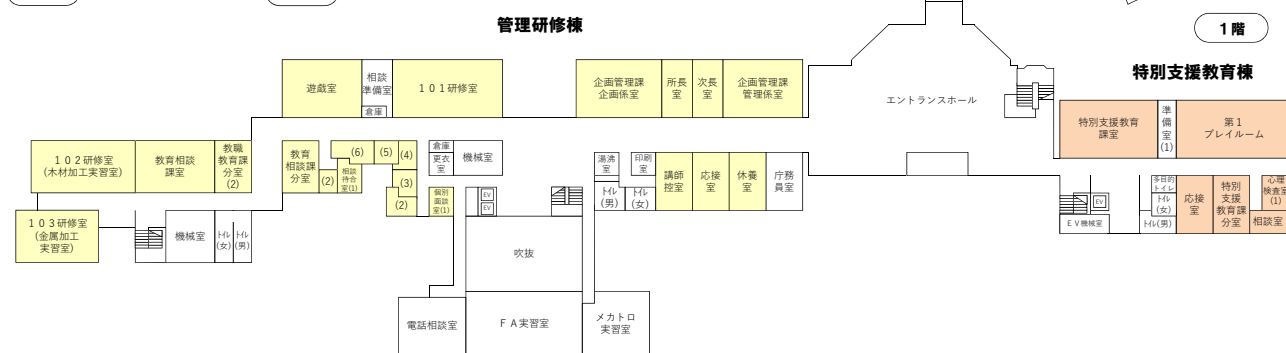
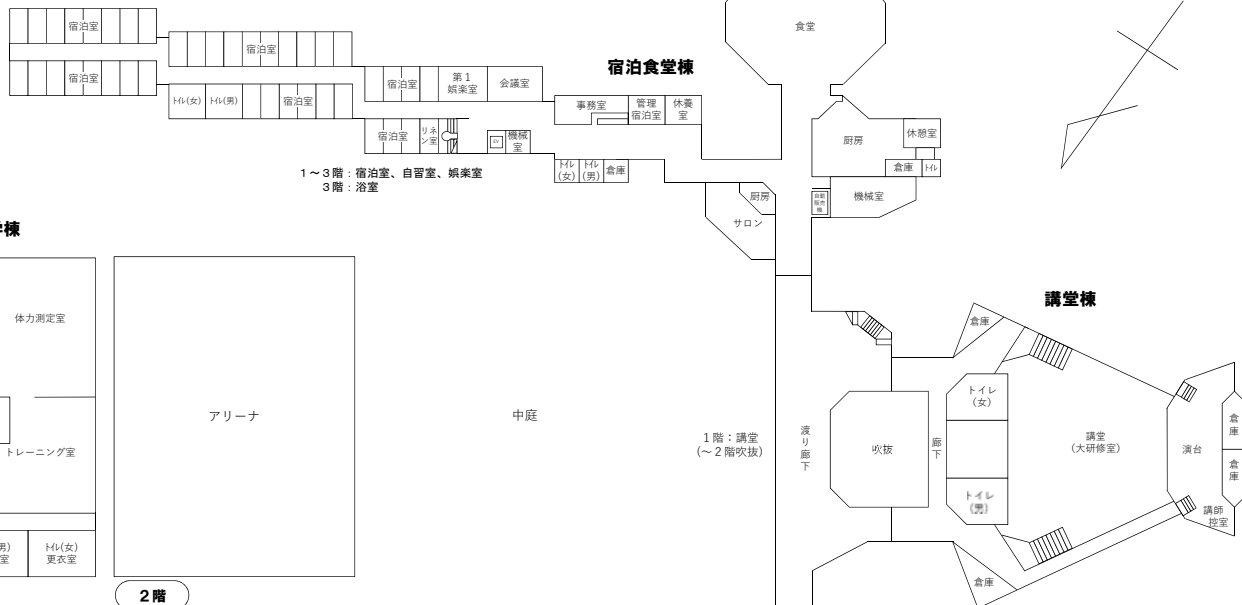


茨城県教育研修センターの事業

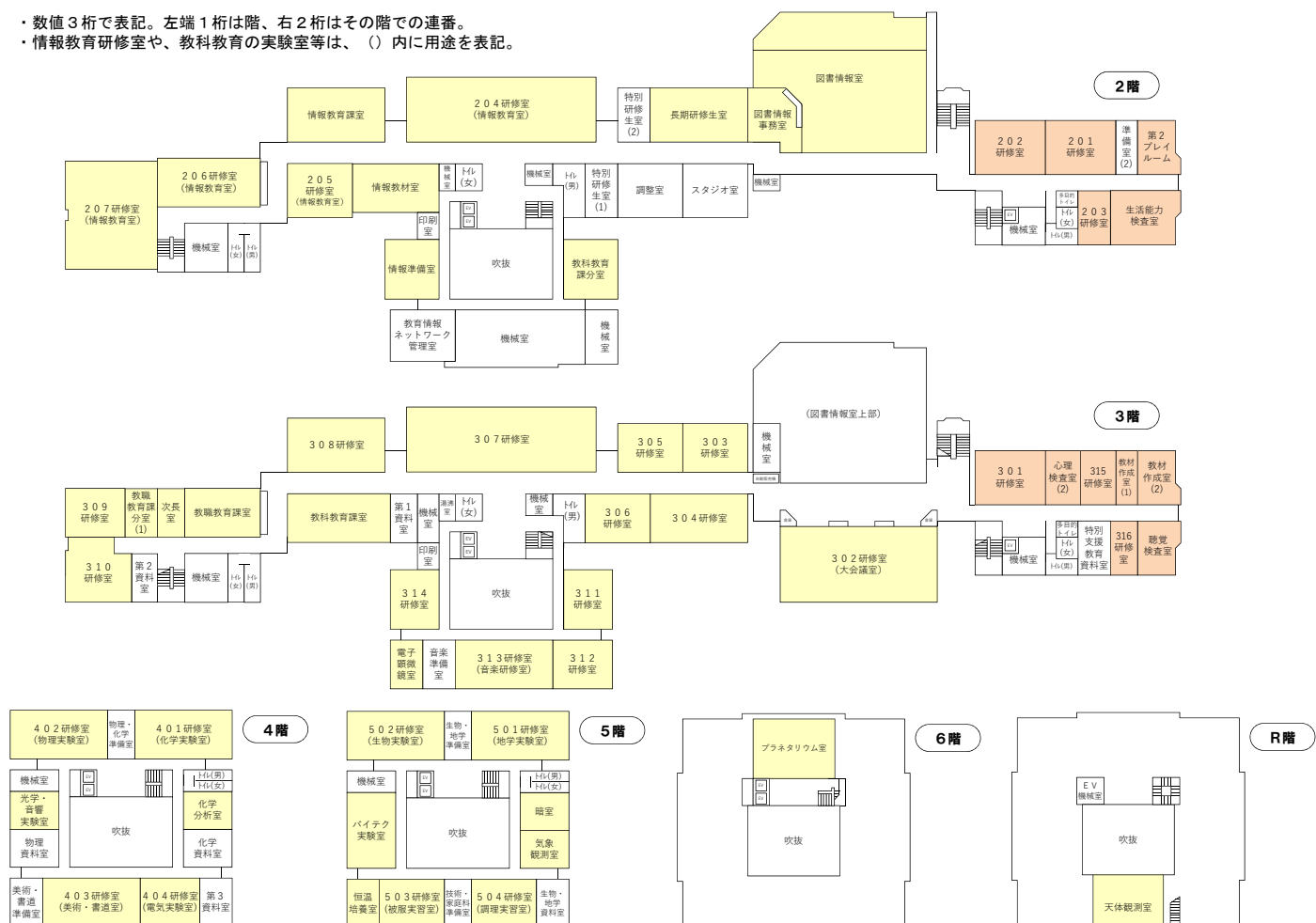


茨城県教育研修センター 施設案内図

敷地面積
106,180㎡
建築面積(延べ床面積)
17,881㎡



- ・数値3桁で表記。左端1桁は階、右2桁はその階での連番。
- ・情報教育研究室や、教科教育の実験室等は、()内に用途を表記。



茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

校 長

令和5年2月

項 目	指 標
① 学校経営 ※学校組織マネジメント	☐ 児童生徒や学校を取り巻く環境の変化を的確に捉え、法令や国・県・市町村の教育施策を踏まえた上で、教育の在り方を熟慮し、改革を果敢に行うことができる。 ☐ 学校の教育目標について、学校の実態を踏まえ、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々と連携しながら適切に作成し、公表することができる。 ☐ 学校の教育目標達成へ向け、研究体制を含む必要な組織体制を整備し、教職員を牽引することができる。 ☐ 学校の教育目標については、達成状況を常に検証し、結果を公表するとともに、それを踏まえて見直しを行うことができる。
② 学校管理 ※リスク・マネジメント クライシス・マネジメント	☐ 日頃から、災害や学校事故等に備えて緊急時の安全・救急体制を整備し、防止のための諸行動を計画的・効果的に教職員に指導・助言することができる。 ☐ 災害や学校事故等の不測の事態に対して、冷静かつ迅速に判断・指示し、教職員に組織的な行動をとらせることができる。 ☐ 学校運営にあたり、教職員とともに、どのような人的・物的・財政的・情報的な資源が必要かを考えて予算を立て、効果的・効率的に執行することができる。
③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	☐ 学校の教育目標の実現のため、児童生徒の実態に基づいて、適切な教育課程を編成し、教職員に指導・助言をすることができる。 ☐ 学校の教育目標の実現のため、教科・領域ごとの教育計画を立案し、教育活動を効果的に実践することができる。
④ 人材育成及び服務監督	☐ 児童生徒の能力の開発のために、教員が高い意欲をもって自己研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切な指導・助言をすることができる。 ☐ 教職員集団が、日々の教育実践を通して、お互い協力し高め合いながら、教育活動を進める学び合いの場となるよう、教職員を支えることができる。 ☐ 法令遵守について高い意識をもち、自らが模範を示すことにとどまらず、教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。 ☐ 教員がより高いパフォーマンスを発揮できるよう、勤務時間を適切に把握し業務の軽減を図るなど、働き方改革を進めることができる。 ☐ 教職員の心身の健康管理に努めるなど、教職員のワークライフバランスに関して適切な指導・助言をすることができる。
⑤ 連携・協力体制の構築	☐ 特別な配慮を必要とする児童生徒に対して適切な指導が行えるよう、関係機関と連携・協力体制を構築するとともに、教職員に指導・助言をすることができる。 ☐ 開かれた学校づくりを推進するため、様々な方法で、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。 ☐ 家庭や地域社会からの信頼と連携・協働の意識を得ることができるよう教職員に指導・助言をすることができる。
⑥ 職務遂行能力	☐ 学校の最高責任者として、高い使命感と誠実、公正、公平の意識を備えるとともに、自らの言動を絶えず省察し、校長職としての自己研鑽に努めることができる。 ☐ 豊かな経験と広い視野に基づき、児童生徒の成長を考え、校長としての考えを児童生徒・保護者・教職員等に説得力をもって伝え、行動の変容を促すことができる。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

共 通

令和5年2月

※共通の対象：教諭（講師含む）、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭

※小：小学校・義務教育学校前期課程、中：中学校・義務教育学校後期課程・中等教育学校前期課程、高（・高校）：高等学校・中等教育学校後期課程

《Ⅰ 基本的資質》

■1 教職に必要な素養 ※第1期～第4期…教員のキャリアを、経験年数を基に4期に分類

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
（1）社会人として	☐ 人間性が豊かで、言葉遣い、あいさつ、礼儀等の備えておくべきマナーをもって行動することができる。 ☐ ダイバーシティに関する知識があり、人権感覚を持って寛容の精神で人と接することができる。 ☐ 飲酒運転・性犯罪・暴力等についてコンプライアンス意識をもち、社会人として自分を律することができる。 ☐ 相手を尊重し、コミュニケーションを生かして、良好な対人関係を構築することができる。 ☐ 働き方改革の意識をもち、タイムマネジメント及びストレスマネジメントに配慮し、心身の健康の維持・増進に自ら努めることができる。			
（2）教員として	☐ 子供が好きで、一人一人の子供の捉え方が異なることを理解し、一方的でなく、個々の子供に寄り添った関係づくりができる。 ☐ 学習指導に際し、子供の既知等のレディネスを把握した上で、教材の選択や効果的な指導・支援方法を工夫することができる。 ☐ 自身の経験した過去より子供たちが生きる未来に目を向けて、キャリア形成につながる学びを提供できるよう、研修を重ねることができる。 ☐ ニーズが多様化する児童生徒や保護者等に柔軟に対応するとともに、困難な場合には上司や同僚から援助を受けて解決することができる。 ☐ 教育者として厚く信頼されるに足るコンプライアンス意識を有し、高い使命感をもって教育活動に励むことができる。 ☐ 教職員組織の一員として、カリキュラム・マネジメントに基づき、他の職員と協働し、実践と研修を続けることができる。			

《Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量》

■2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力 ※学力の三要素…「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、 若手教員への支援	学校運営への貢献、 若手・中堅教員への支援
（1）学習指導要領の理解等				
☐ 学習指導要領の主な目標を理解している。 ☐ 学力の三要素のそれぞれを育む重要性を理解している。	☐ 教科・学年・分掌部の目標における、指導内容、指導方法を理解している。 ☐ 学力の三要素の育成を目指しての指導ができる。	☐ 学習指導要領の内容の系統性（学年間、教科間、校種間）を理解している。 ☐ 学力の三要素を育むために効果的な指導ができる。 ☐ 学習指導に、積極的に外部人材（専門家）等を活用できる。	☐ 学習指導要領の内容の系統性を深く理解し、他の教員に指導・助言できる。 ☐ 学力の三要素の育成について、他の教員に指導・助言できる。	
（2）授業の展開				
☐ 授業（単元）を成立させるための要件（学習課題や評価基準の設定、評価方法等）を理解している。 ☐ 身に付けさせたい力に応じて教材を選択することが重要であると理解している。 ☐ 対話・体験・協働の場面を設定することが重要であることを理解している。	☐ 児童生徒の実態に応じた評価基準を設定することができる。 ☐ 本時の目標を達成させる授業をすることができる。 ☐ 単元のまとめの時間に学習のリフレクションを取り入れることができる。 ☐ 単元の中で、児童生徒の対話・体験・協働の場面を取り入れることができる。	☐ 単元の評価基準を適切に設定した上で指導計画を作成し、「導入・展開・まとめ」のつながりを考えて授業を実践できる。 ☐ 単元のまとめの時間にリフレクションを取り入れて、単元目標の達成状況を分析し、次の単元の指導に生かすことができる。 ☐ 単元目標の達成状況を評価する当たり、学習成果を表現・発信する場を設けることができる。 ☐ 学習内容に応じて、児童生徒が自ら対話・体験・協働の学び方を選択できるような場面を設けることができる。	☐ 個々の教員の授業の実態を把握し、適切な指導・助言を行うことができる。 ☐ 単元における、児童生徒の対話・体験・協働の場面に関して、教員に指導・助言を行うことができる。	

■ 2 児童生徒の主体的・対話的で深い学びを支える授業力

※ HR：ホームルーム（高）、「道徳」：「特別の教科 道徳」（小・中）

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
（3）教育課程、主体的・対話的で深い学び				
□ 学習課題、評価基準の設定の重要性を理解している。	□ 各教科・領域の役割を理解し、指導することができる。	□ 各教科・領域の目標に照らし、育みたい資質・能力の定着状況を把握している。 □ 把握した定着状況を基に、指導を改善することができる。	□ 教育課程編成表の内容を理解している。 □ 学校全体の指導計画を推進するための体制づくりを担うことができる。	□ カリキュラム・マネジメントを担い、教育課程の編成及び年間指導計画の作成を中心となって推進することができる。
□ 授業の立案に、主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れることが重要であることを理解している。	□ 授業を計画し、実践することができる。	□ 思考力、判断力、表現力等を育成することができる。	□ 思考力、判断力、表現力等の育成について、若手教員に助言することができる。	□ 教員の授業改善に向けた組織体制を構築することができる。
（4）探究的な（課題解決重視の）学び、ICTの活用				
□ 社会の急激な変化に対応するため、児童生徒が自ら問題を発見し、考え、他者と協働し、試行錯誤しながら解決に向けて行動する人材を育むための探究的な（課題解決重視の）学びが重要であることを理解している。	□ 探究的な学びを軸とした授業を実践することができる。 □ 児童生徒が疑問点を表明できる場面を設けることができる。	□ 探究的な学びを軸とした授業を工夫して実践できる。 □ 児童生徒が疑問点の解決に向けて試行錯誤できる場面を設けることができる。	□ 探究的な学びを軸とした授業を実践し、公開できる。 □ 探究的な学びをとらえて、児童生徒が自ら次なる課題を想起する授業を実践することができる。	□ 探究的な学びについて、児童生徒が自ら課題を見つけ、年間を通じて疑問を持ち続ける学習ができるよう教員に指導・助言することができる。
□ ICT活用最新の知識及び技術を理解している。 □ 授業におけるICT活用の意義や方法を理解している。	□ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、ICTを活用した授業を実践することができる。	□ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために、ICTを活用した授業を実践し効果を上げることができる。	□ ICTを活用した教科指導を積極的に推進し、教員に指導・助言することができる。	
（5）特別活動（シティズンシップ教育等）				
□ 子どもの権利条約に掲げられた意思決定・意見表明に係る教育の必要性を理解している。 □ よりよい社会の創造に貢献する市民となる資質を育む教育の重要性を理解している。	□ 学級会・HR活動において、係活動や役員選挙、ルールづくりなど、児童生徒の意思決定・意見表明の機会を設けることができる。	□ 学年行事・学校行事等において、学級・HRや学年の意見を集約し、反映させる自治的な取組を企画・実践し、望ましい集団づくりを推進できる。	□ 児童会・生徒会活動等において、学年等の意見を集約し反映させる体制づくりやリーダー育成を中心となって推進することができる。	□ 地域と連携して、自治体等の社会の体験的活動への参画を促進することができる。 □ 自治的な取組について、他の教員に指導・助言することができる。
（6）道徳教育				
□ 道徳教育の目標を理解している。 □ 道徳教育は、小・中では「道徳」、高では「公民科」・「特別活動」を要として、学校の教育活動全体を通じて行うものであることを理解している。	□ 小・中では「道徳」において、協働的な学びを取り入れた授業を構想し、実践することができる。 □ 高校では各教科・科目等において、協働的な学びを取り入れた道徳教育に係る授業を構想し、実践することができる。	□ 小・中では「道徳」において、協働的な学びの充実を図った授業を展開することができる。 □ 高校では各教科・科目等において、協働的な学びの充実を図った道徳教育の授業を展開することができる。	□ 小・中では「道徳」において、協働的な学びの充実を図った授業を公開することができる。 □ 高校では、道徳教育に係る授業等の取組を公開することができる。	□ 小・中では、「道徳」における協働的な学びを取り入れた効果的な指導法を、他の教員に指導・助言することができる。 □ 高校では、各教科・科目等における道徳教育の実践について、他の教員に指導・助言することができる。

■ 3 児童生徒を理解し支援する力

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
（1）子供の心身の発達への理解				
□ 児童生徒の心身の発達に関する知識を身に付けている。 □ 児童生徒の行動の背景を把握することが重要であることを理解している。	□ 児童生徒の行動を多面的にアセスメントし、面談等をおして、行動の背景等を把握することができる。	□ SCやSSW等の助言を、児童生徒の行動やその背景等のアセスメントに生かすことができる。	□ SCやSSW等の助言を生かして、アセスメントの方法等を改善し、校内で共有することができる。	□ アセスメントの方法等の改善やSC・SSW等の活用について、教員に指導・助言することができる。
（2）チーム支援				
□ 困難等を抱えた児童生徒に対しては、チームとして支援に当たることが重要であることを理解している。	□ 所属する学年等の教員と、情報を共有することができる。	□ 学年等のチームで決定した支援策を一員として適切に実践することができる。	□ 学年等のチームの会議において、支援策を提案することができる。	□ 学年等のチームにおいて、中心となって支援策を推進することができる。
（3）教育相談				
□ 基本的な理論や意義を理解している。 □ 公平かつ受容的・共感的な態度で児童生徒と関わるることができる。	□ 児童生徒との丁寧な関わりを心がけ、信頼関係を築くことができる。	□ カウンセリングマインドを身に付け、よりよい人間関係づくりに努め、児童生徒や保護者と信頼関係を築くことができる。	□ カウンセリングマインドを生かして児童生徒や保護者に寄り添った対応ができる。	□ 学校や関係機関等と保護者の連携の在り方について、教員に指導・助言することができる。
（4）いじめ対応				
□ いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうるということを理解している。 □ 法に示すいじめの定義を理解している。	□ 法が示すいじめ対応の手順を理解し、組織の中において実践できる。	□ 法が示すいじめの未然防止に係る様々な取り組みについて計画し、実践できる。	□ いじめの未然防止や解消に向け、専門家を活用して取り組むことができる。	□ いじめの未然防止と解消に関する幅広い知識をもち、解決へ向けた校内のチーム支援の中心的な役割を担うことができる。 □ 解決や支援の過程・結果を検証し、未然防止へ向けて教員に指導・助言することができる。
□ 校内暴力、児童虐待等のいじめ以外の学校における生徒指導上の諸課題を理解している。	□ 児童生徒を支援するチームの一員として、自分の役割を理解し、教職員間の連携方法を身に付けることができる。		□ 専門家や関係機関等との連携や校内の協力体制の整備に積極的に関わることによって、児童生徒や保護者等を指導・支援することができる。	
（5）キャリア教育				
□ キャリア教育の意義や基礎的な知識を理解している。	□ キャリア教育で育成すべき諸能力を理解し、キャリア教育を実践することができる。	□ キャリア教育で育成する基礎的・汎用的能力が身に付くよう、個に応じた適切な指導を行うことができる。		□ キャリア教育の全体計画・指導計画を作成することができる。 □ 計画に沿った教育活動を教員に指導・助言することができる。

■ 4 特別な配慮を必要とする児童生徒を支援する力

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
（1）特別支援学校・特別支援学級・通級による指導				
☐ インクルーシブ教育の理念を踏まえた特別支援教育に関する基礎的な知識を身に付けている。 ☐ 自立活動の指導に当たっては、個々の障害の状態や、発達段階等に応じて行うことが重要であることを理解している。 ☐ 各教科等の学習指導においては、自立活動と密接な関連があることを理解している。	☐ 適切な実態把握の下、「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」について、作成の意義を理解した上で、立案し、実践することができる。 ☐ 効果的な指導形態・指導方法を工夫することができる。	☐ 保護者や関係機関、教員との連携を図ることができる。 ☐ その上で、個々の自立と社会参加を見据えた「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を立案し、指導や支援に生かすことができる。 《特別支援学校》 ☐ 幼児教育施設、小・中・高校等に対し、対象幼児児童生徒への指導・支援に関して助言・援助することができる。	☐ 他の教員に特別支援教育の視点に基づいた適切な助言を行うなど、校内で中心的な役割を担うことができる。	☐ 校種間の円滑な接続による一貫した教育支援や、保護者や地域、関係機関と連携した支援体制の構築を中心となって推進できる。 ☐ 上記について、他の教員に必要な助言を行うことができる。
（2）（1）以外における特別支援教育				
☐ すべての学校・学級に対象児童生徒が在籍していることを理解している。 ☐ 特別支援教育の基礎的な知識を理解している。	☐ 「個別的教育支援計画」、「個別の指導計画」を活用し、個に応じた指導や必要な支援を行うことができる。	☐ 特別支援学級の担任と連携を図りながら、当該児童生徒に対して適切な指導ができる。	☐ 管理職や特別支援教育コーディネーターと連携を図りながら、他の教員に対し、特別支援教育の視点に基づいた適切な助言を行うことができる。	☐ 校種間の円滑な接続による一貫した教育支援や、保護者や地域、関係機関と連携した支援の体制構築を中心となって推進することができる。 ☐ 上記について、他の教員に必要な助言を行うことができる。

■ 5 学級・学年の経営と学校の運営に関する力

採用時の姿	第1期（形成期）1～5年	第2期（成長期）6～11年	第3期（発展・充実期）12～23年	第4期（貢献・深化期）24年～
	授業力・児童生徒理解の向上	教科・教職の専門性の向上	校務分掌等の企画調整、若手教員への支援	学校運営への貢献、若手・中堅教員への支援
（1）学級・学年の経営				
☐ 学級（HR）経営に当たっては、児童生徒の人間関係づくりや集団づくり、児童生徒の自治的な能力を育成することが重要であると理解している。	☐ 学校及び学年の組織目標を理解し、学級（HR）経営を行うことができる。 ☐ 児童生徒の自治的な能力を把握し、学級（HR）経営に生かすことができる。	☐ 学級や集団の状況及び課題を把握できる。 ☐ 児童生徒の自治的な能力に応じて、学級（HR）運営を担わせることができる。	☐ 保護者との信頼関係を基に協力体制を構築して、円滑な学年経営を行うことができる。 ☐ 児童生徒の好ましい人間関係づくり等、学年や学級（HR）経営について教員に指導・助言することができる。 ☐ 児童生徒の自治的な能力を引き出すとともに、学年運営や学級（HR）運営の中心に据えて教育活動を行うことができる。	
（2）学校組織マネジメント				
☐ 大学等において、サークルや団体活動等の運営に主体的に関わることができた。 ☐ 学校組織の特徴や役割を理解している。	☐ 学校教育目標を理解し、所属組織の目標達成に向け業務に当たることができる。 ☐ 学校教育目標を達成するために、他の教員と連携することができる。	☐ 学校教育目標を達成するために、所属組織の行事等について、企画・実行・検証・改善を行うことができる。 ☐ 所属組織が主管する行事等において、教職員の協働体制を構築することができる。	☐ 学校教育目標の実現に向け、個々の教員の特性を把握した上で、教員に指導・助言するとともに、学校外部との協力体制を構築することができる。 ☐ 家庭や地域社会、関係機関と連携するなど、学校内外の教育資源を活用し、学校の全体計画の立案・実行・評価・改善を行うことができる。	
（3）リスクマネジメント				
☐ 学校における子供の安心・安全を常に意識し、対応すべきであると理解している。	☐ 安全指導や防災教育等、児童生徒の安全の確保に向けて適切な指導ができる。 ☐ 事故発生時に的確な判断及び迅速な対応を行うことができる。 ☐ 情報モラル、情報セキュリティに関する最新の知識・技術を理解することができる。	☐ 安全指導や防災教育等の実施を計画し、児童生徒の安全の確保に努め、教員に指導・助言することができる。 ☐ 情報モラル、情報セキュリティに関する最新の知識・技術を理解し、指導・助言することができる。 ☐ 児童生徒の安全の確保のための管理及び非常事態に対応するための危機管理を行うことができる。		

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（特記事項）

【副校長・教頭】特記事項		令和5年2月
項 目	特記事項	
① 学校経営 ※学校組織マネジメント	☐ 児童生徒や学校を取り巻く環境の変化を的確に捉え、法令や国・県・市町村の教育施策を踏まえた上で、校長と同様の視点をもって校長を補佐し、教育の在り方を熟慮し、校長の行う改革を支えることができる。 ☐ 学校の教育目標について、校長を補佐し、学校の実態を踏まえ、教職員、児童生徒、保護者、地域の方々と連携しながらその作成や公表を支えることができる。 ☐ 学校の教育目標達成へ向け、校長の指示のもと、研究体制を含む必要な組織体制を整備し、教職員を牽引することができる。 ☐ 学校の教育目標については、校長の指示のもと、達成状況を常に検証し、結果を公表するとともに、それを踏まえて見直しを行うことができる。	
② 学校管理 ※リスク・マネジメント クライシス・マネジメント	☐ 校長を補佐し、日頃から、災害や学校事故等に備えて緊急時の安全・救急体制を整備し、防止のための諸行動を計画的・効果的に教職員に指導・助言することができる。 ☐ 災害や学校事故等の不測の事態に対して、冷静かつ迅速に判断・指示し、教職員に組織的な行動をとらせることができる。 ☐ 校長の指示のもと、学校運営にあたり、教職員とともに、どのような人的・物的・財政的・情動的な資源が必要かを考えて予算を立て、効果的・効率的に執行することができる。	
③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	☐ 校長の指示のもと、学校の教育目標の実現のため、児童生徒の実態に基づいて、適切な教育課程を編成し、教職員に指導・助言をすることができる。 ☐ 校長を補佐し、学校の教育目標を実現するため、教科・領域ごとの教育計画を立案し、教育活動を効果的に実践することができる。	
④ 人材育成及び服務監督	☐ 児童生徒の能力の開発のために、教員が高い意欲をもって自己研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切な指導・助言をすることができる。 ☐ 教職員集団が、日々の教育実践を通して、お互い協力し高め合いながら教育活動を進める、学び合いの場となるよう、教職員を支えることができる。 ☐ 法令遵守について高い意識をもち、自らが模範を示すことにとどまらず、校長を補佐し、教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。 ☐ 教員がより高いパフォーマンスを発揮できるよう、勤務時間を適切に把握し業務の軽減を図るなど、校長を補佐し、働き方改革を進めることができる。 ☐ 教職員の心身の健康管理に努めるなど、教職員のワークライフバランスに関して適切な指導・助言をすることができる。	
⑤ 連携・協力体制の構築	☐ 校長の指示のもと、特別な支援や配慮が必要な児童生徒に対して適切な指導が行えるよう、関係機関と連携・協力体制を構築するとともに、教職員に指導・助言をすることができる。 ☐ 校長の指示のもと、開かれた学校づくりを推進するため、様々な方法で、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。 ☐ 校長を補佐し、家庭や地域社会からの信頼感と連携・協働の意識を得ることができるよう教職員に指導・助言をすることができる。	
⑥ 職務遂行能力	☐ 高い使命感と誠実、公正、公平の意識を備えるとともに、自らの言動を絶えず省察し、自己研鑽に努めることができる。 ☐ 豊かな経験と広い視野に基づき、児童生徒の成長を考え、教職員に校長の考えを共有させるよう努めることができる。	

※副校長については、教頭と異なり配置校によって異なる特命業務に従事し、校長を補佐する。

※これまで校長の指標に準じていたが、異なる部分も存在することから新たに独自の特記事項を作成した。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（特記事項）

【主幹教諭】特記事項		令和5年2月
項 目	特記事項	
① 学校運営・管理 ※学校組織マネジメント	☐ 管理職と同様の視点を持ち、学校の様々な教育課題に対応するため、具体的な取組や対応をとるなど、管理職を補佐することができる。 ☐ 管理職を補佐して働き方改革を進め、学校運営の充実・活性化を図ることができる。	
② 連携・協力体制の構築	☐ 管理職を補佐して開かれた学校づくりを推進するため、学校ビジョンや教育活動の実態についての情報を発信するなど、地域社会との連携を進めることができる。 ☐ 学校と保護者との信頼関係づくりをより一層進めるため、教職員に助言をすることができる。	
③ 教育計画 ※カリキュラム・マネジメント	☐ 管理職の指示のもと、教育課程等の教育計画を立案することができる。 ☐ 管理職の指示のもと、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、特別な支援や配慮が必要な児童生徒に対する適切な指導計画を立案することができる。	
④ 人材育成及び服務監督	☐ 教職員が高い意欲をもって研鑽に努められるよう、教員一人一人の実態を把握しながら適切な助言をすることができる。 ☐ 管理職を補佐して教職員集団をまとめるため、学校組織マネジメントを活用して校務分掌間の連携や調整を行い、協働する体制を構築することができる。 ☐ 基本的な法令等についての知識をもち、管理職を補佐して教職員全員にコンプライアンス意識を定着させることができる。	
⑤ 職務遂行能力	☐ 管理職と同様の視点を持ち、学校経営・教育実践の中核的役割を果たすため、自らの言動を絶えず省察し、常に自己研鑽に努めることができる。 ☐ 自らの豊かな教育経験と広い視野に基づき、校長が掲げる学校ビジョンを教職員に共有させることができる。	

※職の設置に伴い、新たに特記事項として作成した。

【指導教諭】特記事項		令和5年2月
項 目	特記事項	
① 学校運営・教育計画 ※学校組織マネジメント ※カリキュラム・マネジメント	☐ 学校の様々な教育課題に対応するため、具体的な取組や対応を教職員に助言をすることができる。 ☐ 教育課程等の教育計画を立案することに中心的な役割を果たすことができる。	
② 研修等の充実	☐ 管理職の指示のもと、インクルーシブ教育システムの理念を踏まえ、特別な配慮が必要な児童生徒に対する適切な指導や必要な支援に関して教職員に指導・助言することができる。 ☐ 管理職の指示のもと、教職員の個別最適な学びのために校内研修を充実させることができる。	
③ 人材育成及び業務の効率化	☐ Society5.0時代の到来に向け最新の知識・技術を普及させるため、教員のICT活用指導力の向上を図ることができる。 ☐ 授業や学級経営等の改善のため、教職員の授業力や指導力を向上させることができる。 ☐ 管理職の指示のもと、教職員の業務量の軽減を図るため、業務の効率化を向上させることができる。	
④ 連携・協力体制の構築	☐ 管理職の指示のもと、開かれた学校づくりを推進し、学校のビジョンや教育活動の実態についての情報を発信することができる。 ☐ 他校での研修等への助言を通して、教職員の学びの輪を広げるなど、学校や教職員間の連携・協力体制を構築することができる。	
⑤ 職務遂行能力	☐ 学習指導や学級経営のエキスパートとして、常に自己研鑽に努めることができ、教職員の資質能力の向上に役割を果たすことができる。 ☐ 自らの豊かな教育経験と広い視野に基づき、校長が掲げる学校ビジョンを教職員に共有させることができる。	

※職の設置に伴い、新たに特記事項として作成した。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【養護教諭】特記事項

令和5年2月

項目	採用時の姿	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）
		養護教諭の基盤づくり	専門性の向上	学校保健におけるリーダー的役割の遂行	学校運営への参画・地域の学校保健推進
① 保健管理	- 学校保健・安全に関する法令等を正しく理解している。 - 保健管理に関する基礎的な知識や技能を理解している。	学校保健情報や健康観察を通して、児童生徒の心身の実態を把握し、管理職や地域の関係機関と連携しながら適切な保健管理を実践することができる。	- 教職員や保護者、地域の関係機関と連携し、児童生徒の実態や発達の段階に応じた効果的な保健管理を実践することができる。 - 保健管理に関する校内研修を企画・運営することができる。	- 児童生徒の個と集団の健康課題への組織的対応において、その中核的役割を担うことができる。 - 保健管理について、若手教員や地域の養護教諭等に指導・助言をすることができる。	- 学校における事件・事故・災害等の発生時に備え、学校内外の支援体制を整えることができる。 - 保健管理について、教職員に指導・助言をすることができる。
② 保健教育	- 児童生徒が生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るため、資質・能力を育成することが重要であると理解している。 - 学習指導要領の保健・安全に関する内容や養護教諭の専門性を生かした指導について、理解している。	保健教育における養護教諭の役割を理解し、専門性を生かして学級担任等と協働して保健教育を実践することができる。	- 学級担任等と連携し、児童生徒の実態に基づいた保健教育に計画的に取り組むことができる。 - 様々な方法で家庭へ情報を発信し、保護者の理解や協力のもと保健教育を実践することができる。	- 学習指導要領に示されている各教科等の関連や内容の系統性を理解し、教育活動全体を通じて組織的に保健教育を推進することができる。 - 地域の関係機関等と連携を図り、保健教育への参画を効果的に推進することができる。	保健教育について全体計画を作成し、計画に沿った教育活動を教職員に指導・助言をすることができる。
③ 健康相談	健康相談の意義や法的根拠、心身の発達段階に応じた健康課題について理解している。	- 子供の人間性成長を目指し、人権を尊重しながら受容的な相談活動を行うことができる。 - 保健室の機能や養護教諭の職務の特質を生かし、いじめや虐待等の早期発見・早期対応に努めることができる。	健康相談の基本的なプロセスを理解し、教職員及び学校医等や保護者、地域の関係機関等と連携した健康相談を推進することができる。	児童生徒の心身の健康課題を総合的に捉え、コーディネーター的役割を自覚して支援体制の整備に努めるとともに、組織的対応を働きかけることができる。	校内委員会や事例検討会を積極的に開催するなど、心身の健康課題の解決に向けて、教職員に指導・助言をすることができる。
④ 保健室経営	- 保健室の役割と養護教諭の職務について、理解している。 - 学校保健計画や保健室経営計画、学校保健活動の基本を理解している。	保健室の学校保健センターの役割を認識し、児童生徒の一人一人の特性や心身の状況、生活環境等に応じた指導・支援をすることができる。	教職員や保護者、地域の関係機関等との関わりを深め、連携・協働しながら保健室を運営することができる。	学校組織目標や実態に基づき、計画的、組織的に保健室を運営するとともに、その成果と課題を捉えて改善を図ることができる。	- 保健・安全の視点を生かして学校運営に参画し、教育活動全体で学校保健を推進することができる。 - 地域の学校保健担当者との連携体制を構築し、地域における学校保健推進のコーディネーター的役割を果たすことができる。

注）養護教諭については、その専門性を特記事項として示す。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【栄養教諭】特記事項

令和5年2月

項目	採用時の姿	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）
		栄養教諭の基盤づくり	専門性の向上	学校給食におけるリーダー的役割の遂行	学校運営への参画・地域の学校給食推進
① 食に関する指導	給食の時間の指導	給食の時間における食に関する指導を年間指導計画に位置付け、教室指導や資料提供等、担任等と連携・協働することができる。	献立のねらいを明確にした献立計画を担任等に提示し、学校給食を「生きた教材」として活用し、給食の時間における指導の充実を図ることができる。	- 各教科等における食に関する指導と相互に関連付け、総合的かつ効果的な指導を実践することができる。 - 食に関する指導により、児童生徒の行動変容を確認し、担任等と結果を共有してその後の指導に生かすことができる。	- 食に関する指導を包括的に把握し、適切に評価・改善を図ることができる。 - 教科等横断的な視点から、教職員に対し、情報提供や指導・助言を行うなど連携を図ることができる。
	教科等での指導	- 学校教育目標や児童生徒の実態をもとに、各教科等との関連を図りながら、食に関する指導の全体計画や年間指導計画等を作成することができる。 - 給食主任等と連携しながら、学校における食に関する指導を推進することができる。	- 学校指導要領に示されている食に関する指導内容を踏まえ、学校の課題解決のための食育を推進することができる。 - 専門的な立場から指導内容や課題について、担任等と協議することができる。	- 各教科等やその他の教育活動において、その内容の系統性や各学習の関連を図りながら、体系的・継続的に食育を推進するための中核的な役割を担うことができる。 - 自らの実践を評価し、課題解決に向けて改善を図ることができる。	- 専門的な立場から学校運営に参画し、教育活動全体で食に関する指導を推進することができる。 - 地域の学校との連携体制を構築し、地域における食育を推進するコーディネーター的役割を果たすことができる。
	個別的指導	食に関する健康課題を有する児童生徒に対し、学級担任や養護教諭、部活動担当教員と情報を共有し、個別の指導計画を立案することができる。	教職員や保護者、地域の関係機関等と連携し、専門性を生かした指導・助言をすることができる。	健康課題を有する児童生徒の身体状況、栄養状態や食生活など課題を知り、家庭や地域の背景、児童生徒の食に関する知識、理解度等を考慮し、課題解決に向けた指導をすることができる。	- 児童生徒の健康課題解決に向けて、教職員の指導的役割を果たすことができる。 - 健康課題を有する児童生徒を支援するための校内研修を企画、運営することができる。
② 学校給食の管理	栄養管理	- 児童生徒の食生活の状況を把握し、学校給食摂取基準及び食品構成、地場産物の活用に対応した献立の作成を行うことができる。 - 食に関して特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、配慮した献立の作成を行うことができる。	- 食事状況調査や残食調査等による状況把握の実施により、課題に応じた適切な栄養管理を行うことができる。 - 各教科の内容や地場産物の活用、地域の食文化などを関連付けた魅力ある献立の作成を行うことができる。	- 個々の児童生徒の健康状態の実態及び生活活動の実態並びに地域の実情等に十分配慮して、献立の作成を行うことができる。 - 児童生徒の食習慣調査等の結果をもとに栄養管理を評価し、改善を図るとともに、教職員に対して情報提供や指導・助言を行うことができる。	- 栄養管理と食に関する指導を一体的に行い、児童生徒の健康課題解決に向けた地域の取組について、中核的な役割を果たすことができる。 - 市町村の学校給食における栄養管理について、指導的役割を果たすことができる。
	衛生管理	学校給食の衛生管理体制が十分機能するよう、「学校給食衛生管理基準」に定める衛生管理責任者としての専門的な業務を行うことができる。	- 学校給食従事者や給食施設設備などの衛生管理について、適切な指導・助言を行うことができる。 - 学級担任等が行う衛生管理に係る指導について、専門的な立場から指導・助言をすることができる。	事故発生時の危機管理対応計画の作成など、安全に関する危機意識をもち、その課題を明らかにし、解決に向けた取組を実践することができる。	- 教職員や学校薬剤師、関係機関等と連携し、学校及び地域における衛生管理の改善、充実を図ることができる。 - 市町村の学校給食における衛生管理について、指導的役割を果たすことができる。

注）栄養教諭については、その専門性を特記事項として示す。

茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標

【幼稚園教諭等】

令和5年2月

項目		採用時の姿	第1期（形成期）	第2期（成長期）	第3期（発展・充実期）	第4期（貢献・深化期）
			1～5年	6～11年	12～23年	24年～
			指導力・幼児理解の向上	教職・指導の専門性の向上	園務分掌等の企画調整及び 若手教員への支援	園運営及び 若手・中堅教員への支援
基本的資質	① 教職に必要な な資質	【社会人として】 □ 人間性が豊かで、言葉遣い、あいさつ、礼儀等の備えておくべきマナーをもって行動することができる。 □ ダイバーシティに関する知識があり、人権感覚をもって寛容の精神で人と接することができる。 □ コンプライアンス意識をもち、社会人として自分を律することができる。 □ コミュニケーション力を生かし良好な対人関係を構築することができる。 □ ストレスと身体の健康を適切に自己管理することができる。 □ ICTを活用するなど、社会の様々な情報を収集し、仕事に役立てることができる。	【教員として】 □ 幼児が好きで、幼児の気持ちや考えを理解しよう努めるなど、幼児の学びを支えることができる。 □ 教職員組織の一員として、他の教職員の意見や考えに耳を傾け、学び続けることができる。 □ 保護者や地域の声に耳を傾け、誠実に対応することができる。 □ 学校教育に関する法令や知識・指導法等を積極的に取り入れながら、教育活動に取り組むことができる。 □ 教育者として高いコンプライアンス意識を持ち、自覚と責任をもって教育活動に取り組むことができる。 □ ICTを活用して、教育に関する情報を収集し、教育活動に役立てることができる。			
専門職としての教員に求められる力量	② 指導力	指導計画	□ 幼稚園教育要領等に示されている指導計画の意義を理解し、指導計画を作成することができる。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児の実態を踏まえながら、ねらいを明確にした指導計画を作成することができる。	□ 発達段階を踏まえ、園や地域の行事と関連付けたり、小学校との交流を取り入れたりしながら、具体的な指導計画を作成することができる。	□ 実践後の反省や記録を基に、指導計画をよりよいものに改善することができる。 □ 園の教育課程等に基づき、具体的な指導計画の作成について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		環境の構成	□ 幼稚園教育要領等に示されている環境の構成の意義を理解し、自分なりのアイデアをもっている。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児の実態を踏まえながら、興味や関心に即した環境を構成することができる。	□ 他の教諭等と連携を図りながら、幼児の発想や素材の特性を生かした環境を構成することができる。	□ 園全体を視野に入れながら、地域の資源を活用した環境を構成することができる。 □ 他学年や他学年の教育の展開を踏まえ、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		保育技術	□ 幼稚園教育要領等に示されている幼児の興味・関心のある遊びを理解し、基本的な保育技術を身に付けている。	□ 幼児の興味・関心や集団の実態に沿った教育を展開するために、保育技術（ICTの活用を含む）の向上に努めている。	□ 幼児の興味・関心や集団の実態に沿った教育を展開するために、専門的な保育技術の向上に努めている。	□ 園全体の教育の質の向上を意識し、より高度で専門的な保育技術の向上に努めている。 □ 若手教員のモデルとなり、専門的な保育技術について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		指導の評価	□ 幼稚園教育要領等に示されている指導の評価の意義を理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児一人一人の育ちに目を向け、記録を基に省察し、実践に生かすことができる。	□ 幼児一人一人や集団の育ちに目を向け、記録を基に多面的に省察し、実践に生かすことができる。	□ 園全体の取組について客観的に分析するとともに、課題を明確にし、改善することができる。 □ 指導の評価について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
	③ 発達に 応じた援助 力	発達の特性に	□ 幼児期の発達の特性について理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、幼児期の発達の過程について理解し、幼児一人一人の発達の特性に応じた援助をすることができる。	□ 保護者の願いや思いを受け止め、他の教諭等と連携を図りながら、幼児一人一人の発達の特性に応じた援助をすることができる。	□ 園全体を視野に入れながら、幼児一人一人の発達の特性に応じた援助をすることができる。 □ 幼児一人一人の発達の特性に応じた援助について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		特別な配慮が必要な 幼児への対応	□ 特別支援教育についての基本的な考え方を理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、特別な配慮が必要な幼児の実態について把握し、幼児や保護者に対して適切に対応することができる。 □ 個別的教育支援計画、個別の指導計画を基に、個に応じた指導や必要な支援を行うことができる。	□ 特別な配慮が必要な幼児の実態について多面的に把握し、他の教諭等と連携を図り、小学校との接続を視野に入れながら、幼児や保護者に対して適切に対応することができる。	□ 必要に応じて小学校や特別支援学校及び関係機関と連携しながら、保護者を支援する体制を構築することができる。 □ 学級経営の進捗状況を確認し、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		教育相談	□ 教育相談についての基本的な考え方を理解している。	□ 幼児の思いや保護者の悩み、要望等を誠実に受け止め、管理職や他の教諭等の指導・助言の下、問題の解決に向けて教育相談を行うことができる。	□ 幼児の思いや保護者の悩み、要望等を誠実に受け止め、管理職や他の教諭等と連携を図りながら、問題の解決に向けて適切に教育相談を行うことができる。	□ 教育相談の在り方や技法について専門性を高め、関係機関との連携を視野に入れながら、幼児や保護者に対して適切に教育相談を行うことができる。 □ 教育相談について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		園務分掌の遂行	□ 学級経営の意義や基本的な進め方について理解し、学級経営案を作成することができる。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、目標を明確にした学級経営案を作成し、実践することができる。	□ 学級の実態を的確に捉え、目標を明確にした学級経営案を作成し、他の教諭等と連携を図りながら実践することができる。	□ 教育目標を具現化する視点から学級経営案を作成し、他の教諭等と連携を図りながら実践することができる。 □ 経営案の作成について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
	④ 学級を 経営する力	学級の評価	□ 学級経営の評価の意義を理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、各園の評価項目に沿って学級経営を振り返ることができる。	□ 学級経営について多面的に省察し、他の教諭等と連携を図りながら実践に生かすことができる。	□ 学級経営について、組織的・計画的な評価を行う体制づくりに努めることができる。 □ 学級経営の評価について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		家庭との連携	□ 家庭との連携の重要性について理解している。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、適切に家庭との連携を図ることができる。	□ 適切に家庭との連携を図り、保護者とともに関係を築くことができる。	□ 必要に応じて関係機関と連携しながら、組織として保護者を支援する体制を整えることができる。 □ 家庭との連携や保護者への支援について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		事務処理	□ 学級事務を処理する基本的な技能を身に付けている。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、適正に学級事務を処理することができる。	□ 他の教諭等と連携を図りながら、適正かつ迅速に学級事務を処理することができる。	□ 教諭等が、適正かつ迅速に学級事務を処理することができるよう、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		園務分掌の遂行	□ 園務分掌の意義を理解し、組織の一員として園務を遂行しようとする心構えをもっている。	□ 園務の内容について理解し、管理職や他の教諭等の指導・助言の下、組織の一員として園務を遂行することができる。	□ 他の教諭等と連携を図りながら、組織の一員として園務を遂行するとともに、園運営に積極的に参画することができる。	□ 園全体を意識し、小学校や関係機関との連携を視野に入れながら園務を遂行することができる。 □ 園務分掌の企画調整に当たるとともに、園務分掌の改善を図ることができる。 □ 園務分掌の遂行について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
	⑤ 園運営に 関する力	危機管理	□ 危機管理の意義を理解し、危機管理に必要な基礎的な知識を身に付けている。	□ 管理職や他の教諭等の指導・助言の下、危機管理マニュアルに沿って、幼児が安心・安全に生活できる環境を整えることができる。 □ 事故発生時には、的確な判断及び迅速な対応ができる。	□ 園全体を視野に入れながら、組織の一員として園務を遂行するとともに、園運営に積極的に参画することができる。	□ 園の課題を踏まえ、小学校や関係機関との連携を視野に入れながら、職員のみならず、園全体で適切な役割分担を行うとともに、園務分掌の改善を図ることができる。 □ 園務分掌の遂行について、教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		教育課程等の編成	□ 教育課程等の役割や編成の意義を理解している。	□ 教育課程等の役割や編成の基本的な考え方について理解し、教育課程等を基にした教育を展開することができる。	□ 幼児の生活経験や発達の過程などを考慮して、教育課程等の編成に参画し、教育課程等に基いた教育を展開することができる。	□ 創意工夫し、幼児の心身の発達と関わり、地域の実態に応じた教育課程等を編成・実施・評価することができる。 □ 教育課程等の編成・実施・評価について、他の教諭等へ適切な指導・助言を行うことができる。
		園内研修	□ 研修の意義を理解し、自分の課題を把握している。	□ 研修に積極的に参加し、園や自分の課題解決に向けた取組を考えることができる。	□ 他の教諭等と協議し、園や自分の課題解決に向けた取組を見いだすことができる。	□ 中心的役割として研修を企画・運営し、研修体制を整えることができる。
		園外研修	□ 研修の成果を他の教諭等と共有し、実践に生かすことができる。	□ 研修の成果を他の教諭等と共有するとともに、園や自分の課題解決の手がかりを見いだすことができる。	□ 向上心をもって研修に参加し、専門性やリーダー性を高めるとともに、研修の成果を他の教諭等と共有し、園全体の教育の質を向上させることができる。	□ 職員の課題やニーズに応じた研修に進んで参加できるよう、教諭等の自己研鑽の場を確保することができる。

1 研修に関する事業

(1) 研修体系

- ・義務教育学校前期課程は「小学校」、義務教育学校後期課程は「中学校」にそれぞれ含まれる。
- ・中等教育学校前期課程は「中学校」、中等教育学校後期課程は「高等学校」にそれぞれ含まれる。

ア 教職員の資質・能力の向上を目指す研修体系

教職員としてのキャリアステージに即して、必要な研修の機会を確保するとともに、国の動向や本県教員の資質向上に関する育成指標を踏まえ、必要とされる研修を長期的展望に立って体系化し、実施する。

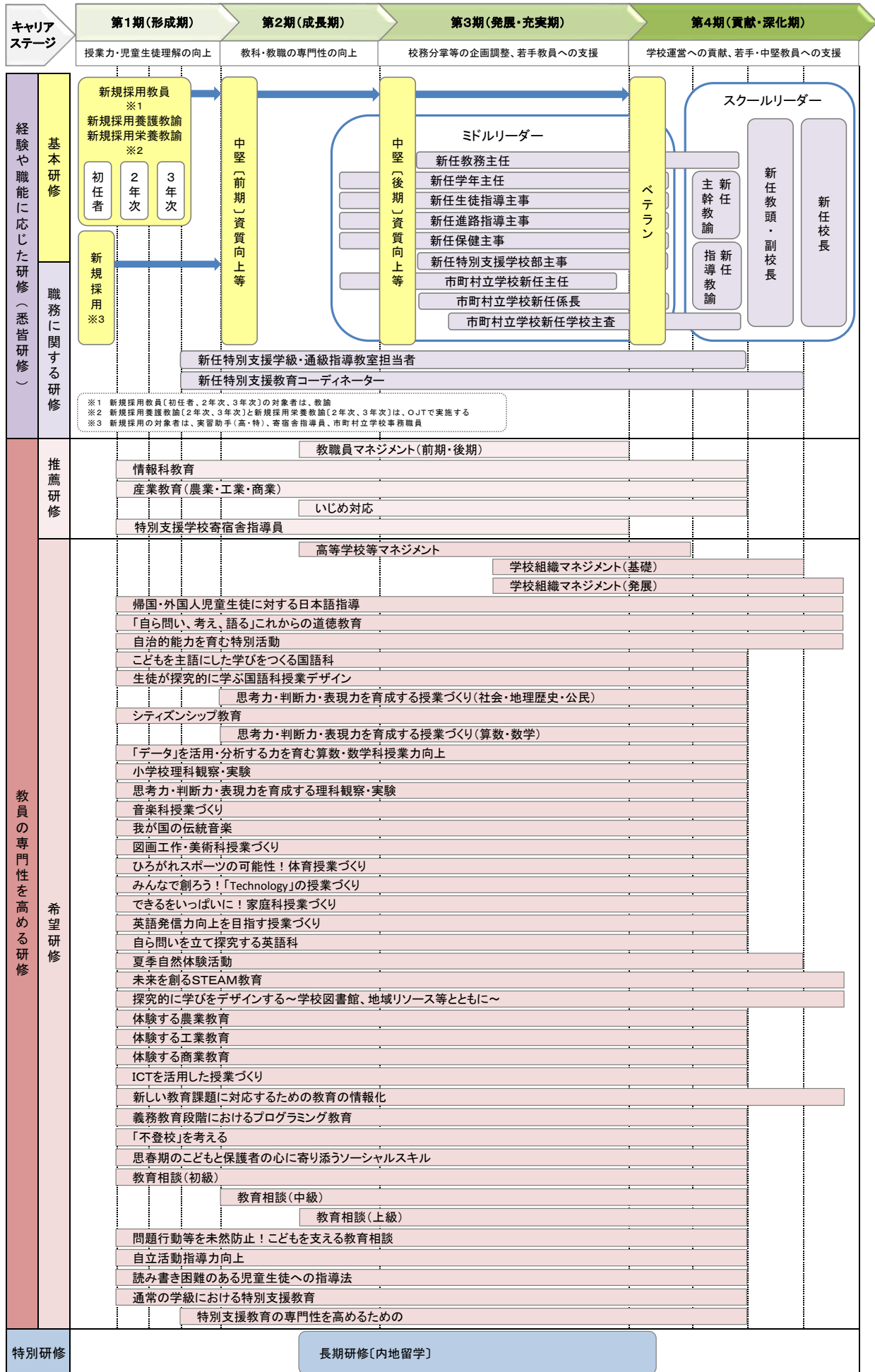
基本研修（42 講座）				
新規採用 〔初任者、2年次、3年次〕 （講座番号 1～14）	新規採用 （講座番号 15～18）	中堅〔前期〕 資質向上等 （講座番号 19～28）	中堅〔後期〕 資質向上等 （講座番号 29～36）	ベテラン （講座番号 37～42）
採用 1 年次から 3 年次の教員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	新規採用教職員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。	広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通して、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。	校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。
○初任者（小・中・高・特・養・栄） ○2年次（小・中・高・特） ○3年次（小・中・高・特）	○新規採用（実高・実特・寄宿・事務）	○中堅〔前期〕（小・中・高・特・養・栄・実高・実特・寄宿） ○6年次事務	○中堅〔後期〕（小・中・高・特・養・栄・実・寄宿）	○ベテラン（小・中・高・特・養・栄）

専門研修（75 講座）		
悉皆研修（講座番号 43～68）		
各職務に関する専門的資質・能力の向上を図る。		
○新任校長（小・中・高・特） ○新任教頭（小・中・高・特） ○新任主幹教諭 ○新任指導教諭	○新任教務主任（小・中・高・特） ○新任学年主任（小・中・高） ○新任生徒指導主事 ○新任進路指導主事（中・高・特） ○新任保健主事	○新任特別支援学校部主事 ○新任特別支援学級・通級指導教室担当者 ○新任特別支援教育コーディネーター ○市町村立学校新任主任 ○市町村立学校新任係長 ○市町村立学校新任学校主査 ○臨時的任用職員（高・特）
推薦研修（講座番号 69～76）		
教職の各領域に関する専門的資質・能力の向上を図る。		
○教職員マネジメント（前・後）	○情報科教育 ○産業教育（農業・工業・商業）	○いじめ対応 ○特別支援学校寄宿舎指導員
希望研修（講座番号 77～117）		
教職の各領域に関する自主的研修の充実を図る。		
○高等学校等マネジメント ○学校組織マネジメント（基礎・発展） ○帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導 ○「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育 ○自治的能力を育む特別活動 ○体験する農業教育 ○体験する工業教育 ○体験する商業教育 ○ICTを活用した授業づくり ○新しい教育課題に対応するための教育の情報化 ○義務教育段階におけるプログラミング教育 ○「不登校」を考える ○思春期の子どもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル ○教育相談（初級・中級・上級） ○問題行動等を未然防止！子どもを支える教育相談 ○自立活動指導力向上 ○読み書き困難のある児童生徒への指導法 ○通常の学級における特別支援教育 ○特別支援教育の専門性を高めるための	○子どもを主語にした学びをつくる国語科 ○生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン ○思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民） ○シティズンシップ教育 ○思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学） ○「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学科授業力向上 ○小学校理科観察・実験 ○思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験 ○音楽科授業づくり ○我が国の伝統音楽 ○図画工作・美術科授業づくり ○ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり ○みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり ○できるをいっぱい！家庭科授業づくり ○英語発信力向上を目指す授業づくり ○自ら問いを立て探究する英語科 ○夏季自然体験活動 ○未来を創るSTEAM教育 ○探究的な学びをデザインする～学校図書館、地域リソース等とともに～	

特別研修		
長期研修〔内地留学〕（3、6 か月）	スキルアップ研修（6 か月）	指導改善研修（1 か年）
長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。	指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月 1 回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。	学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営等に関する課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

イ キャリアステージに応じた教員研修

茨城県教育研修センター



※ 各段階は、第1期(1～5年)、第2期(6～11年)、第3期(12～23年)、第4期(24年～)を想定している。

(2) 研修講座一覧（育成指標との対応）

ア 基本研修（基本的資質・能力の向上を図る研修）

講座 番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																		キャリアステージ				対象校 種	担当 課	
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																						
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で 深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児童 生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関する 力									
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習 指導 要領の 理解等	(2) 授業 の展開	(3) 教育 課程、 主体的 ・対話 的	(4) 探究 的な学 び、I C Tの 活用	(5) 特別 活動	(6) 道徳 教育	(1) 子 供の心 身の発 達への 理解	(2) チー ム支援	(3) 教育 相談	(4) いじ め対応	(5) キャ リア 教育	(1) ・特別 支援学 校・特 別支援 学級	(2) (1)以 外にお ける特 別支援 教育	(1) 学級・ 学年の 経営	(2) 学校組 織マネ ジメン ト	(3) リス クマネ ジメン ト	第1 期 形成 期	第2 期 成長 期	第3 期 発展・ 充実 期	第4 期 貢献・ 深化 期			
1	新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					小	教職
2	新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					中	教職
3	新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					高	教職
4	新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					特	特支
5	新規採用教員〔2年次〕研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○		○								○			○				小	教職	
6	新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○		○								○			○				中	教職	
7	新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校）	○	○		○	○	○							○	○		○			○				高	教職	
8	新規採用教員〔2年次〕研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○				○	○					○					○				特	特支	
9	新規採用教員〔3年次〕研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○			○				小	教職	
10	新規採用教員〔3年次〕研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○			○				中	教職	
11	新規採用教員〔3年次〕研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○						○		○				高	教職	
12	新規採用教員〔3年次〕研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○				○		○			○				特	特支	
13	新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○				小中高特	教科	
14	新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○			○	○				小中特	教科	
15	新規採用実習助手研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○				○	○				高	教職	
16	新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○					○	○				特	特支	
17	新規採用寄宿舎指導員研修講座	○	○	○		○	○		○	○	○			○	○				○	○				特	特支	
18	新規採用市町村立学校事務職員研修講座																							小中特	企画	
19	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○		○			小	教職	
20	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○			○		中	教職	
21	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○			○		高	教職	
22	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○		○	○	○	○		○			○		特	特支	
23	中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○			○		小中高特	教科	
24	中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○	○		○				○		○		○	○					小中特	教科	
25	中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）	○	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○					○			高	教職	
26	中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○		○							○		○			○					特	特支	
27	中堅寄宿舎指導員〔前期〕資質向上研修講座	○	○	○		○					○			○	○		○		○		○			特	特支	
28	6年次市町村立学校事務職員研修講座																							小中特	企画	

講座番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																		キャリアステージ				対象校種	担当課
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																					
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で 深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児 童生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関する 力								
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な 教育 び 課程、 主体 的・対 話的	(4) 探究的な 学び、 I C T の活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の 発達への理解	(2) チ ーム 支援	(3) 教育相談	(4) い じめ 対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援 による学校・ 特別支援学級	(2) (1)以外における 特別支援教育	(1) 学級・学年の 経営	(2) 学校組織 マネジメント	(3) リスク マネジメント						
29	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		小	教職
30	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		中	教職
31	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		高	教職
32	中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）	○	○				○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		特	特支
33	中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○			○		小中高特	教科
34	中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○			○		小中特	教科
35	中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座	○	○	○	○	○	○			○	○				○	○		○				○		高特	教職
36	中堅寄宿舎指導員〔後期〕資質向上研修講座	○	○							○	○	○	○			○		○	○			○	○	特	特支
37	ベテラン教員研修講座（小学校）	○	○	○		○				○	○	○				○	○	○	○				○	小	教職
38	ベテラン教員研修講座（中学校）	○	○	○		○				○	○	○				○	○	○	○				○	中	教職
39	ベテラン教員研修講座（高等学校）	○	○	○		○				○	○	○				○	○	○	○				○	高	教職
40	ベテラン教員研修講座（特別支援学校）	○	○								○				○	○	○	○	○				○	特	特支
41	ベテラン教員研修講座（養護教諭）	○	○	○	○			○		○	○	○	○		○	○		○	○				○	小中高特	教科
42	ベテラン教員研修講座（栄養教諭）	○	○	○	○			○			○				○			○	○				○	小中特	教科

イ 専門研修（専門的資質・能力の向上を図る研修）

(7) 悉皆研修

講座 番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																		キャリアステージ				対象校種	担当課	
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																						
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で 深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児童 生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関する 力									
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な 学 習 課 程、 主 体 的 ・ 対 話 的	(4) 探 究 的 な 学 び、 I C T の 活 用	(5) 特 別 活 動	(6) 道 徳 教 育	(1) 子 供 の 心 身 の 発 達 へ の 理 解	(2) チ ー ム 支 援	(3) 教 育 相 談	(4) い じ め 対 応	(5) キ ャ リ ア 教 育	(1) ・ 特 別 支 援 学 校・ 特 別 支 援 学 級	(2) (1) 以 外 に お け る 特 別 支 援 教 育	(1) 学 級・ 学 年 の 経 営	(2) 学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	(3) リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト	第 1 期 形 成 期	第 2 期 成 長 期	第 3 期 発 展・ 充 実 期	第 4 期 貢 献・ 深 化 期			
43	新任校長研修講座（小学校）										○		○		○	○		○	○				○	小	教職	
44	新任校長研修講座（中学校）										○		○		○	○		○	○				○	中	教職	
45	新任校長研修講座（高・特）										○		○		○	○		○	○				○	高特	教職	
46	新任教頭研修講座（小学校）						○						○		○	○		○	○				○	小	教職	
47	新任教頭研修講座（中学校）						○						○		○	○		○	○				○	中	教職	
48	新任教頭研修講座（高・特）												○		○	○		○	○				○	高特	教職	
49	新任主幹教諭研修講座	○	○															○	○				○	小中高特	教職	
50	新任指導教諭研修講座	○	○	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○	○					○	小中高特	教職	
51	新任教務主任研修講座（小学校）	○	○			○												○				○	○	小	教職	
52	新任教務主任研修講座（中学校）	○	○			○												○				○	○	中	教職	
53	新任教務主任研修講座（高・特）	○	○															○				○	○	高特	教職	
54	新任学年主任研修講座（小学校）	○	○								○		○	○			○	○	○			○	○	○	小	教職
55	新任学年主任研修講座（中学校）	○	○								○		○	○			○	○	○			○	○	○	中	教職
56	新任学年主任研修講座（高等学校）	○	○								○		○				○	○				○	○	○	高	教職
57	新任生徒指導主事研修講座		○								○		○					○	○			○	○	○	小中高特	相談
58	新任進路指導主事研修講座（中学校）	○	○	○				○		○	○	○		○				○	○			○	○	○	中	教職
59	新任進路指導主事研修講座（高・特）	○	○	○				○		○	○	○		○		○		○	○			○	○	○	高特	教職
60	新任保健主事研修講座	○	○	○						○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	○	小中高特	教科
61	新任特別支援学校部主事研修講座	○	○								○	○			○	○	○	○	○			○	○	特	特支	
62	新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座		○	○	○					○	○				○		○				○	○	○	○	小中高	特支
63	新任特別支援教育コーディネーター研修講座		○							○	○				○	○		○			○	○	○	○	小中高特	特支
64	市町村立学校新任主任研修講座																							小中特	企画	
65	市町村立学校新任係長研修講座																							小中特	企画	
66	市町村立学校新任学校主査研修講座																							小中特	企画	
67	臨時的任用職員研修講座（高等学校）	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	○			○		○			高	教職	
68	臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）	○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		○	○			○		○			特	特支	

(イ) 推薦研修

講座 番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）															キャリアステージ				対象校種	担当課				
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																						
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で 深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児 童生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関する 力									
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な教育課程、 主体的・対話的	(4) 探究的な学び、 I C Tの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級による指導	(2) (1) 以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスクマネジメント	第1期 形成期	第2期 成長期	第3期 発展・充実期	第4期 貢献・深化期			
69	教職員マネジメント研修講座（前期）	○	○	○		○			○		○	○		○		○				○	○			小中	教職	
70	教職員マネジメント研修講座（後期）	○	○						○								○	○			○	○			小中	教職
71	情報科教育研修講座		○	○	○	○	○						○							○	○	○	○		高	情報
72	産業教育（農業）研修講座		○	○	○	○	○						○							○	○	○	○		高	情報
73	産業教育（工業）研修講座		○	○	○	○	○						○							○	○	○	○		高	情報
74	産業教育（商業）研修講座		○	○	○	○	○						○							○	○	○	○		高	情報
75	いじめ対応研修講座		○							○		○	○					○	○		○	○	○		小中高特	相談
76	特別支援学校寄宿舎指導員研修講座	○	○						○	○	○			○		○	○	○		○	○	○			特	特支

(ウ) 希望研修

講座 番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																		キャリアステージ				対象校 種	担当 課	
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																						
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で 深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児 童生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に関する 力									
		(1) 社 会 人 と し て	(2) 教 員 と し て	(1) 学 習 指 導 要 領 の 理 解 等	(2) 授 業 の 展 開	(3) な 教 育 課 程 、 主 体 的 ・ 対 話 的	(4) 探 究 的 な 学 び 、 I C T の 活 用	(5) 特 別 活 動	(6) 道 徳 教 育	(1) 子 供 の 心 身 の 発 達 へ の 理 解	(2) チ ー ム 支 援	(3) 教 育 相 談	(4) い じ め 対 応	(5) キ ャ リ ア 教 育	(1) ・ 特 別 支 援 学 校 ・ 特 別 支 援 学 級	(2) (1) 以 外 に お け る 特 別 支 援 教 育	(1) 学 級 ・ 学 年 の 経 営	(2) 学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	(3) リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト	第 1 期 形 成 期	第 2 期 成 長 期	第 3 期 発 展 ・ 充 実 期	第 4 期 貢 献 ・ 深 化 期			
77	高等学校等マネジメント研修講座	○	○	○		○	○										○	○	○		○	○	○	高	教職	
78	学校組織マネジメント（基礎）研修講座	○	○															○					○	○	小中高特	教職
79	学校組織マネジメント（発展）研修講座	○	○															○					○	○	小中高特	教職
80	帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座	○	○		○	○	○			○	○	○		○	○						○	○	○	○	小中高特	教職
81	「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育研修講座		○		○	○	○		○												○	○	○	○	小中高特	教職
82	自治的能力を育む特別活動研修講座		○	○				○													○	○	○	○	小中高特	教職
83	こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	小特	教科
84	生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	中高特	教科
85	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）	○	○	○	○	○	○															○	○	○	小中高特	教科
86	シティズンシップ教育研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	小中高特	教科
87	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（算数・数学）	○	○	○	○	○	○															○	○	○	小中高特	教科
88	「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学科授業力向上研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	小中高特	教科
89	小学校理科観察・実験研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	小特	教科
90	思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	中高特	教科
91	音楽科授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	小中高特	教科
92	我が国の伝統音楽研修講座	○	○	○	○	○	○														○	○	○	○	小中高特	教科

講座 番号	研修講座名	茨城県公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する指標（共通）																	キャリアステージ				対象校 種	担当課	
		Ⅰ 基本的資質		Ⅱ 専門職としての教員に求められる力量																					
		1 教職に必要な 素養		2 児童生徒の主体的・対話的で 深い学びを支える授業力						3 児童生徒を理解し支援する力					4 特別な配慮を 必要とする児 童生徒を支援 する力		5 学級・学年の経営と 学校の運営に 関する力								
		(1) 社会人として	(2) 教員として	(1) 学習指導要領の理解等	(2) 授業の展開	(3) な 教育課程、 主体的・対話 的	(4) 探究的な学び、 I C Tの活用	(5) 特別活動	(6) 道徳教育	(1) 子供の心身の発達への理解	(2) チーム支援	(3) 教育相談	(4) いじめ対応	(5) キャリア教育	(1) ・特別支援学校・特別支援学級 ・通級による指導	(2) (1)以外における特別支援教育	(1) 学級・学年の経営	(2) 学校組織マネジメント	(3) リスコムマネジメント	第1期 形成期	第2期 成長期	第3期 発展・充実期			第4期 貢献・深化期
93	図画工作・美術科授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
94	ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
95	みんなで創ろう！ 「Technology」の授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	中特	教科
96	できるをいっぱいに！家庭科授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
97	英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
98	自ら問いを立て探究する英語科研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	中高特	教科
99	夏季自然体験活動研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
100	未来を創るSTEAM教育研修講座	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
101	探究的な学びをデザインする研修講座～学校図書館、地域リソース等とともに～	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	教科
102	体験する農業教育研修講座		○	○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報
103	体験する工業教育研修講座		○	○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報
104	体験する商業教育研修講座		○	○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報
105	ICTを活用した授業づくり研修講座		○	○	○	○	○													○	○	○	○	小中高特	情報
106	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座		○	○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報
107	義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座		○	○	○	○	○							○						○	○	○	○	小中高特	情報
108	「不登校」を考える研修講座		○							○	○	○						○	○	○	○	○	○	小中高特	相談
109	思春期の子どもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座		○							○	○	○								○	○	○	○	小中高特	相談
110	教育相談（初級）研修講座		○							○		○								○	○	○	○	小中高特	相談
111	教育相談（中級）研修講座		○							○		○									○	○	○	小中高特	相談
112	教育相談（上級）研修講座		○							○		○									○	○	○	小中高特	相談
113	問題行動等を未然防止！子どもを支える教育相談研修講座		○							○		○					○			○	○	○	○	小中高特	相談
114	自立活動指導力向上研修講座		○	○	○					○					○	○	○			○	○	○	○	小中高	特支
115	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座		○	○	○		○			○					○	○				○	○	○	○	小中高特	特支
116	通常の学級における特別支援教育研修講座		○	○	○					○	○					○	○			○	○	○	○	小中高	特支
117	特別支援教育の専門性を高めるための研修講座		○				○			○					○	○		○		○	○	○	○	小中高特	特支

(3) 研修講座の受講申込み

ア 受講申込みに係る文書の送付

- 以下の各文書を、令和7年3月中に「茨城県教育情報ネットワーク」の各アカウント宛に送付します。

送付文書	送付機能	送付先アカウント
令和6年度教育研修センター研修履歴一覧	重要情報のお知らせ	市町村立：組織代表 県立：組織代表
令和7年度教育研修センター事業概要	公文書	市町村立：組織代表 県立：公文書
令和7年度教育研修センター研修講座の申込みについて	公文書	市町村立：組織代表 県立：公文書

※「重要情報のお知らせ」の確認方法

茨城県教育情報ネットワーク → 代表アカウントでログイン → ポータルシステム → 文書通知
→ 重要情報のお知らせ

イ 受講申込み

- 令和7年度から全国教員研修プラットフォーム（以下「Plant」という。）による申込みとなります。以下の職に該当する教職員はPlantの対象となります。また、Plant対象外の教職員、国立・私立学校の教職員については、Google Formsでの申込みとなります。

【Plant対象】 校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭

- 管理職の確認・承認が必要となります。申込みのスケジュールをご確認の上、申込み漏れがないようご注意ください。
- 法定研修（新規採用、中堅）及び教職員マネジメント研修講座は、本庁各課及び本センターが一括して代理申込を行います。したがって、個人の申込み、管理職及び市町村教育委員会の確認・承認の必要はありません。
- 詳細は、「令和7年度教育研修センター研修講座の申込みについて」に添付されている資料をご参照ください。

(4) 研修講座の受講者決定

ア Plant対象の教職員

- 受講可否の通知は送付しません。受講可否はPlantでご確認ください。

イ Plant対象外の教職員

- 受講可否は希望研修のみ通知します。以下の文書を、令和7年6月中旬に「茨城県教育情報ネットワーク」の各アカウントに送付しますのでご確認ください。なお、希望研修の第Ⅱ期（追加の募集）は申し込みませんので、第Ⅰ期の申込期間内に行ってください。

送付文書	送付機能	送付先アカウント
令和7年度教育研修センター研修講座の受講者について	重要情報のお知らせ	市町村立：組織代表 県立：組織代表

ウ 国立・私立学校の教職員

- 申込みの際に登録したメールアドレスに受講可否の通知を送付しますので、ご確認ください。
- 希望研修は本センターにおいて受講者を決定します。なお、希望研修の第Ⅱ期（追加の募集）は申し込みませんので、第Ⅰ期の申込期間内に行ってください。

(5) 各種届の提出

ア 各種届

- ・受講予定者に下記の事由が生じた場合は、**校長が当該講座担当課と協議の上**、届を提出してください。
- ・中堅教諭等〔前期・後期〕資質向上研修講座の受講猶予については、中堅教諭等資質向上研修実施細則を参照してください。

事由	提出する届
受講者を変更する	受講者変更届（様式1）
受講期日を変更する	受講期日変更届（様式2）
受講を辞退する	受講辞退届（様式3）
講座日程の一部を欠席する	欠席届（様式3）
受講当日、遅刻しなければならない事由が発生した	遅刻届（様式3）
受講当日、早退しなければならない事由が発生した	早退届（様式3）
宿泊を伴う講座で宿泊することができない事由がある	講座日帰届（様式3）
中堅実習助手〔前期・後期〕資質向上研修講座の受講猶予を願い出る ベテラン教員研修講座の受講猶予を願い出る	受講猶予届（様式4）

※ 届の様式は、「教育研修センターWebページ」－「研修」－「各種届等様式」からダウンロードしてください。

イ 提出先

- ・校長は各種届を次のとおり電子メールで送付してください。なお、市町村立学校の校長は、市町村教育委員会教育長及び教育事務所に提出の必要がある届（写し）がありますので、忘れずにご提出ください。

送 付 先 : todoke@center.ibk.ed.jp

ファイル名 : 講座番号(半角)・提出する届名・学校名 (例: 1・欠席届・〇〇学校)

ファイル形式 : PDF形式 (作成した各種届をPDF形式で保存)

届 提出先	受講者 変更	受講期日 変更	受講 辞退	欠席	遅刻	早退	講座 日帰	受講 猶予
教育研修センター所長	1部	1部	1部	1部	1部	1部	1部	1部
市町村教育委員会教育長 (市町村立学校のみ)	1部 (写し)		1部 (写し)	1部 (写し)				1部 (写し)
教育事務所長 (市町村立学校のみ)	1部 (写し)		1部 (写し)	1部 (写し)				1部 (写し)

(6) 研修履歴一覧の送付

ア Plant対象の教職員

- ・研修履歴一覧は送付しません。
- ・受講した研修講座の最終日から4週間後以降にPlantにログインし、認定（修了）の可否をご確認ください。

イ Plant対象外の教職員（国立・私立学校の教職員含む）

- ・今年度の研修履歴のみ記載した一覧を各学校に送付します。

(7) 研修講座資料等の提供方法

- ・研修講座資料等を、本センターWebページの「研修講座資料室」に掲載します。
- ・実施要項をはじめ、受講に際し必要な情報を掲載しますので、受講前に必ず確認してください。
- ・「研修講座資料室」に掲載した資料は、原則として紙媒体での提供はしません。

ア 「研修講座資料室」の利用手順

- ① 茨城県教育情報ネットワークの「利用者本人のアカウント」にログインする。
※ 「研修講座資料室」へのアクセス権が付与されているのは、茨城県教育情報ネットワークのアカウントのみです。
- ② ログイン中のブラウザで、本センターWebページ (<https://www.center.ibk.ed.jp>) にアクセスし、「研修講座資料室」のバナーをクリックする。
- ③ 受講する研修講座名をクリックする。
- ④ 資料を端末にダウンロードする。
- ⑤ 受講当日にタブレット端末等を持参して資料を活用する。又は、印刷物を持参して活用する。

イ 留意事項

- ・年度当初に各講座の実施要項を掲載します。
- ・講座実施日の概ね3日前までに、研修講座資料を掲載します。
- ・内容や講師の意向により、講座当日に講座資料を提供する場合があります。
- ・講座担当者から個別にメール又はClassroomで連絡する場合があります。
- ・いずれの場合も「研修講座資料室」を情報の発信源としますので、必ず確認してください。
- ・受講後の資料の取り扱いについては、振り返り、所属校での実践及び校内研修等で活用することに差し支えはありませんが、適正な範囲を超えての複製、転載及び転用等の二次利用を行うことはできません。

(8) 経費

- ・経費負担を伴う講座については、該当講座ごとに別途お知らせします。
(実験実習を伴う講座においては、教材の一部。宿泊研修においては、宿泊費等。)

(9) 緊急時の連絡方法

- ・暴風雨や降雪等の天候による事由、又はウイルス感染症のまん延等の事由により、正常な講座運営に影響が生じると判断した場合、研修講座の実施日や実施方法等について、次の方法で連絡します。

ア 茨城県教育情報ネットワーク

- ・市町村立学校及び市町村教育委員会は「組織代表アカウント」宛、県立学校は「公文書アカウント」宛に事務連絡を送付します。

イ 茨城県教育研修センターWebページ (<https://www.center.ibk.ed.jp/>)

- ・トップページの「お知らせ」及び「研修講座資料室」に、対応について掲載します。

(10) 研修講座等日程一覧

- ・丸数字は、研修の実施回（第1日は①、第2日は②等）を示しています。
- ・実施方法、会場、内容等の詳細は、研修講座実施要項で確認してください。

4月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月			
8	火			
9	水			
10	木	67 臨時的任用職員（高等学校）①A班	68 臨時的任用職員（特別支援学校）①A班	
11	金			
12	土			
13	日			
14	月			
15	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）①	13 新規採用養護教諭〔初任者〕①	
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕①		
16	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）①		
17	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）①	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）①	
		15 新規採用実習助手（高等学校）①	16 新規採用実習助手（特別支援学校）①	
18	金			
19	土			
20	日			
21	月			
22	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）②		
23	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）②Ⅰ期		
24	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）②	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）②	
		15 新規採用実習助手（高等学校）②	16 新規採用実習助手（特別支援学校）②	
		48 新任教頭（高・特）①		
25	金	48 新任教頭（高・特）②		
26	土			
27	日			
28	月			
29	火			
30	水	51 新任教務主任（小学校）	52 新任教務主任（中学校）	

5月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	木			
2	金			
3	土			
4	日			
5	月			
6	火			
7	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）②Ⅱ期		
8	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）③	18 新規採用市町村立学校事務職員①	
9	金	67 臨時的任用職員（高等学校）②A班	68 臨時的任用職員（特別支援学校）②A班	
		69 教職員マネジメント（前期）①		
10	土			
11	日			
12	月			
13	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）③Ⅰ期	56 新任学年主任（高等学校）	
		62 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①A班		
14	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）③		
15	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）③	70 教職員マネジメント（後期）①	
16	金	13 新規採用養護教諭〔初任者〕②	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）①	
		53 新任教務主任（高・特）		
17	土			
18	日			
19	月			教育の情報化に関する研究①
20	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）③Ⅱ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）①	
		33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上①	62 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①B班	
21	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）④Ⅰ期	43 新任校長（小学校）①	
		59 新任進路指導主事（高・特）		
22	木	28 6年次市町村立学校事務職員①	43 新任校長（小学校）②	
		55 新任学年主任（中学校）		
23	金	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕②	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）①	
		22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）①	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上①	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上①	25 中堅実習助手〔前期〕資質向上（高等学校）①	
		26 中堅実習助手〔前期〕資質向上（特別支援学校）①		
24	土			
25	日			
26	月			教育相談に関する研究①
27	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）④	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅰ期	
		61 新任特別支援学校部主事		
28	水	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅱ期	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）①	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）①		
29	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）④	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅰ期	
		44 新任校長（中学校）①	62 新任特別支援学級・通級指導教室担当者①C班	
		64 市町村立学校新任主任①		
30	金	10 新規採用教員〔3年次〕（中学校）①	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅱ期	
		44 新任校長（中学校）②	60 新任保健主事	
31	土			

6月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	日			
2	月			
3	火	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）①	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）①	
		35 中堅実習助手〔後期〕資質向上①	47 新任教頭（中学校）①	
		58 新任進路指導主事（中学校）		
4	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）④Ⅱ期	47 新任教頭（中学校）②	
5	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）④	16 新規採用実習助手（特別支援学校）③	
		20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅲ期	39 ベテラン教員（高等学校）①	
		57 新任生徒指導主事A班	65 市町村立学校新任係長①	
6	金	6 新規採用教員〔2年次〕（中学校）①	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）②Ⅳ期	
7	土			
8	日			
9	月			
10	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑤	54 新任学年主任（小学校）	
11	水	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）①	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）②Ⅰ期	
12	木	13 新規採用養護教諭〔初任者〕③	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）②Ⅱ期	
		45 新任校長（高・特）①		
13	金	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）②	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）②	
		33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上②	40 ベテラン教員（特別支援学校）①	
		45 新任校長（高・特）②	57 新任生徒指導主事B班	
14	土			
15	日			
16	月			教科に関する研究①
17	火	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕③	24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上②	
		46 新任教頭（小学校）①		
18	水	11 新規採用教員〔3年次〕（高等学校）①	46 新任教頭（小学校）②	
19	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑤Ⅲ期	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑤	
20	金	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）②	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）②	
		38 ベテラン教員（中学校）①	41 ベテラン教員（養護教諭）①	
		42 ベテラン教員（栄養教諭）①		
21	土			
22	日			
23	月			
24	火	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）③	63 新任特別支援教育コーディネーター	
25	水	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅰ期	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上②	
		37 ベテラン教員（小学校）①	77 高等学校等マネジメント①	
26	木	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅱ期	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）②	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）③	77 高等学校等マネジメント②	
27	金	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）①Ⅰ期	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅲ期	
28	土			
29	日			
30	月			

7月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	火	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）①Ⅱ期	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅳ期	
2	水	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅴ期 98 自ら問いを立て探究する英語科	24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上③	
3	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑥ 94 ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）②Ⅵ期 112 教育相談（上級）①	
4	金	7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）① 29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）③	15 新規採用実習助手（高等学校）③ 70 教職員マネジメント（後期）②	
5	土			
6	日			
7	月			
8	火	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）③ 50 新任指導教諭	49 新任主幹教諭 113 問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談	
9	水	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）③ 81 「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育	74 産業教育（商業）	
10	木	13 新規採用養護教諭〔初任者〕④ 31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）③ 77 高等学校等マネジメント③	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕④ 32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）③	
11	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）③		教育の情報化に関する研究②
12	土			
13	日			
14	月			
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日			
21	月			
22	火			
23	水	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑥ 105 ICTを活用した授業づくりA班	93 図画工作・美術科授業づくり① 117 特別支援教育の専門性を高めるための①	
24	木	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑤A班 105 ICTを活用した授業づくりB班	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑦	
25	金	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥A班	105 ICTを活用した授業づくりC班	
26	土			
27	日			
28	月	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑤B班 91 音楽科授業づくりA班	76 特別支援学校寄宿舎指導員 111 教育相談（中級）①	
29	火	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥B班 89 小学校理科観察・実験	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑥A班	
30	水	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑦A班 82 自治的能力を育む特別活動	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑦ 101 探究的な学びをデザインする～学校図書館、地域リソース等とともに～①	
31	木	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑤C班 99 夏季自然体験活動A班	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑧	

8月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	金	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑥C班	107 義務教育段階におけるプログラミング教育	
2	土			
3	日			
4	月	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑥B班	84 生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン①	
5	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑦B班	100 未来を創るSTEAM教育①	
6	水	69 教職員マネジメント（前期）②	110 教育相談（初級）①A班	
7	木			研究発表会①
8	金			研究発表会②
9	土			
10	日			
11	月			
12	火			
13	水			
14	木			
15	金			
16	土			
17	日			
18	月	79 学校組織マネジメント（発展）	110 教育相談（初級）①B班	
19	火	80 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導	83 こどもを主語にした学びをつくる国語科①	
		90 思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験	93 図画工作・美術科授業づくり②A班	
20	水	86 シティズンシップ教育	88 「データ」を活用・分析する力を育む 算数・数学科授業力向上	
		96 できるをいっぱいこ！家庭科授業づくり	106 新しい教育課題に対応するための教育の情報化	
21	木	73 産業教育（工業）	92 我が国の伝統音楽①	
		93 図画工作・美術科授業づくり②B班	95 みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり	
		99 夏季自然体験活動B班	114 自立活動指導力向上①	
22	金	92 我が国の伝統音楽②		いばらき輝く教師塾Ⅰ期①
23	土			
24	日			
25	月			教科に関する研究②
26	火			
27	水			
28	木			
29	金			
30	土			
31	日			

9月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	月			
2	火			
3	水	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅰ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅰ期	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上④	108 「不登校」を考える	
4	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅱ期		
5	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）④	85 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①A班	
6	土			
7	日			
8	月			
9	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑧	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅲ期	
10	水	13 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑤	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑤	いばらき輝く教師塾Ⅰ期②A班
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅱ期	69 教職員マネジメント（前期）③	
		71 情報科教育Ⅰ期	77 高等学校等マネジメント④	
11	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅰ期	15 新規採用実習助手（高等学校）④	
		18 新規採用市町村立学校事務職員②	87 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）①A班	
		116 通常の学級における特別支援教育		
12	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅲ期	72 産業教育（農業）	いばらき輝く教師塾Ⅰ期②B班
13	土			
14	日			
15	月			
16	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅰ期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）④Ⅰ期	
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅳ期	85 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①C班	
		87 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）①C班		
17	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑦Ⅰ期		
18	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑨Ⅱ期	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑨	
		28 6年次市町村立学校事務職員		
19	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）④Ⅱ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）④Ⅴ期	
		23 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上③	85 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）①B班	
		87 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）①B班	104 体験する商業教育	
20	土			
21	日			
22	月			教育相談に関する研究②
23	火			
24	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑦Ⅱ期	12 新規採用教員〔3年次〕（特別支援学校）①	
		71 情報科教育Ⅱ期		
25	木			長期研修（共通）
26	金	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅰ期	30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）④	
		33 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上③	40 ベテラン教員（特別支援学校）②	
27	土			
28	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期①
29	月			
30	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅱ期	8 新規採用教員〔2年次〕（特別支援学校）①	

10月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧Ⅰ期	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑥	
		62 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②A班	77 高等学校等マネジメント⑤	
2	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅳ期	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑩	
		14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑥	16 新規採用実習助手（特別支援学校）④	
		66 市町村立学校新任学校主査	77 高等学校等マネジメント⑥	
		102 体験する農業教育	103 体験する工業教育	
3	金	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）④	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上④	
4	土			
5	日			
6	月			長期研修（3か月）
7	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅲ期	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）④	
		67 臨時的任用職員（高等学校）①B班	68 臨時的任用職員（特別支援学校）①B班	
8	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑨	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅱ期	
		97 英語発信力向上を目指す授業づくり		
9	木	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）④	64 市町村立学校新任主任②	
10	金			
11	土			
12	日			
13	月			
14	火			長期研修（共通）
15	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧Ⅱ期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤Ⅰ期	
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅲ期	65 市町村立学校新任係長②	
		109 思春期の子どもと保護者の心に寄り添う ソーシャルスキル		
16	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑩	62 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②B班	
17	金	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）④	112 教育相談（上級）②	
18	土			
19	日			
20	月			教科に関する研究③
21	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑨Ⅳ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤ 選択道徳教育	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤ 選択道徳教育	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤ 選択道徳教育	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤ 選択道徳教育		
22	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧Ⅲ期	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑦	
23	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑪		
24	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑤Ⅰ期		
25	土			
26	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期②
27	月			長期研修（6か月）
28	火	5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）②Ⅰ期		
29	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧Ⅳ期	75 いじめ対応A班	
30	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑪	62 新任特別支援学級・通級指導教室担当者②C班	
31	金	7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）②Ⅰ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤ 選択マネジメント	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤ 選択マネジメント	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤ 選択マネジメント	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤ 選択マネジメント		

11月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	土			
2	日			
3	月			
4	火	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑤		
5	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑧Ⅴ期	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑦	
		75 いじめ対応B班		
6	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑫	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫A班	
		5 新規採用教員〔2年次〕（小学校）②Ⅱ期	15 新規採用実習助手（高等学校）⑤	
		77 高等学校等マネジメント⑦		
7	金	67 臨時的任用職員（高等学校）②B班	68 臨時的任用職員（特別支援学校）②B班	
8	土			
9	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期③
10	月			
11	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑩	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤ 選択教育相談	教育の情報化に関する研究③
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤ 選択教育相談	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤ 選択教育相談	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤ 選択教育相談		
12	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑩Ⅰ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤ 選択特別支援教育	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤ 選択特別支援教育	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤ 選択特別支援教育	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤ 選択特別支援教育	115 読み書き困難のある児童生徒への指導法	
13	木			
14	金	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤Ⅱ期	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅳ期	
15	土			
16	日			
17	月			
18	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑪Ⅰ期	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑤Ⅲ期	
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑤Ⅴ期	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑤ 選択情報教育	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑤ 選択情報教育	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑤ 選択情報教育	
		32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑤ 選択情報教育	117 特別支援教育の専門性を高めるための②	
19	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑩Ⅱ期		
20	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫B班	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫C班	
		23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上④	33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上⑤	
21	金	70 教職員マネジメント（後期）④		
22	土			
23	日			
24	月			
25	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑪Ⅱ期	100 未来を創るSTEAM教育②	
26	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑪Ⅰ期		
27	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫D班	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑫E班	
		6 新規採用教員〔2年次〕（中学校）②	7 新規採用教員〔2年次〕（高等学校）②Ⅱ期	
28	金	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑤Ⅱ期		
29	土			
30	日			いばらき輝く教師塾Ⅱ期④

12月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	月			長期研修（3か月）
2	火	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑥	29 中堅教諭等〔後期〕資質向上（小学校）⑥	
3	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑪Ⅱ期	31 中堅教諭等〔後期〕資質向上（高等学校）⑥	
4	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑬	114 自立活動指導力向上②	
5	金	10 新規採用教員〔3年次〕（中学校）②Ⅰ期	11 新規採用教員〔3年次〕（高等学校）②	
		69 教職員マネジメント（前期）④		
6	土			
7	日			
8	月			教科に関する研究④
9	火	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑥		
10	水	21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑥	25 中堅実習助手〔前期〕資質向上（高等学校）②	
		30 中堅教諭等〔後期〕資質向上（中学校）⑥	110 教育相談（初級）②A班	
11	木	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）②Ⅰ期		
12	金	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑥	26 中堅実習助手〔前期〕資質向上（特別支援学校）②	
		98 自ら問いを立て探究する英語科	110 教育相談（初級）②B班	
13	土			
14	日			
15	月			長期研修（3か月）
16	火	10 新規採用教員〔3年次〕（中学校）②Ⅱ期		
17	水	9 新規採用教員〔3年次〕（小学校）②Ⅱ期		
18	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑧Ⅵ期	77 高等学校等マネジメント⑧	
19	金			
20	土			
21	日			
22	月			長期研修（6か月）
23	火			
24	水			長期研修（3か月）
25	木			
26	金			
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			
31	水			

1月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	木			
2	金			
3	土			
4	日			
5	月			
6	火			
7	水			
8	木			
9	金			
10	土			
11	日			
12	月			
13	火			
14	水			
15	木			教科に関する研究⑤
16	金	111 教育相談（中級）②		
17	土			
18	日			
19	月			
20	火	8 新規採用教員〔2年次〕（特別支援学校）②	38 ベテラン教員（中学校）②	
		41 ベテラン教員（養護教諭）②	42 ベテラン教員（栄養教諭）②	
21	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑫Ⅰ期		
22	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑭	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑬	
		16 新規採用実習助手（特別支援学校）⑤		
23	金	37 ベテラン教員（小学校）②	112 教育相談（上級）③	
24	土			
25	日			
26	月			
27	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑫		教育相談に関する研究③
28	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑫Ⅱ期	39 ベテラン教員（高等学校）②	
29	木	12 新規採用教員〔3年次〕（特別支援学校）②	70 教職員マネジメント（後期）⑤	
30	金	15 新規採用実習助手（高等学校）⑥	16 新規採用実習助手（特別支援学校）⑥	
		35 中堅実習助手〔後期〕資質向上②	91 音楽科授業づくりB班	
		101 探究的な学びをデザインする ～学校図書館、地域リソース等とともに～②		
31	土			

2月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	日			
2	月			
3	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑭Ⅰ期	32 中堅教諭等〔後期〕資質向上（特別支援学校）⑥	
		84 生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン②		
4	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑭Ⅰ期		
5	木	3 新規採用教員〔初任者〕（高等学校）⑮	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑭	
		20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑦Ⅰ期	87 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）②B班	
6	金	13 新規採用養護教諭〔初任者〕⑧	14 新規採用栄養教諭〔初任者〕⑧	
		24 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上⑤		
7	土			
8	日			
9	月			
10	火			
11	水			
12	木	4 新規採用教員〔初任者〕（特別支援学校）⑮	20 中堅教諭等〔前期〕資質向上（中学校）⑦Ⅱ期	
		21 中堅教諭等〔前期〕資質向上（高等学校）⑦	87 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）②C班	
13	金	83 こどもを主語にした学びをつくる国語科②Ⅰ期	85 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民）②	教育の情報化に関する研究④
14	土			
15	日			
16	月			長期研修（6か月）
17	火	2 新規採用教員〔初任者〕（中学校）⑭Ⅱ期	23 中堅養護教諭〔前期〕資質向上⑤	
		33 中堅養護教諭〔後期〕資質向上⑥	83 こどもを主語にした学びをつくる国語科②Ⅱ期	
		87 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学）②A班		
18	水	1 新規採用教員〔初任者〕（小学校）⑭Ⅱ期		
19	木	19 中堅教諭等〔前期〕資質向上（小学校）⑦		
20	金	22 中堅教諭等〔前期〕資質向上（特別支援学校）⑦		採用前研修（高）②
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			採用前研修（中）②
				採用前研修（特）②
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			

3月	曜	研修講座（講座番号・講座名・班・実施回等）		研究・その他の事業
1	日			
2	月			
3	火			採用前研修（小）②A班
4	水			
5	木			
6	金			採用前研修（小）②B班
				採用前研修（養・栄）②
7	土			
8	日			
9	月			長期研修（6か月）
10	火			
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	日			
16	月			
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			長期研修（6か月）
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			
30	月			
31	火			

(11) 研修講座実施要項

ア 基本研修

基本研修	1
------	---

担当：教職教育課

直通：0296-78-3212

令和7年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（小学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

I期（第8日、第9日を除く）：県北・県南教育事務所管内の受講者

II期（第8日、第9日を除く）：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者

※ 第5日と第6日の班分け及び第8日の期分けについては、第1日に連絡する。

※ 第4日と第10日の班分けについては、第3日に連絡する。

区分	期日	研修内容
第1日	4月16日（水）	開講式 所長講話 信頼される教育公務員とは～教職員のサービスと基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション (事後視聴) 一次救命処置、メンタルヘルス
第2日	I期：4月23日（水） II期：5月7日（水）	成長・発達を支える教員の関わり 保護者との信頼関係を築く教員の関わり
第3日	5月14日（水）	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 単元を見通した国語科の授業づくりの基礎・基本 安全に配慮した授業づくりの工夫
第4日	I期：5月21日（水） II期：6月4日（水）	1班：社会科の授業づくりの基礎・基本、体育科の授業づくりの基礎・基本 2班：体育科の授業づくりの基礎・基本、社会科の授業づくりの基礎・基本 3班：基礎的な理科の観察・実験の方法、算数科の授業づくりの基礎・基本 4班：算数科の授業づくりの基礎・基本、基礎的な理科の観察・実験の方法
第5日 第6日 (注)	A班：7月24日（木） 7月25日（金） B班：7月28日（月） 7月29日（火） C班：7月31日（木） 8月1日（金）	【集中研修（宿泊可能）】 第5日： 教職員のメンタルヘルス 発達障害等のある児童の理解と支援 道徳科の授業づくりと評価 なすことによって学ぶ特別活動～人間関係形成、社会参画、自己実現の視点から～ 学級担任として求められるマネジメントの在り方 第6日： 音楽科の授業づくりの基礎・基本 図画工作科の授業づくりの基礎・基本 家庭科の授業づくりの基礎・基本 外国語活動・外国語科の授業づくりの基礎・基本 ※ 音楽科と図画工作科から1教科、家庭科と外国語活動・外国語科から1教科、計2教科を選択する。

区分	期日	研修内容
第7日 (注)	I期：9月17日(水) II期：9月24日(水)	児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり1 問題行動・不登校等の理解とチーム支援
第8日	I期：10月1日(水) II期：10月15日(水) III期：10月22日(水) IV期：10月29日(水) V期：11月5日(水)	学校における情報教育の促進 情報活用能力の育成 授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～ 小学校段階におけるプログラミング教育の進め方
第9日	I期：10月1日(水) II期：10月8日(水)	【所外研修】 特別支援学校における体験研修（県立特別支援学校の協力校） 【県西教育事務所管内の受講者】 【所外研修】 特別支援学校における体験研修（県立特別支援学校の協力校） 【水戸・県北・鹿行・県南教育事務所管内の受講者】
第10日	I期：11月12日(水) II期：11月19日(水)	1班：基礎的な理科の観察・実験の方法、算数科の授業づくりの基礎・基本 2班：算数科の授業づくりの基礎・基本、基礎的な理科の観察・実験の方法 3班：社会科の授業づくりの基礎・基本、体育科の授業づくりの基礎・基本 4班：体育科の授業づくりの基礎・基本、社会科の授業づくりの基礎・基本
第11日	I期：11月26日(水) II期：12月3日(水)	児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり2 成長・発達を支える私の実践
第12日	I期：1月21日(水) II期：1月28日(水)	【オンライン研修】 生活科の授業の実際 総合的な学習の時間の授業の実際 授業実践の成果と課題 今後の授業づくりに向けて
第13日	*月*日(*)	【市町村研修】
第14日	I期：2月4日(水) II期：2月18日(水)	児童がつくる学級活動の指導のポイント 児童がつくる学級会を目指して～模擬学級会～ 小学校における発達段階に応じたキャリア教育 1年間の研修の成果と次年度への課題 2年次研修に向けて

(注) A区分・B区分採用の者は、第5日、第6日、第7日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（中学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

I期（第9日を除く）：県北・県南教育事務所管内の受講者

II期（第9日を除く）：水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者

※ 第6日と第7日の班分け及び第9日の期分けについては、第1日に連絡する。

区分	期日	研修内容
第1日	4月15日（火）	開講式 所長講話 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション （事後視聴）一次救命処置、メンタルヘルス
第2日	4月22日（火）	（事前視聴）中学校学習指導要領（各教科）の改訂のポイント 教科別研修
第3日	I期：5月13日（火） II期：5月20日（火）	成長・発達を支える教員の関わり 保護者との信頼関係を築く教員の関わり
第4日	5月27日（火）	教科別研修
第5日 （注）	6月10日（火）	【所外研修】 授業参観 授業づくりの実際
第6日 第7日 （注）	A班：7月29日（火） 7月30日（水） B班：8月4日（月） 8月5日（火）	【集中研修（宿泊可能）】 第6日： 教職員のメンタルヘルス 発達障害等のある生徒の理解と支援 道徳科の授業づくりと評価 なすことによって学ぶ特別活動～人間関係形成、社会参画、自己実現の視点から～ 学級担任として求められるマネジメントの在り方 第7日： 児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり1 問題行動・不登校等の理解とチーム支援
第8日	9月9日（火）	教科別研修（保健体育は所外）
第9日	I期：9月16日（火） II期：9月30日（火） III期：10月7日（火） IV期：10月21日（火）	学校における情報教育の促進 情報モラルとデジタル・シティズンシップ教育 授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～
第10日	11月11日（火）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修
第11日	I期：11月18日（火） II期：11月25日（火）	児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり2 成長・発達を支える私の実践

区分	期日	研修内容
第12日	1月27日（火）	【オンライン研修】 総合的な学習の時間の授業の実際 授業実践の成果と課題 今後の授業づくりに向けて
第13日	*月*日（*）	【市町村研修】
第14日	I期：2月3日（火） II期：2月17日（火）	生徒がつくる学級活動の指導のポイント 生徒がつくる学級会を目指して～模擬学級会～ 生徒の思いを実現するキャリア教育 1年間の研修の成果と次年度への課題 2年次研修に向けて

（注） A区分・B区分採用の者は、第5日、第6日、第7日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月17日（木）	開講式 所長講話 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 教育活動と校務～充実した教員生活を送るために～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション （事後視聴）一次救命処置、メンタルヘルス
第2日	4月24日（木）	成長・発達を支える教員の関わり 保護者との信頼関係を築く教員の関わり
第3日	5月8日（木）	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 教科別研修
第4日	5月29日（木）	安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ なすことによって学ぶ特別活動～人間関係形成、社会参画、自己実現の視点から～ 学校教育全体を通じた道徳教育の基礎・基本
第5日	I期：5月27日（火）	【音楽】 教科別研修
	II期：5月28日（水）	【看護・福祉（オンライン研修）】 教科別研修（埼玉県立総合教育センターとの合同開催）
	III期：6月19日（木）	【国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、美術・書道、外国語（英語）、家庭、情報、農業、工業、商業、水産】 教科別研修
第6日 第7日 （注）	7月23日（水） 7月24日（木）	【集中研修（宿泊可能）】 第6日： 教職員のメンタルヘルス 生徒がつくるホームルーム活動の指導のポイント よりよい人間関係づくりの手法と実践 第7日： 児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり1 問題行動・不登校等の理解とチーム支援
第8日	I期：9月3日（水）	【看護・福祉（オンライン研修）】 教科別研修（埼玉県立総合教育センターとの合同開催）
	II期：9月4日（木）	【国語、地理歴史・公民、数学、理科、美術・書道、外国語（英語）、家庭】 教科別研修
	III期：9月9日（火）	【音楽、保健体育】 教科別研修（保健体育は所外）
	IV期：10月2日（木）	【情報、農業、工業】 教科別研修（所外）
	V期：*月*日（*）	【水産】 教科別研修（所外）
	VI期：12月18日（木）	【商業】 教科別研修（所外）

区分	期日	研修内容
第9日	I期：9月11日（木）	学校における情報教育の促進 情報モラルとデジタル・シティズンシップ教育
	II期：9月18日（木）	授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～ ※ 第9日の期分けについては、第4日に連絡する。
第10日 （注）	10月16日（木）	【所外研修】 授業参観 教科別研修
第11日	10月30日（木）	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育 ワーク・ライフ・バランスの理解 発達障害等のある生徒の理解と支援
第12日	11月6日（木）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修
第13日	12月4日（木）	児童生徒との信頼関係を築く教員の関わり2 成長・発達を支える私の実践
第14日	1月22日（木）	【オンライン研修】 総合的な探究の時間の授業の実際 授業実践の成果と課題 今後の授業づくりに向けて
第15日	2月5日（木）	ホームルーム担任として求められるマネジメントの在り方 生徒の主体性が育つホームルーム運営の実際 1年間の研修の成果と次年度への課題 これからの教員に期待されること 2年次研修に向けて

（注） A区分・B区分採用の者は、第6日、第7日、第10日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。初任者は、主に基礎的・基本的な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用1年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される初任者）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月17日（木）	開講式 所長講話 国及び本県の特別支援教育の現状と課題 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 教職員の服務と教育関連法規 校外研修の内容及び研修に参加するにあたって （事後視聴）一次救命処置、メンタルヘルス
第2日	4月24日（木）	特別支援学校における教育課程の編成 児童生徒の実態把握 個別の教育支援計画と個別の指導計画 単元を通じた授業づくり～児童生徒の実態に応じた工夫を通して～
第3日	5月15日（木）	国語科の授業づくり 算数・数学科の授業づくり 単元を通じた学習指導案の作成 【スペシャリストを対象とした特別選考での採用者】 特別支援学校における専門職の役割 自立活動の学習指導案の作成
第4日	6月5日（木）	知的障害児の理解と支援 保護者との連携の在り方 教職員のメンタルヘルス
第5日	6月19日（木）	各教科等を合わせた授業づくり 自立活動の授業づくり～課題の明確化を中心に～ 自立活動の授業づくりの実際 自立活動における指導計画の作成
第6日	7月3日（木）	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
第7日 第8日 （注）	7月30日（水） 7月31日（木）	【集中研修（宿泊可能）】 第7日： 教員と児童生徒との信頼関係づくり 視覚障害児の理解と支援 聴覚障害児の理解と支援 力を合わせるグループ活動の実際 第8日： 特別支援学校におけるチーム・ティーチングの実際 発達障害児の理解と支援 肢体不自由児の理解と支援 病弱児の理解と支援 特別支援学校教員としての今後の取組に向けて①

区分	期日	研修内容
第9日	9月18日（木）	主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
第10日	10月2日（木）	障害の重い児童生徒の理解と支援 特別支援学校における道徳科の授業づくり
第11日	10月23日（木）	授業におけるICT活用 実技教科の授業づくり（選択研修：音楽科の授業づくり、図画工作・美術科の授業づくり、家庭科の授業づくり） 特別支援学級及び通級指導教室の実際
第12日	A班：11月6日（木） B班：11月20日（木） C班：11月20日（木） D班：11月27日（木） E班：11月27日（木）	【所外研修】 小学校の通常の学級及び特別支援学級の授業参観
第13日 （注）	1月22日（木）	特別支援学校におけるキャリア教育 望ましい行動を引き出す支援の在り方 障害者スポーツの実際
第14日	2月5日（木）	主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり
第15日	2月12日（木）	望ましい学級経営の在り方 特別支援学校におけるセンター的機能 特別支援学校教員として今後の取組に向けて②

（注） A区分・B区分採用の者は、第7日、第8日、第13日を受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（小学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第2日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No. 25 https://youtu.be/63KUompcHU0

区分	期日	研修内容
第1日	6月11日（水）	学級のマネジメント上の課題と改善 学級のマネジメント上の課題解決の実際 発問を工夫し、児童が共に学び考えを深める道徳科の授業 発問を工夫し、児童が共に学び考えを深める道徳科の授業づくり
第2日	I期：10月28日（火） II期：11月6日（木）	算数科における主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり 3年次研修に向けて

※ I期は、県北・県南教育事務所管内の受講者、II期は、水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者とする。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（中学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第2日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No. 25 https://youtu.be/63KUompcHU0

区分	期日	研修内容
第1日	6月6日（金）	学級のマネジメント上の課題と改善 学級のマネジメント上の課題解決の実際 発問を工夫し、生徒が共に学び考えを深める道徳科の授業 発問を工夫し、生徒が共に学び考えを深める道徳科の授業づくり
第2日	11月27日（木）	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり 3年次研修に向けて

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（高等学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第2日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	NITS 独立行政法人教職員支援機構 動画教材 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて：校内研修シリーズ No. 25 https://youtu.be/63KUompcHU0

区分	期日	研修内容
第1日	7月4日（金）	学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育の充実 自発的、自治的な活動を支援するホームルーム経営 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	I期：10月31日（金）	【国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、家庭・看護・福祉、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業、水産】 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり 3年次研修に向けて
	II期：11月27日（木）	【音楽、美術・書道】 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり 3年次研修に向けて

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔2年次〕研修講座（特別支援学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。2年次の教員は、主に授業力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用2年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される2年次教員）

3 年間計画

第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「実態把握を生かした自立活動」

区分	期日	研修内容
第1日	9月30日（火）	実態把握を生かした自立活動の実践 自立活動の指導における実践研究の内容検討
第2日	1月20日（火）	自立活動の指導における実践研究

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和7年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（小学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立小学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	I期：6月27日（金）	教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント
	II期：7月1日（火）	学級活動（2）（3）の授業づくりのポイント 信頼関係を築く教員の関わり～保護者面談を通して～
第2日	I期：12月11日（木）	授業づくりの課題と対応
	II期：12月17日（水）	修了式

※ I期は、県北・県南教育事務所管内の受講者、II期は、水戸・鹿行・県西教育事務所管内の受講者とする。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（中学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立中学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月30日（金）	教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント 学級活動（2）（3）の授業づくりのポイント 信頼関係を築く教員の関わり～保護者面談を通して～
第2日	I期：12月5日（金）	【 <u>社会A</u> 、 <u>音楽A</u> 、 <u>美術A</u> 、 <u>保健体育A</u> 】 授業づくりの課題と対応 修了式
	II期：12月16日（火）	【 <u>国語</u> 、 <u>社会B</u> 、 <u>数学</u> 、 <u>理科</u> 、 <u>音楽B</u> 、 <u>美術B</u> 、 <u>保健体育B</u> 、 <u>技術・家庭〔技術〕</u> 、 <u>技術・家庭〔家庭〕</u> 、 <u>外国語（英語）</u> 】 授業づくりの課題と対応 修了式

※ 第2日の社会、音楽、美術、保健体育の班分けについては、第1日に連絡する。

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（高等学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

県立高等学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月18日（水）	教育目標の実現のためのカリキュラム・マネジメント 学校の未来を語る 信頼関係を築く教員の関わり～保護者面談を通して～
第2日	12月5日（金）	授業づくりの課題と対応 修了式

※ B区分採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用教員〔3年次〕研修講座（特別支援学校）

1 目的

3年間の研修を通して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。3年次の教員は、主に課題対応力の育成を図る。

2 対象（条件等）

公立特別支援学校採用3年次の教員（「新規採用教員研修実施要項」〔茨城県教育委員会〕に示される3年次教員）

3 年間計画

第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学習上の課題と対応ー評価の工夫を通してー」

区分	期日	研修内容
第1日	9月24日（水）	特別支援学校のカリキュラム・マネジメントの推進 評価に基づく授業改善 評価に基づく授業改善の計画検討
第2日	1月29日（木）	指導と評価の一体化を目指した授業改善 修了式

※ B区分採用の者及びスペシャリスト採用の者は、2日間とも受講対象外とする。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用養護教諭〔初任者〕研修講座

1 目的

学校保健・学校安全における基本的な事項について理解し、実践的指導力と使命感を養う。

2 対象（条件等）

公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校の新規採用の養護教諭

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月15日（火）	開講式 所長講話 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション （事後視聴）メンタルヘルス
第2日	5月16日（金）	情報モラル・情報セキュリティ 児童生徒の災害共済給付制度 学校保健の現状と求められる養護教諭の資質・能力 求められる養護教諭の役割と保健室経営
第3日	6月12日（木）	心身の発達と性に関する指導の実際 感染症の予防と管理 感染症の予防と管理～感染症対策の実際～ 自校の課題を踏まえた実践の進め方
第4日	7月10日（木）	教職員のメンタルヘルス 保健室経営の実際 保健室の課題 児童生徒のスポーツ傷害
第5日	9月10日（水）	不登校児童生徒との関わり アレルギーへの対応 心肺蘇生法
第6日	10月1日（水）	【オンライン研修】 特別な教育的ニーズのある児童生徒の理解と支援 児童生徒のメンタルヘルス 薬物乱用防止教育・がん教育 保健室での心理的援助の実際
第7日	10月22日（水）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修
第8日	2月6日（金）	自校の課題を踏まえた実践の共有 1年間の研修を振り返って 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用栄養教諭〔初任者〕研修講座

1 目的

学校給食の管理や食に関する指導における基本的な事項について理解し、実践的指導力と使命感を養う。

2 対象（条件等）

公立小・中学校及び特別支援学校の新規採用の栄養教諭

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月15日（火）	開講式 所長講話 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 栄養教諭に望むこと 研修に参加するにあたって （事後視聴） メンタルヘルス
第2日	5月23日（金）	学校給食衛生管理の基準 学校給食関連事故発生時の対応 食に関する指導上の課題 食に関する指導の全体計画
第3日	6月17日（火）	【所外研修】 授業参観（食に関する指導の実際） 給食参観（給食指導の実際） 食に関する指導の進め方
第4日	7月10日（木）	教職員のメンタルヘルス 学習指導要領と教科等との関わり 食に関する指導の実際 食に関する指導における学習指導案の作成と実践研究（食に関する指導）の進め方
第5日	9月10日（水）	食に関する学習指導案の検討 アレルギーへの対応 心肺蘇生法
第6日	10月2日（木）	個別指導に取り組むために 給食の時間における指導の工夫 発達障害等のある児童生徒の理解と支援 児童生徒の理解と保護者との連携 情報モラル・情報セキュリティ
第7日	11月5日（水）	【オンライン研修】 食品の安全性 学校給食管理の実際 病状に適した栄養指導 給食献立作成上の工夫
第8日	2月6日（金）	実践研究の共有 1年間の研修を振り返って 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用実習助手研修講座（高等学校）

- 1 目的
実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。
- 2 対象（条件等）
県立高等学校新規採用実習助手。ただし、臨時的任用職員を除く。

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月17日（木）	開講式 所長講話 信頼される教育公務員とは～教職員の服務と基本的心構え～ 教育活動と校務～充実した教員生活を送るために～ 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ オリエンテーション （事後視聴）一次救命処置、メンタルヘルス
第2日	4月24日（木）	成長・発達を支える教員の関わり 保護者との信頼関係を築く教員の関わり
第3日	7月4日（金）	安全な教育環境であるために～学校事故の未然防止～ 実習助手の職務 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第4日	9月11日（木）	学校における情報教育の促進 情報モラルとデジタル・シティズンシップ教育 授業におけるICT活用～授業支援ソフトの効果的な活用に向けて～
第5日	11月6日（木）	【所外研修】 特別支援学校における体験研修
第6日	1月30日（金）	授業への取組の改善 実習助手としての授業への関わり方 実習助手としての課題とその改善 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用実習助手研修講座（特別支援学校）

- 1 目的
実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。
- 2 対象（条件等）
県立特別支援学校新規採用実習助手。ただし、臨時的任用職員を除く。
- 3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	4月17日（木）	開講式 所長講話 国及び本県の特別支援教育の現状と課題 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 教職員の服務と教育関連法規 校外研修の内容及び研修に参加するにあたって （事後視聴）一次救命処置、メンタルヘルス
第2日	4月24日（木）	特別支援学校における教育課程の編成 児童生徒の実態把握 特別支援学校における実習助手の役割 特別支援学校における実習助手の実践と取組 特別支援学校における実習助手の課題の整理
第3日	6月5日（木）	知的障害児の理解と支援 保護者との連携の在り方 教職員のメンタルヘルス
第4日	10月2日（木）	障害の重い児童生徒の理解と支援 特別支援学校における実習助手の課題と今後の取組
第5日	1月22日（木）	特別支援学校におけるキャリア教育 望ましい行動を引き出す支援の在り方 障害者スポーツの実際
第6日	1月30日（金）	授業への取組の改善～次年度に向けた実践を考える～ 実習助手としての専門性とキャリアを考える 実習助手としての課題とその改善 修了式

- 4 研修講座資料等
研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用寄宿舍指導員研修講座

※ 令和7年度は新規採用者がいないため、本講座は実施しない。

1 目的
実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。

2 対象（条件等）
県立特別支援学校新規採用寄宿舍指導員

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	開講式 所長講話 国及び本県の特別支援教育の現状と課題 人権教育の理解と推進～人権感覚の涵養を目指して～ 教職員の服務と教育関連法規 校外研修の内容及び研修に参加するにあたって （事後視聴）一次救命処置、メンタルヘルス
第2日	*月*日（*）	特別支援学校における教育課程の編成 児童生徒の実態把握 寄宿舍指導員の役割 寄宿舍指導員の支援の実際
第3日	*月*日（*）	知的障害児の理解と支援 保護者との連携の在り方 教職員のメンタルヘルス
第4日	*月*日（*）	障害の重い児童生徒の理解と支援 寄宿舍指導員としてのこれから
第5日	*月*日（*）	特別支援学校におけるキャリア教育 望ましい行動を引き出す支援の在り方 障害者スポーツの実際
第6日	*月*日（*）	寄宿舍における危機管理 寄宿舍における余暇活動 寄宿舍指導員としての今後の課題 修了式

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新規採用市町村立学校事務職員研修講座

1 目的

公務員としての心構えと職務上必要な基礎的知識及び技能を習得し、事務職員としての自覚を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	令和7年4月1日付け採用の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月8日（木）	開講式 所長講話 事務職員の服務及び接遇～基礎基本を身に付ける～ 給与事務の基礎Ⅰ 正確な事務処理・効率的な業務の進め方の実践 財務事務を考える～学校徴収金の取扱いを中心に～ 事務職員としての服務、人間関係の構築を求めて
第2日	9月11日（木）	人権教育の現状と課題－基礎編－ 生徒指導の現状－基礎編－ 本県教育の現状を知る 給与事務の基礎Ⅱ 学校事務の共同実施の実践 事務職員としての知識及び技能の向上を求めて 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月28日（水）	開講式 不登校の理解と支援・いじめの理解と対応 不登校・いじめの未然防止につながる集団づくり 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする児童生徒のケース会議の進め方
第2日	I期：6月25日（水） II期：6月26日（木） III期：6月27日（金） IV期：7月1日（火） V期：7月2日（水） VI期：7月3日（木）	授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～ 探究的な学習におけるICT活用
第3日	7月11日（金）	教科別研修 （公開講義 No. 08）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
第4日	9月5日（金）	教科別研修
第5日	I期：10月24日（金） II期：11月28日（金）	【国語、社会、理科、生活、音楽、図画工作、体育、自立活動】 教科別研修 【算数、家庭、外国語活動・外国語】 教科別研修
第6日	12月9日（火）	学校のリスクマネジメント 問題解決的な道徳科の授業 自治的能力の育成を目指す学級のマネジメントの工夫改善 自治的能力を育むための特別活動の工夫改善
第7日	2月19日（木）	教科別研修 （公開講義 No. 24）豊かな情操を培う造形遊び 後期に向けて

- ※ 第2日の期分けについては、4月上旬に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。
 ※ 第3日からの教科別研修の選択教科については、第1日に希望教科を調査し、決定後、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。
 ※ 教科別研修の詳細は、次ページに示すとおり。

教科別研修表

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	7月11日（金） オンライン研修	9月5日（金） 教育研修センター	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
社会	7月11日（金） オンライン研修	9月5日（金） 国土地理院	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
算数	7月11日（金） 教育研修センター	9月5日（金） 教育研修センター	11月28日（金） 教育研修センター	2月19日（木） 教育研修センター
理科	7月11日（金） オンライン研修	9月5日（金） 教育研修センター	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
生活	7月11日（金） 教育研修センター	9月5日（金） 教育研修センター	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
音楽	7月11日（金） 教育研修センター	9月5日（金） 教育研修センター	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
図画工作	7月11日（金） 教育研修センター	9月5日（金） 茨城県陶芸美術館	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
家庭	7月11日（金） 教育研修センター	9月5日（金） 教育研修センター	11月28日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
体育	7月11日（金） 教育研修センター	9月5日（金） 教育研修センター	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
外国語活動 外国語	7月11日（金） オンライン研修	9月5日（金） 教育研修センター	11月28日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修
自立活動	7月11日（金） 教育研修センター	9月5日（金） 教育研修センター	10月24日（金） 教育研修センター	2月19日（木） オンライン研修

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月16日（金）	開講式 不登校の理解と支援・いじめの理解と対応 不登校・いじめの未然防止につながる集団づくり 特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする児童生徒のケース会議の進め方
第2日	I期：5月29日（木） II期：5月30日（金） III期：6月5日（木） IV期：6月6日（金）	授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～ 探究的な学習におけるICT活用
第3日	7月9日（水）	教科別研修 （公開講義 No. 07）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
第4日	I期：9月16日（火） II期：9月19日（金）	【音楽、美術、保健体育】 教科別研修 【国語、社会、数学、理科、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 教科別研修 （公開講義 No. 16）国語科の授業づくりと評価の改善 （公開講義 No. 17）思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方
第5日	I期：10月15日（水） II期：11月14日（金） III期：11月18日（火）	【国語、社会、理科、美術A】 教科別研修 【数学、音楽A、美術B、保健体育、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 教科別研修 【音楽B】 教科別研修
第6日	12月2日（火）	学校のリスクマネジメント 問題解決的な道徳科の授業 自治的能力の育成を目指す学級のマネジメントの工夫改善 自治的能力を育むための特別活動の工夫改善

区分	期日	研修内容
第7日	I期：2月5日（木）	【国語、社会、数学、理科、保健体育、技術・家庭〔技術〕、技術・家庭〔家庭〕、外国語（英語）】 教科別研修 （公開講義 No. 21）創造的な学びに着目した理科教育 後期に向けて
	II期：2月12日（木）	【音楽、美術】 教科別研修 （公開講義 No. 23）創造的思考力を育むアート 後期に向けて

※ 第2日の期分けについては、4月上旬に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。

※ 第5日の音楽と美術の班分けについては、第1日に連絡する。

※ 教科別研修の詳細は、教科別研修表に示すとおり。

教科別研修表

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	7月9日（水） オンライン研修	9月19日（金） 教育研修センター	10月15日（水） 教育研修センター	2月5日（木） オンライン研修
社会	7月9日（水） オンライン研修	9月19日（金） 国土地理院	10月15日（水） 教育研修センター	2月5日（木） オンライン研修
数学	7月9日（水） 教育研修センター	9月19日（金） 教育研修センター	11月14日（金） 教育研修センター	2月5日（木） 教育研修センター
理科	7月9日（水） オンライン研修	9月19日（金） 教育研修センター	10月15日（水） 教育研修センター	2月5日（木） オンライン研修
音楽	7月9日（水） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	A班：11月14日（金） B班：11月18日（火） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
美術	7月9日（水） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	A班：10月15日（水） B班：11月14日（金） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
保健体育	7月9日（水） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	11月14日（金） 笠松運動公園	2月5日（木） オンライン研修
技術・家庭 〔技術〕	7月9日（水） 教育研修センター	9月19日（金） 教育研修センター	11月14日（金） 教育研修センター	2月5日（木） 教育研修センター
技術・家庭 〔家庭〕	7月9日（水） 教育研修センター	9月19日（金） 教育研修センター	11月14日（金） 教育研修センター	2月5日（木） オンライン研修
外国語 （英語）	7月9日（水） オンライン研修	9月19日（金） 教育研修センター	11月14日（金） 教育研修センター	2月5日（木） オンライン研修

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（金）	開講式 不登校の理解と支援・いじめの理解と対応 不登校・いじめの未然防止につながる集団づくり 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	I期：6月11日（水） II期：6月12日（木）	授業におけるICT活用～探究的な学習に向けて～ 探究的な学習におけるICT活用
第3日	6月24日（火）	教科別研修 （公開講義 No. 05）主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
第4日	I期：9月3日（水）	【看護・福祉】 教科別研修（埼玉県立総合教育センターとの合同開催）
	II期：9月10日（水）	【情報】 教科別研修
	III期：9月12日（金）	【水産】 教科別研修
	IV期：9月16日（火）	【国語、地理歴史・公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術・書道、外国語（英語）、家庭】 教科別研修 （公開講義 NO. 15）思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方
	V期：9月19日（金）	【農業、工業、商業】 教科別研修
第5日	I期：9月26日（金）	【水産】 教科別研修（福島県教育センターとの合同開催）
	II期：10月8日（水）	【国語、地理歴史・公民、理科、情報、農業、工業、商業】 教科別研修
	III期：10月15日（水）	【美術・書道A】 教科別研修
	IV期：11月14日（金）	【保健体育、音楽A、美術・書道B】 教科別研修
	V期：11月18日（火）	【数学、音楽B、外国語（英語）、家庭、看護・福祉】 教科別研修

区分	期日	研修内容
第6日	12月10日（水）	学校のリスクマネジメント 自己実現を支援するキャリア教育の充実 生徒がつくる特別活動の工夫改善～自治的能力の育成の視点から～ 学校教育全体を通した道徳教育の充実
第7日	2月12日（木）	教科別研修 （公開講義 No. 22）創造的な学びに着目した理科教育 （公開講義 NO. 23）創造的思考力を育むアート 後期に向けて

※ 第2日の期分けについては、5月上旬に、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。

※ 第5日の音楽と美術・書道の班分けについては、第1日に連絡する。

※ 教科別研修の詳細は、教科別研修表に示すとおり。

教科別研修表

教科	第3日	第4日	第5日	第7日
国語	6月24日（火） オンライン研修	9月16日（火） 教育研修センター	10月8日（水） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
地理歴史・公民	6月24日（火） オンライン研修	9月16日（火） 国土地理院	10月8日（水） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
数学	6月24日（火） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	11月18日（火） 教育研修センター	2月12日（木） 教育研修センター
理科	6月24日（火） オンライン研修	9月16日（火） 教育研修センター	10月8日（水） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
保健体育	6月24日（火） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	11月14日（金） 笠松運動公園	2月12日（木） オンライン研修
音楽	6月24日（火） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	A班：11月14日（金） B班：11月18日（火） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
美術・書道	6月24日（火） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	A班：10月15日（水） B班：11月14日（金） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
外国語 （英語）	6月24日（火） オンライン研修	9月16日（火） 教育研修センター	11月18日（火） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
家庭	6月24日（火） 教育研修センター	9月16日（火） 教育研修センター	11月18日（火） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
看護・福祉	6月24日（火） 教育研修センター	9月3日（水） オンライン研修	11月18日（火） 教育研修センター	2月12日（木） オンライン研修
情報	6月24日（火） 教育研修センター	9月10日（水） 教育研修センター	10月8日（水） 教育研修センター	2月12日（木） 教育研修センター
農業	6月24日（火） 教育研修センター	9月19日（金） 県内関連施設	10月8日（水） 教育研修センター	2月12日（木） 教育研修センター
工業	6月24日（火） 教育研修センター	9月19日（金） 県内関連施設	10月8日（水） 教育研修センター	2月12日（木） 教育研修センター
商業	6月24日（火） 教育研修センター	9月19日（金） 県内関連施設	10月8日（水） 教育研修センター	2月12日（木） 教育研修センター
水産	6月24日（火） 教育研修センター	9月12日（金） 県内関連施設	9月26日（金） 教育研修センター	2月12日（木） 教育研修センター

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）

1 目的

中堅教諭として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（金）	開講式 働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 児童生徒の課題の解決を目指した事例研究の進め方 特別支援学校のセンター的機能とその役割～専門性を生かした積極的な地域支援～ 高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	6月26日（木）	主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善 （公開講義 No. 31） 学習指導要領と特別支援学校の授業づくり～主体的・対話的で深い学びのための指導のポイント～ 主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業づくり
第3日	7月8日（火）	学年・学級経営における生徒指導～チーム学校による体制づくり～ 児童生徒の課題の解決を目指した事例研究の計画検討
第4日	10月17日（金）	自立活動の指導における工夫・改善 自立活動の目標設定と指導～課題と場面の明確化を中心に～
第5日	11月4日（火）	特別の教科 道徳の実践の在り方 児童生徒の課題解決を目指した事例研究の中間検討
第6日	12月12日（金）	キャリア形成支援の充実 福祉事業所との連携の実際 ICTを活用した授業の工夫 特別支援学校におけるICTを活用した授業実践
第7日	2月20日（金）	【オンライン研修】 児童生徒の課題の解決を目指した事例研究

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅養護教諭として、学校保健や学校安全に関する基本的事項について捉え直すとともに、自己の課題を明確にし、その解決に資する。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	養護教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（金）	開講式 中堅養護教諭〔前期〕に望むこと 保健室経営を振り返って 学校保健・学校安全の動向 自校の課題を踏まえた実践の進め方
第2日	6月25日（水）	【所外研修】 授業参観（健康教育におけるティーム・ティーチングの実際） 健康教育の進め方
第3日	9月19日（金）	精神保健 健康相談 学校保健組織活動
第4日	11月20日（木）	心肺蘇生法 健康相談の見直しと連携の進め方
第5日	2月17日（火）	自校の課題を踏まえた実践の共有 中堅後期に向けて

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅栄養教諭として、学校給食の管理や食に関する指導における基本的な事項について捉え直すとともに、自己の課題を明確にし、その解決に資する。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、公立特別支援学校
職	栄養教諭
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（金）	開講式 学校給食衛生管理の基準 学校給食関連事故発生時の対応 食に関する指導上の課題
第2日	6月17日（火）	【所外研修】 授業参観（食に関する指導の実際） 給食参観（給食指導の実際） 食に関する指導の進め方
第3日	7月2日（水）	栄養教諭を中核とした学校の食育の在り方 個別的な相談指導 衛生管理・栄養管理の現状と課題 実践研究の進め方
第4日	9月3日（水）	実践研究の中間検討 地場産物を活用した献立作成上の工夫 給食を生きた教材として活用した食に関する指導の工夫 食に関する指導に係る全体計画の作成
第5日	2月6日（金）	実践研究の共有 1年間の研修を振り返って 中堅後期に向けて

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（高等学校）

1 目的

中堅実習助手として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	実習助手、実習講師
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（金）	不登校の理解と支援・いじめの理解と対応 不登校・いじめの未然防止につながる集団づくり 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	12月10日（水）	学校のリスクマネジメント 自己実現を支援するキャリア教育の充実 学習指導要領と授業への関わり方 実習助手としての課題とその改善

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座（特別支援学校）

1 目的

中堅実習助手として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	実習助手、実習講師
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月23日（金）	開講式 働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 特別支援学校における実習助手としての役割～チームでの支援を中心に～ 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	12月12日（金）	キャリア形成支援の充実 福祉事業所との連携の実際 I C Tを活用した授業の工夫 特別支援学校におけるI C Tを活用した授業実践 特別支援学校における実習助手としての課題とその改善

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅寄宿舍指導員〔前期〕資質向上研修講座

※ 令和7年度は受講対象者がいないため、本講座は実施しない。

1 目的

中堅寄宿舍指導員として、教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舍指導員
条件	・教職経験5年を有する者 ・教職経験5年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の6年次研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	開講式 働き方改革～ワーク・ライフ・バランスに向けて～ 寄宿舍における教育相談 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 高等学校における特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
第2日	*月*日（*）	キャリア形成支援の充実 福祉事業所との連携の実際 I C Tを活用した授業の工夫 特別支援学校におけるI C Tを活用した授業実践 寄宿舍における課題解決に向けての取組

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 6年次市町村立学校事務職員研修講座

1 目的

若手事務職員として児童生徒の教育活動に貢献するため、職務上の基本的問題を取り上げ、業務に直接関わる研修を行い、職場への一層の適応力を養う。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	令和7年度に6年次を迎える者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月22日（木）	給与事務－応用編－ 生徒指導の現状と課題－実践編－ 人権教育の現状と課題－実践編－ 学校教育におけるカリキュラム・マネジメントに関する事務職員の果たす役割 若手事務職員としての役割とは
第2日	9月18日（木）	若手事務職員としてのリスクマネジメントの実践 若手事務職員としての学校組織マネジメントの実践 若手事務職員としての財務マネジメントの実践(学校徴収金を含む) 若手事務職員としての財務マネジメントとカリキュラム・マネジメントを考える (学校徴収金を含む) マネジメント業務に関わる事務職員を目指して

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月20日（火）	ミドルリーダーに必要なコーチング力 ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める これからの特別支援教育
第2日	6月13日（金）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務の情報化における情報セキュリティ
第3日	7月4日（金）	【オンライン研修】 教科等横断的な視点を踏まえた学びの実際～社会とのつながりを見据えて～ 教科等横断的な視点を踏まえた学びに向けて
第4日	10月3日（金）	児童生徒を支援する関係法規 児童生徒のよさや可能性を伸ばすカウンセリング チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～
第5日	選択分野による	【選択研修】 ※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。 ※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。
第6日	12月2日（火）	【オンライン研修】 （事前視聴）子どもの事実から子どもを主語に「学校づくり」を問い直しませんか～ 「みんなの学校」をつくるために～ 学校全体における教科学習の現状と課題 組織的な授業改善を目指した校内研修づくり～プロジェクトプロポーザルを通して～ 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月11日（火）	教育相談	関係機関との連携の実際 問題行動等の未然防止に生かすグループアプローチ
	*月*日（*）	キャリア教育	（事前視聴）キャリア教育の実践 社会が求める人材 これから生きる児童・生徒に必要な力
	10月21日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して
	10月31日（金）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 自己実現のためのセルフマネジメント 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	11月18日（火）	情報教育	学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割 （公開講義 No. 27）学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダー の視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～ 自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育 の校内研修をマネジメントする～
	11月12日（水）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（中学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等(前期)資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月28日（水）	ミドルリーダーに必要なコーチング力 ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める これからの特別支援教育
第2日	6月13日（金）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務の情報化における情報セキュリティ
第3日	6月26日（木）	【オンライン研修】 教科等横断的な視点を踏まえた学びの実際～社会とのつながりを見据えて～ 教科等横断的な視点を踏まえた学びに向けて
第4日	9月26日（金）	児童生徒を支援する関係法規 児童生徒のよさや可能性を伸ばすカウンセリング チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～
第5日	選択分野による	【選択研修】 ※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。 ※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。
第6日	12月10日（水）	【オンライン研修】 （事前視聴）子どもの事実から子どもを主語に「学校づくり」を問い直しませんか～ 「みんなの学校」をつくるために～ 学校全体における教科学習の現状と課題 組織的な授業改善を目指した校内研修づくり～プロジェクトプロポーザルを通して～ 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月11日（火）	教育相談	関係機関との連携の実際 問題行動等の未然防止に生かすグループアプローチ
	*月*日（*）	キャリア教育	（事前視聴）キャリア教育の実践 社会が求める人材 これから生きる児童・生徒に必要な力
	10月21日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して
	10月31日（金）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 自己実現のためのセルフマネジメント 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	11月18日（火）	情報教育	学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割 （公開講義 No. 27）学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダー の視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～ 自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育 の校内研修をマネジメントする～
	11月12日（水）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（高等学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月3日（火）	ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める ミドルリーダーに必要なコーチングの視点 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方
第2日	6月20日（金）	【オンライン研修】 服務規律の徹底におけるミドルリーダーの役割 校務の情報化における情報セキュリティ 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応
第3日	7月10日（木）	【オンライン研修】 教科等横断的な視点を踏まえた学びの実際～社会とのつながりを見据えて～ 教科等横断的な視点を踏まえた学びに向けて
第4日	10月7日（火）	児童生徒を支援する関係法規 児童生徒のよさや可能性を伸ばすカウンセリング チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～
第5日	選択分野による	【選択研修】 ※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。 ※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。
第6日	12月3日（水）	【オンライン研修】 （事前視聴）子どもの事実から子どもを主語に「学校づくり」を問い直しませんか～ 「みんなの学校」をつくるために～ 学校全体における教科学習の現状と課題 組織的な授業改善を目指した校内研修づくり～プロジェクトプロポーザルを通して～ 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月11日（火）	教育相談	関係機関との連携の実際 問題行動等の未然防止に生かすグループアプローチ
	*月*日（*）	キャリア教育	（事前視聴）キャリア教育の実践 社会が求める人材 これから生きる児童・生徒に必要な力
	10月21日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して
	10月31日（金）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 自己実現のためのセルフマネジメント 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	11月18日（火）	情報教育	学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割 （公開講義 No. 27）学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダー の視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～ 自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育 の校内研修をマネジメントする～
	11月12日（水）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（特別支援学校）

1 目的

中堅教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月3日（火）	学校の課題の把握と分析 特別支援学校におけるセンター的機能とファシリテーターの役割 特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方
第2日	6月20日（金）	【オンライン研修】 教職員のサービスとミドルリーダーとしての役割 研究構想の具体化 校務の情報化における情報セキュリティ 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応
第3日	7月10日（木）	ミドルリーダーのためのコーチング 企業におけるミドルリーダーの役割から考える ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究の計画検討
第4日	10月9日（木）	保護者の心に寄り添う教育相談 ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究の中間検討
第5日	選択分野による	【選択研修】 ※ 選択研修の希望については、第1日に連絡する。 ※ 選択研修の詳細は、次ページに示すとおり。
第6日	2月3日（火）	ミドルリーダーの視点を踏まえた課題研究発表 修了式

【選択研修】

区分	期日	分野	研修内容
第5日	11月11日（火）	教育相談	関係機関との連携の実際 問題行動等の未然防止に生かすグループアプローチ
	*月*日（*）	キャリア教育	（事前視聴）キャリア教育の実践 社会が求める人材 これから生きる児童・生徒に必要な力
	10月21日（火）	道徳教育	（事前視聴）児童生徒の発達の段階に応じた道徳教育の進め方 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善の実際 道徳教育と道徳科の授業の工夫改善を目指して
	10月31日（金）	マネジメント	中堅教員に求められるマネジメント力 自己実現のためのセルフマネジメント 実践発表校の教育課題解決への取組から 自校の教育課題解決に向けた構想
	11月18日（火）	情報教育	学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割 （公開講義 No. 27）学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～ 自校の教育の情報化推進に向けて～デジタル・シティズンシップ教育の校内研修をマネジメントする～
	11月12日（水）	特別支援教育	【オンライン研修】 読み書き困難のある児童生徒への指導 読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅養護教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	養護教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅養護教諭〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	5月20日（火）	ミドルリーダーに必要なコーチング力 ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める これからの特別支援教育
第2日	6月13日（金）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務の情報化における情報セキュリティ
第3日	9月26日（金）	学校と児童相談所との連携 児童生徒への福祉的支援の実際 児童虐待
第4日	10月3日（金）	児童生徒を支援する関係法規 児童生徒のよさや可能性を伸ばすカウンセリング チーム支援の実際～保護者との連携・協働を通して～
第5日	11月20日（木）	心肺蘇生法 健康相談の見直しと連携の進め方
第6日	2月17日（火）	自校の課題を踏まえた実践の共有 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座

※ 隔年実施のため、令和7年度は実施しない。令和8年度実施する。

1 目的

中堅栄養教諭として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、公立特別支援学校
職	栄養教諭（任用替え栄養教諭含む）
条件	栄養教諭 ・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅栄養教諭〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者 任用替え栄養教諭 ・令和7年4月1日現在で45歳未満の者 ・実質勤務年数11年以上を有する者 ・実質勤務年数11年以上を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・平成28年度までの10年経験者研修講座において受講認定を受けた者 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	ミドルリーダーに必要なコーチング力 ミドルリーダーとしてのマネジメント力を高める これからの特別支援教育
第2日	*月*日（*）	【オンライン研修】 教職員の服務 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応 校務の情報化における情報セキュリティ
第3日	*月*日（*）	実践研究の進め方 学校における食育の推進と評価 事故発生時の危機管理対応計画の作成 地域と連携した食育の取組
第4日	*月*日（*）	児童生徒を支援する関係法規 児童生徒のよさや可能性を伸ばすカウンセリング チーム支援の実践～保護者との連携・協働を通して～
第5日	I期：*月*日（*） II期：*月*日（*）	【所外研修】 異校種における食に関する指導と給食指導の実践 異校種における食に関する指導の進め方
第6日	*月*日（*）	実践研究の共有 1年間の研修を振り返って 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅実習助手〔後期〕資質向上研修講座

1 目的

中堅実習助手として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、公立特別支援学校
職	実習助手、実習講師、実習教諭
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者 ・前年度までに中堅実習助手〔前期〕資質向上研修講座において受講認定を受けた者
対象外	・本県の10年次研修講座（実）において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月3日（火）	中堅実習助手〔後期〕に望むこと ミドルリーダーに必要なコーチングの視点 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応 特別な教育的支援を必要とする生徒のケース会議の進め方
第2日	1月30日（金）	授業への取組の改善 実習助手としての授業への関わり方 実習助手としての課題とその改善 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 中堅寄宿舍指導員〔後期〕資質向上研修講座

※ 令和7年度は受講対象者がいないため、本講座は実施しない。

1 目的

中堅寄宿舍指導員として、広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通し、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舍指導員
条件	・教職経験11年を有する者 ・教職経験11年を有する者で受講を猶予されていた者
対象外	・本県の10年次研修講座（寄）において受講認定を受けた者 ・本県の中堅教諭等資質向上研修講座（寄）において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる研修講座において受講認定を受けた者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	*月*日（*）	教職員のサービスとミドルリーダーとしての役割 寄宿舍運営に関わる危機管理 校務の情報化における情報セキュリティ 人権教育の組織的な推進 原子力災害対応
第2日	*月*日（*）	寄宿舍指導員に求められる専門性 生活指導と保護者連携 組織力を高める寄宿舍指導の在り方 修了式

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 ベテラン教員研修講座（小学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和7年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和6年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和6年度に受講を猶予されていた者で、令和7年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月25日（水）	これからの学校におけるベテラン教員の役割 これからの時代に求められる特別支援教育 （公開講義 No.06）これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～児童のウェルビーイングを高めるために～ 学校の教育目標を具現化するためのベテラン教員の役割
第2日	1月23日（金）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するための取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 ベテラン教員研修講座（中学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立中学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和7年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和6年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和6年度に受講を猶予されていた者で、令和7年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月20日（金）	これからの学校におけるベテラン教員の役割 これからの時代に求められる特別支援教育 （公開講義 No. 04）これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～ 学校の教育目標を具現化するためのベテラン教員の役割
第2日	1月20日（火）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 学校の教育目標を具現化するための取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 ベテラン教員研修講座（高等学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和7年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和6年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和6年度に受講を猶予されていた者で、令和7年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月5日（木）	これからの学校におけるベテラン教員の役割 これからの時代に求められる特別支援教育 （公開講義 No. 03）これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～ 校内研修の実践に向けて
第2日	1月28日（水）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 校内研修の取組についての実践発表

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修を行う。

※ 校内研修の内容や進め方については、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 ベテラン教員研修講座（特別支援学校）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和7年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和6年度までの中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和6年度に受講を猶予されていた者で、令和7年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月13日（金）	組織力の向上～若手・中堅教員との関わりを通して～ これからの特別支援学校に求められるベテラン教員の役割 校内研修の実践に向けて
第2日	9月26日（金）	カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 校内研修の充実に向けて

※ 校内研修等の内容や進め方については、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 ベテラン教員研修講座（養護教諭）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、県立高等学校、公立特別支援学校
職	養護教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和7年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和6年度までの中堅養護教諭〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和6年度に受講を猶予されていた者で、令和7年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月20日（金）	これからの学校におけるベテラン教員の役割 これからの時代に求められる特別支援教育 地域連携を生かした学校保健の推進～コーディネーターとしての養護教諭の役割～ 学校の教育目標を具現化するための取組についての実践発表
第2日	1月20日（火）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 ベテラン教員研修講座（栄養教諭）

1 目的

ベテラン教員として、校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、公立特別支援学校
職	栄養教諭
条件	① 以下のアとイをともに満たす者 ア 令和7年4月1日現在で45歳の者 イ 以下のいずれかの講座において受講認定を受けた者 ・平成28年度までの10年経験者研修講座 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座 ・令和6年度までの中堅栄養教諭〔後期〕資質向上研修講座 ② 令和6年度に受講を猶予されていた者で、令和7年4月1日現在で47歳以下の者

3 年間計画

区分	期日	研修内容
第1日	6月20日（金）	これからの学校におけるベテラン教員の役割 これからの時代に求められる特別支援教育 学校の教育目標を具現化するための取組
第2日	1月20日（火）	学校、教職員のリスクマネジメント・クライシスマネジメント カリキュラム・マネジメントにおけるベテラン教員の役割 専門性を生かしたチーム学校の一員としての役割とリーダーシップ

※ 受講者は、各所属校において、第1日以降に校内研修等を行う。

※ 校内研修等の内容や進め方については、年度初めに教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載するとともに、第1日に連絡する。

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

イ 専門研修
(7) 悉皆研修

悉皆研修	43
------	----

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和7年度 新任校長研修講座（小学校）

- 1 目的
学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、校長としての識見を高め、経営力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立小学校・義務教育学校
職	新任校長（令和6年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず校長経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】5月21日（水）、5月22日（木）
教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：5月21日（水） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「校長の役割とリーダーシップ」 義務教育課長
	10:50	講義「人権教育の視点に立った学校づくり」 総務課人権教育室長
	11:45	所長講話「管理からマネジメントへ（仮）」 教育研修センター所長
	12:15	昼食
	13:15	講義「経営者としての役割とマネジメント」 民間企業経営者（株）アブリシエイト社長 和田 幸哉
	14:25	演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 センター職員
	16:50	諸連絡

期日及び時間：5月22日（木） 8時35分～16時（受付開始8時20分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:35	演習「校内における特別支援教育の推進」 センター職員
	9:45	講義「コミュニティスクールを活用した学校づくりを目指して」 義務教育課主任指導主事
	10:35	実践発表・演習「コミュニティスクールを活用した学校づくりの実践」 小学校校長 センター職員
	11:45	演習「こどもに伴走できる職場を目指して」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	演習「学校組織活性化のための学校組織マネジメント」 センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 所属校の危機管理マニュアル
- (3) 就寝用着替え、洗面用具等
- (4) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 所属校の危機管理マニュアル
- (3) 就寝用着替え、洗面用具等
- (4) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和7年度 新任校長研修講座（高・特）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、校長としての識見を高め、経営力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校、公立特別支援学校
職	新任校長（令和6年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず校長経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】6月12日（木）、6月13日（金）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：6月12日（木） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	所長講話「これからの時代の管理職へ（仮）」 教育研修センター所長
	10:20	講義「人権教育の視点に立った学校づくり」 総務課人権教育室長
	11:20	【高等学校】 講義・演習「高等学校における特別支援教育推進と校長の役割」 センター職員
		【特別支援学校】 講義・演習「特別支援学校のセンター的機能と校長の役割」 センター職員
	12:10	昼食
	13:10	講義・演習「校長の役割とリーダーシップ」 センター職員
	14:40	演習・研究協議「学校における危機管理」 センター職員
	16:00	講義「新任校長に期待すること」 高校教育課長、特別支援教育課長
	16:50	諸連絡

期日及び時間：6月13日（金） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 コミュニティスクール実践校校長（高等学校、特別支援学校）
	10:00	講義・演習「学校経営における課題と対応」 高校教育課人事担当課長補佐、特別支援教育課人事・計画担当課長補佐
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「校長としての学校マネジメント（校内組織・人事・教員評価等）」 高等学校校長、特別支援学校校長
	15:30	リフレクション
	15:50	諸連絡

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 就寝用着替え、洗面用具等
- (3) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和7年度 新任教頭研修講座（小学校）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立小学校、市町村立義務教育学校前期課程
職	新任教頭（令和6年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】6月17日（火）、6月18日（水）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「給与事務と教頭の役割」 総務課給与担当課長補佐

期日及び時間：6月17日（火） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「教頭の役割と学校運営」 義務教育課長
	10:50	講義「人権教育の推進と教頭の役割」 総務課人権教育室指導主事
	11:45	所長講話「これからの時代の管理職へ（仮）」 教育研修センター所長
	12:15	昼食
	13:15	講義・実践発表「教員評価における教頭の役割」 教育改革課人事制度改革担当課長補佐、教頭
	14:30	講義・演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 義務教育課人事担当管理主事
	16:50	諸連絡

期日及び時間：6月18日（水） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	演習「教育の情報化の現状と学校の情報セキュリティにおける管理職の役割」 センター職員
	9:40	演習「特別支援教育における管理職の役割」 センター職員
	10:35	講義・実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 生涯学習課課長補佐、教頭
	11:35	昼食
	12:35	演習「教職員のメンタルヘルスケアと管理職の役割」 センター職員
	13:20	演習「組織活性化のための学校組織マネジメント」 センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて ～教員評価の手引き（改訂版）～
令和5年4月茨城県教育委員会
- (3) 所属校の危機管理マニュアル
- (4) 学校における原子力災害対応の手引き 平成31年1月 茨城県教育委員会
- (5) 就寝用着替え、洗面用具等
- (6) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和7年度 新任教頭研修講座（中学校）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立中学校、市町村立義務教育学校後期課程、県立中等教育学校前期課程
職	新任教頭（令和6年度途中昇任者を含む）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】6月3日（火）、6月4日（水）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：第1日の前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「給与事務と教頭の役割」 総務課給与担当課長補佐

期日及び時間：6月3日（火） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「教頭の役割と学校運営」 義務教育課長
	10:50	講義「人権教育の推進と教頭の役割」 総務課人権教育室指導主事
	11:45	所長講話「これからの時代の管理職へ（仮）」 教育研修センター所長
	12:15	昼食
	13:15	講義・実践発表「教員評価における教頭の役割」 教育改革課人事制度改革担当課長補佐、教頭
	14:30	講義・演習「学校におけるコンプライアンスの確立と危機管理」 義務教育課人事担当管理主事
	16:50	諸連絡

期日及び時間：6月4日（水） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	演習「教育の情報化の現状と学校の情報セキュリティにおける管理職の役割」 センター職員
	9:40	演習「特別支援教育における管理職の役割」 センター職員
	10:35	講義・実践発表「地域とともにある学校づくりを目指して」 生涯学習課課長補佐、教頭
	11:35	昼食
	12:35	演習「教職員のメンタルヘルスケアと管理職の役割」 センター職員
	13:20	演習「組織活性化のための学校組織マネジメント」 センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて ～教員評価の手引き（改訂版）～
令和5年4月茨城県教育委員会
- (3) 所属校の危機管理マニュアル
- (4) 学校における原子力災害対応の手引き 平成31年1月 茨城県教育委員会
- (5) 就寝用着替え、洗面用具等
- (6) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和7年度 新任教頭研修講座（高・特）

1 目的

学校経営上の諸問題についての必要な研修を通し、教頭としての識見を高め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校後期課程、国公立特別支援学校
職	・新任教頭（令和6年度途中昇任者を含む） ・新任副校長（県立併設型中高一貫校、県立中等教育学校、県立高等学校で公募により選考された者） ・新任副校長（国立特別支援学校）
対象外	校種を問わず教頭経験者

3 期日及び会場

【宿泊研修（1泊2日）】4月24日（木）、4月25日（金）

教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：4月24日（木） 9時30分～17時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	演習「教頭の役割」 センター職員
	10:40	講義・演習「教職員の服務管理と教頭の実務」 高校教育課人事担当課長補佐
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「いじめ重大事態への対応と管理職の役割」 高校教育課生徒支援・いじめ対策推進担当課長補佐
	14:40	演習「教員評価」 センター職員
	16:30	講義「新任教頭に期待すること」 高校教育課長、特別支援教育課長
	16:50	諸連絡

期日及び時間：4月25日（金） 8時45分～16時（受付開始8時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:45	イントロダクション
	9:00	所長講話「これからの時代の管理職へ（仮）」 教育研修センター所長
	9:40	講義「人権教育の推進と教頭の役割」 総務課人権教育室指導主事
	10:40	講義・演習「特別支援教育の充実と教頭の役割」 センター特別支援教育課長 センター職員
	11:40	実践発表・研究協議「地域とともにある学校づくりを目指して」 教頭
	12:20	昼食
	13:20	講義・演習「学校の危機管理」 センター職員
	14:20	研究協議「学校の危機管理」 センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

(1) 人材育成・学校活性化支援システムの構築に向けて～教員評価の手引き（改訂版）～

令和5年4月 茨城県教育委員会

※ 教育情報ネットワークの「文書共有 → 06_教育改革課 → 教員評価」よりダウンロードする。

(2) 人権教育指導資料第46集

令和6年3月 茨城県教育委員会

(3) 所属校の危機管理マニュアル

(4) 学校における原子力災害対応の手引き

平成31年1月 茨城県教育委員会

(5) 就寝用着替え、洗面用具等

(6) 宿泊に伴う経費（別途連絡する）

令和7年度 新任主幹教諭研修講座

1 目的

主幹教諭の職務に必要な研修を通して、主幹教諭としての資質・能力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	新任主幹教諭
対象外	校種を問わず主幹教諭経験者
備考	新任教務主任研修講座を未受講の者は、該当校種の新任教務主任研修講座も受講対象となる。

3 期目及び会場

7月8日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：7月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「主幹教諭に求められる役割」 教育改革課人材育成担当職員
	10:50	講義・演習「主幹教諭としての人材育成」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・研究協議「主幹教諭としての実践」 主幹教諭（小学校、中学校）、センター職員
	14:10	研究協議「主幹教諭の学校におけるマネジメント」 センター職員
	15:45	リフレクション

※ 講義・演習「主幹教諭としての人材育成」は、新任指導教諭研修講座と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 各校のグランドデザイン 1部
(2) 年間行事計画 1部

令和7年度 新任指導教諭研修講座

1 目的

各学校の教育指導の改善及び充実のための実践的指導力についての必要な研修を通し、指導教諭としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	新任指導教諭
対象外	校種を問わず指導教諭経験者

3 期日及び会場

7月8日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：7月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「指導教諭に求められる役割」 教育改革課人材育成担当職員
	10:50	講義・演習「指導教諭としての人材育成」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・研究協議「指導教諭としての実践」 指導教諭、センター職員
	14:10	研究協議「地域教員の指導力向上を図る研修の工夫改善」 センター職員
	15:45	リフレクション

※ 講義・演習「指導教諭としての人材育成」は、新任主幹教諭研修講座と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 各校のグランドデザイン 1部
- (2) 各校の校内研修計画 1部
- (3) 他校の研修等における指導助言、参加協力、指導普及等に係る資料があれば持参

令和7年度 新任教務主任研修講座（高・特）

1 目的

教務主任の職務に必要な研修を行い、教務主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校後期課程、国公立特別支援学校
職	新任教務主任、新任主幹教諭（本講座を未受講の者）
対象外	校種を問わず教務主任経験者

3 期日及び会場

5月16日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：5月16日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	【高等学校】 講義・演習「これからの教務主任に求められる役割」 センター職員
		【特別支援学校】 講義・演習「これからの教務主任に求められる役割」 センター職員
	10:50	【高等学校】 講義・演習「教育課程の編成とカリキュラム・マネジメント」 国立大学法人茨城大学教授
		【特別支援学校】 講義・演習「教育課程の編成とカリキュラム・マネジメント」 国立大学法人茨城大学教授
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「人権教育の充実を目指した教育計画のポイント」 総務課人権教育室指導主事
	14:10	【高等学校】 実践発表・研究協議「円滑な学校運営に向けた教務主任としての取組」 高等学校教諭、センター職員
		【特別支援学校】 実践発表・研究協議「円滑な学校運営に向けた教務主任としての取組」 特別支援学校教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 人権教育指導資料第46集 令和6年3月 茨城県教育委員会
- (2) 自校の人権教育全体計画及び推進計画

令和7年度 新任学年主任研修講座（小学校）

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校
職	2学級以上で編成された学年の新任学年主任
条件	・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者
備考	対象者が3人以上で校務に支障がある場合は、担当課と相談する。

3 期日及び会場

6月10日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学年主任の役割」

期日及び時間：6月10日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員
	11:20	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員
	12:20	昼食
	13:20	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校のグランドデザイン 1部
- (2) 学年経営案 1部
- (3) 年間行事予定表 1部

令和7年度 新任学年主任研修講座（中学校）

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	2学級以上で編成された学年の新任学年主任
条件	・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者

3 期日及び会場

5月22日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「学年主任の役割」

期日及び時間：5月22日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員
	11:20	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員
	12:20	昼食
	13:20	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 学校のグランドデザイン 1部
- (2) 学年経営案 1部
- (3) 年間行事予定表 1部

令和7年度 新任学年主任研修講座（高等学校）

1 目的

学年主任の職務に必要な研修を行い、学年主任としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	新任学年主任
条件	・校種を問わず本講座を未受講の者 ・2年目の学年主任で1年目に本講座を未受講の者

3 期日及び会場

5月13日（火） 茨城県教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：5月13日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義「学年主任として求められるマネジメントの在り方」 センター職員
	10:50	講義・演習「学年のマネジメントにおける生徒支援」 高校教育課生徒支援・いじめ対策推進課長補佐
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「学年のマネジメントの実際」 教諭、センター職員
	14:10	研究協議「学年のマネジメント上の課題解決を目指して」 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新任生徒指導主事研修講座

1 目的

生徒指導主事の職務に必要な研修を行い、生徒指導主事としての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	新任生徒指導主事
条件	校種を問わず本講座を未受講の者（私立は希望者のみ）

3 期日及び会場

A班（中）：6月5日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
B班（小・高・特）：6月13日（金） 同上

4 日程

期日：講座前日まで

区分	研修内容・講師等
事前学習	「生徒指導提要」（文部科学省、令和4年12月）の「第1章 生徒指導の基礎」を読んでおく。

期日及び時間：【A班】6月5日（木）【B班】6月13日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習・実践発表「生徒指導主事の役割」 教諭、センター職員
	11:45	協議「生徒指導主事の役割」
	12:15	昼食
	13:15	講義・演習「本県児童生徒の問題行動・不登校等の現状と課題」 【A班、B班】義務教育課生徒支援・いじめ対策推進室長補佐 【B班】 高校教育課生徒支援・いじめ対策推進担当課長補佐 特別支援教育課指導主事
	14:15	演習「問題行動等への組織的な支援」 センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新任進路指導主事研修講座（中学校）

1 目的

キャリア教育としての進路指導の在り方について研修を行い、進路指導主事としての職務に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校
職	新任進路指導主事
対象外	校種を問わず進路指導主事経験者

3 期日及び会場

6月3日（火） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「進路指導主事の役割」

期日及び時間：6月3日（火） 9時30分～12時30分（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:50	実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の実践」 教諭、センター職員
	11:20	演習「キャリア教育としての進路指導の実践～キャリア・カウンセリングの今日的意義～」 センター職員
	12:15	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新任進路指導主事研修講座（高・特）

1 目的

キャリア教育としての進路指導の在り方について研修を行い、進路指導主事としての職務に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、国公立特別支援学校、私立高等学校（私立は希望者のみ）
職	新任進路指導主事
対象外	校種を問わず進路指導主事経験者

3 期日及び会場

5月21日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：5月21日（水） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	13:00	イントロダクション
	13:10	【高等学校】 講義・演習「キャリア教育としての進路指導の在り方」 センター職員
		【特別支援学校】 講義・演習「キャリア教育としての進路指導の在り方～系統性のある全体計画の意義を中心に～」 センター職員
	14:30	【高等学校】 実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の実践」 県立高等学校教諭、センター職員
		【特別支援学校】 実践発表・研究協議「キャリア教育としての進路指導の実践」 県立特別支援学校教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 新任保健主事研修講座

1 目的

学校保健活動や学校安全の管理について理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	新任保健主事
対象外	校種を問わず保健主事経験者

3 期日及び会場

5月30日（金） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

4 日程

期日及び時間：5月30日（金） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	13:00	イントロダクション
	13:10	講義・研究協議「学校保健・学校安全に関する県の方針と保健主事の役割」 保健体育課健康教育推進室学校保健・安全担当指導主事
	13:50	実践発表「保健主事としての取組」 教諭、センター職員
	15:20	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

研究協議のための資料

令和7年度 新任特別支援学校部主事研修講座

1 目的

特別支援学校の部主事としての役割や任務、学部の運営に関する研修を行い、新任部主事の資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立特別支援学校
職	新任部主事

3 期日及び会場

5月27日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：5月27日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「本県の特別支援教育の現状と部主事に望むこと」 特別支援教育課人事・計画担当課長補佐
	10:45	講義・演習「部経営と教育法規」 特別支援教育課管理主事
	11:45	昼食
	12:45	実践発表・研究協議「部運営の実際」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 教育小六法（最新版）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版）

令和7年度 新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座

1 目的

特別支援学級及び通級指導教室等の指導に必要な基礎的・基本的指導事項及び指導方法について実践的研修を行い、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
条件	特別支援学級、通級指導教室を新たに担当する者
対象外	・令和6年度までに本講座において受講認定を受けた者 ・他県の準ずる講座において受講認定を受けた者

3 期日及び会場

班	担当	校種・地区	第1日	第2日
A班	特別支援学級担当者	中（全地区）	5月13日（火） オンライン研修	10月1日（水） 教育研修センター
B班	通級指導教室担当者	小・中・高（全地区）	5月20日（火） オンライン研修	10月16日（木） 教育研修センター
	言語障害特別支援学級担当者	小・中（全地区）		
	特別支援学級担当者	小（水戸・県北・鹿行）		
C班	特別支援学級担当者	小（県南・県西）	5月29日（木） オンライン研修	10月30日（木） 教育研修センター

※ オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：原則第1日受講までに視聴する。（受講後確認のため、6月27日（金）まで研修講座資料室に掲載する。）

区分	研修内容・講師等
事前	講義「特別支援学級・通級指導教室の教育課程」
又は	講義「個別の指導計画・個別の教育支援計画」
事後	講義「個別の指導計画の作成」
視聴	講義「自立活動とは」

※ 動画を視聴する際には、研修センターWebページ「研修講座資料室」から視聴をする。

※ 「特別支援学級スタート応援ブック 学級経営編・授業づくり編」を研修センターWebページからダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

期日及び時間：【A班】5月13日（火）【B班】5月20日（火）【C班】5月29日（木）
9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「障害のある児童生徒の理解と支援」 学識経験者
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・演習「特別支援学級・通級指導教室の自立活動の指導の基本～プロセスシートの作成を通して～」（分散会） 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：【A班】10月1日（水）【B班】10月16日（木）【C班】10月30日（木）
9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「特別支援学級・通級指導教室におけるアセスメントと保護者との連携」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「特別支援学級・通級指導教室の学級経営と授業の実際」（分散会） 教諭、センター職員
	13:30	研究協議「教育的効果のある教材の紹介」（分散会） センター職員
	【B班（言語障害特別支援学級担当者）】	
	14:00	講義・実習「構音指導の実際～構音のしくみの理解を通して～」 言語聴覚士、教諭、センター職員
	15:50	リフレクション
	【A・B・C班（特別支援学級担当者）】【B班（通級指導教室担当者）】	
	14:20	研究協議「特別支援学級・通級指導教室の学級経営と授業の実際」 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

担当：特別支援教育課
直通：0296-78-4437

令和7年度 新任特別支援教育コーディネーター研修講座

1 目的

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における特別支援教育コーディネーターとしての基礎的な知識を身に付け、実践力の向上を図る。

2 対象 (条件等)

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	教頭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）
条件	・今年度新たに特別支援教育コーディネーターに指名された者 ・校種を問わず本講座を未受講の者

3 期日及び会場

6月24日（火） 教育研修センター 〒309-1722 等間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	講義「特別支援教育コーディネーターの役割」

期日及び時間：6月24日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「支援体制と連携の在り方」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「特別支援教育コーディネーターとしての取組」 教諭、センター職員 ※ 小・中・高・特から2校種を申込時に選択する。
	14:10	研究協議「特別支援教育コーディネーターとしての取組」(分散会) 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 市町村立学校新任主任研修講座

1 目的

主任として児童生徒の教育活動に貢献するため、必要な知識・技能の習得を図る研修を行い、職務能率の一層の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	・令和6年10月1日から令和7年4月1日付けで主任に昇任した者 ・令和6年度中堅事務職員研修講座の未受講の者

3 期日及び会場

第1日 5月29日（木） 茨城県教育研修センター 〒309-1722 茨城県笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日 10月9日（木） 同上

4 日程

期日及び時間：5月29日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「給与事務－応用編－」 総務課給与担当
	11:10	講義・演習「特別支援教育の現状と課題－実践編－」 教育庁特別支援教育課指導担当
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「中堅事務職員としてのリスクマネジメント」（コンプライアンス確保の実践含む） 市町村立学校事務職員
	13:50	講義・演習「生徒指導の現状－実践編－」 義務教育課生徒支援・いじめ対策推進室担当
	14:30	講義・演習「本県教育行政の現状と課題」 義務教育課管理主事
	15:00	研究協議「中堅事務職員としてのリスクマネジメントを考える」 義務教育課管理主事、センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：10月9日（木） 9時30分～16時

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	実践発表「中堅事務職員としての財務マネジメント」（学校徴収金含む） 市町村立学校事務職員
	10:30	実践発表「中堅事務職員としての学校組織マネジメント」 市町村立学校事務職員
	11:20	研究協議「中堅事務職員としての財務マネジメント・学校組織マネジメントを考える」 義務教育課管理主事、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「法規に基づく業務の在り方」 大学教授
	14:30	研究協議「中堅事務職員としての役割とは」 義務教育課管理主事、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 給与事務の手引（令和6年7月）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版が望ましい）
- (3) 教育小六法（最新版が望ましい）
- (4) 所属校の学校グランドデザイン
- (5) 共同実施活動計画
- (6) 電卓

令和7年度 市町村立学校新任係長研修講座

1 目的

係長として、学校経営・学校運営に積極的に関わり、係長として必要な知識・技能の習得を図り、職務能率の向上に資する。

2 対象 (条件等)

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	令和7年4月1日付けで係長に昇任した者

3 期日及び会場

第1日 6月5日(木) 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410 (電話: 0296-78-2121)

第2日 10月15日(水) 同上

4 日程

期日及び時間：6月5日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「本県教育行政」 総務課総務担当
	10:20	講義・演習「給与事務一応用編一」 総務課給与担当
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「事務職員のコーチングとは」 義務教育課管理主事、センター職員
	14:20	研究協議「学校経営・学校運営に積極的に関わる係長としての勤務とは」 義務教育課管理主事、センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：10月15日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「学校組織マネジメントを考える」 大学教授
	11:10	実践発表「学校組織マネジメントにおける課題解決・業務改善の実践」 市町村立学校事務職員
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「ミドルリーダーとしての実践～財務マネジメント・学校事務の共同実施～」 市町村立学校事務職員
	14:00	研究協議「財務マネジメント、学校事務の共同実施のミドルリーダーとしての役割」 センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 給与事務の手引（令和6年7月）
- (2) 茨城県教育例規集（最新版が望ましい）
- (3) 教育小六法（最新版が望ましい）
- (4) 所属校の学校グランドデザイン
- (5) 共同実施活動計画
- (6) 電卓

令和7年度 市町村立学校新任学校主査研修講座

1 目的

学校主査として、知見や技術を生かし、学校内外の幅広い視点からリーダーシップを発揮して、地域と連携を図り児童生徒の教育活動に貢献できるよう事務職員としての自覚と心構えを養い、事務職員全体の資質向上に資する。

2 対象 (条件等)

校種	市町村立学校
職	県費負担事務職員
条件	・令和7年4月1日付けで学校主査に昇任した者 ・令和6年度ベテラン市町村立学校事務職員研修講座の未受講の者

3 期日及び会場

10月2日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：10月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「地域とともにある学校づくりのマネジメントとは」 文部科学省または国立教育政策研究所 ※オンライン
	11:10	実践発表「学校事務の共同実施組織の実践を生かした学校運営参画」 市町村立学校事務職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「学校主査の職務とは」 義務教育課管理主事、センター職員
	14:10	研究協議「地域・学校・学校事務の共同実施組織のリーダーの果たす役割」 義務教育課管理主事、センター職員
	15:50	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

- (1) 令和7年度学校教育指導方針
- (2) 所属校の学校グランドデザイン
- (3) 共同実施活動計画

令和7年度 臨時的任用職員研修講座（高等学校）

- 1 目的
服務及び校務運営等について必要な研修を行い、臨時的任用職員としての識見を高め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	以下の臨時的任用職員及び任期付職員 ・講師、養護助教諭、栄養講師、実習助手、寄宿舎指導員
対象外	・教諭経験者、養護教諭経験者、栄養教諭経験者、非常勤講師 ・過去に本講座を受講した者

3 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (4月当初の採用者)	4月10日（木）～4月17日（木） オンデマンド配信型研修	5月9日（金） 教育研修センター
B班 (5月以降の採用者) (A班で未受講の者)	10月7日（火）～10月14日（火） オンデマンド配信型研修	11月7日（金） 教育研修センター

※ オンデマンド配信型研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

※ 養護助教諭、栄養講師は、A班・B班ともに、第2日午後の研修は講座番号68の臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）と合同開催とする。

4 日程

【オンデマンド配信型研修】

期日：【A班】4月10日（木）～4月17日（木）【B班】10月7日（火）～10月14日（火）

期間内に動画を視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
第1日	講義「特別支援教育の現状」 センター職員

【講師・養護助教諭・栄養講師・実習助手・寄宿舎指導員】

期日及び時間：【A班】5月9日（金）【B班】11月7日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日 午前	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「教職員としての心構えと服務」 高校教育課管理主事
	10:30	講義・演習「学校事故の防止と対応」 センター職員
	11:30	講義・演習「成長・発達を支える教員の関わり」 センター職員
	12:30	昼食

区分	時間	研修内容・講師等
第2日 午後	【講師・実習助手・寄宿舎指導員】	
	13:30	【講師】 講義・研究協議「学習指導要領をふまえた授業づくり」 センター職員
		【実習助手・寄宿舎指導員】 講義・研究協議「実習助手・寄宿舎指導員の職務」 センター職員
	14:30	演習・研究協議「授業づくりの工夫改善」 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション
	【養護助教諭】	
	13:30	講義・研究協議「養護教諭の任務と役割」 センター職員
	14:30	実践発表・研究協議「健康教育の実際」 養護教諭、センター職員
	15:50	リフレクション
	【栄養講師】	
	13:30	講義・研究協議「栄養教諭の任務と役割」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、センター職員
	14:30	実践発表・研究協議「食に関する指導の実際」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、栄養教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

※ 養護助教諭・栄養講師は、臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWeb ページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 臨時的任用職員研修講座（特別支援学校）

1 目的

服務及び校務運営等について必要な研修を行い、臨時的任用職員としての識見を高め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立特別支援学校
職	以下の臨時的任用職員及び任期付職員 ・講師、養護助教諭、栄養講師、実習助手、寄宿舎指導員
対象外	・教諭経験者、養護教諭経験者、栄養教諭経験者、非常勤講師 ・過去に本講座を受講した者

3 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (4月当初の採用者)	4月10日(木)～4月17日(木) オンデマンド配信型研修	5月9日(金) 教育研修センター
B班 (5月以降の採用者) (A班で未受講の者)	10月7日(火)～10月14日(火) オンデマンド配信型研修	11月7日(金) 教育研修センター

※ オンデマンド配信型研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

※ 養護助教諭、栄養講師は、A班・B班ともに、第2日午後の研修は講座番号67の臨時的任用職員研修講座（高等学校）と合同開催とする。

4 日程

【オンデマンド配信型研修】

期日：【A班】4月10日(木)～4月17日(木) 【B班】10月7日(火)～10月14日(火)

期間内に動画を視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
第1日	講義「特別支援教育の現状」 センター職員

【講師・養護助教諭・栄養講師・実習助手・寄宿舎指導員】

期日及び時間：【A班】5月9日(金) 【B班】11月7日(金) 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日 午前	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「教職員としての心構えと服務」 教育庁特別支援教育課管理主事
	10:20	講義・演習「障害のある子どもの理解と対応」 センター職員
	11:30	講義・演習「生徒支援と教育相談的対応」 センター職員
	12:30	昼食

区分	時間	研修内容・講師等
第2日 午後		【講師・実習助手・寄宿舎指導員】
	13:30	講義・演習「特別支援学校におけるチーム学校としての取組」 センター職員
	14:45	講義・演習「特別支援学校における授業づくり」 センター職員
	15:50	リフレクション
		【養護助教諭】
	13:30	講義・研究協議「養護教諭の任務と役割」 センター職員
	14:30	実践発表・研究協議「健康教育の実際」 養護教諭、センター職員
	15:50	リフレクション
		【栄養講師】
	13:30	講義・研究協議「栄養教諭の任務と役割」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、センター職員
	14:30	実践発表・研究協議「食に関する指導の実際」 保健体育課健康教育推進室学校給食担当指導主事、栄養教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

※ 養護助教諭・栄養講師は、臨時的任用職員研修講座（高等学校）と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(イ) 推薦研修

a 概要

教職教育課の推薦研修講座

講座 番号	対象・定員・実施日	内容・講師等
69	教職員マネジメント研修講座（前期）	
第1日 5月9日（金）	第2日 8月6日（水） 第3日 9月10日（水） 第4日 12月5日（金）	人材育成に関する研修を通して、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図ることを目的とします。主に「人権教育」や「カリキュラム・マネジメント」「コーチング」「特別支援教育」「コミュニティー・スクール」等について学びます。事例検討やグループ協議等の演習を多く取り入れて「自ら問いを創造する」研修を進め、講義ごとに「私の思う〇〇」として、プレゼン資料を作成します。担当となる教育事務所の管理主事より講評を行い、教育の未来を創造した学校の在り方について考えを深めていきます。今後学校運営において、指導的役割を担う意欲のある方の推薦をお願いします。
		講義・演習「教育の未来と新しい学校の在り方」 県立水海道第一高等学校 校長 福田 崇
		講義・演習「学校教育に生かすコーチング」 株式会社イキイキ 代表取締役社長 栄木 憲太郎
		講義・演習「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」 早稲田大学 教授 藤井 千春
70	教職員マネジメント研修講座（後期）	
第1日 5月15日（木）	第2日 7月4日（金） 第3日 8月*日（*） （各教育事務所で実施） 第4日 11月21日（金） 第5日 1月29日（木）	学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図ることを目的とします。前期では主に「学校組織マネジメント」や「カリキュラム・マネジメント」「特別支援教育」「コミュニティー・スクール」等について学びました。後期では、「教職員のメンタルヘルス」「コーチング」「学校事故防止」等、主に人材育成について学びます。また、第2日には、各教育事務所で学校教育に求められる管理職について学びます。事例検討やグループ協議等の演習を多く取り入れて、第5日には、「私の思う『未来を生きるこどものための学校教育』の在り方」について、各自研究発表を行います。
		講義・演習「学校教育に生かすコーチング」 株式会社イキイキ 代表取締役社長 栄木 憲太郎
		講義・演習「豊かな人間性を育むために」ーリーダーに求められる資質・能力ー
		鹿島アントラーズFC代表取締役社長兼株式会社メルカリ取締役会長 小泉 文明

情報教育課の推薦研修講座

71	情報科教育研修講座	
I期：9月10日（水） II期：9月24日（水）	高等学校において「情報Ⅰ」が必修科目となり、大学入学共通テストにも導入された中で、その指導力向上の必要性が増しています。本講座は、「情報Ⅰ」担当教員を対象として、「情報Ⅰ」の学習指導に関する理論と実際に学び、情報科目指導の重点化を図るとともに、教員の実践発表による授業実践事例の提供、研究協議により、実践的な授業力の向上を図ります。受講時に「情報Ⅰ」またはその代替科目担当の教員をご推薦ください。 講義・演習「情報科における学習指導の在り方」 特定非営利法人みんなのコード 未来の学び探究部 講師・研究開発担当 永野 直	
72	産業教育（農業）研修講座	
9月12日（金）	教科農業では、農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、農業や農業関連産業を通じ、地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目標に日々の教育活動が行われています。本講座では、茨城大学農学部で行われている最先端の研究とその背景に関する講義、および研究の現場を体験することで、地域に根ざした農業研究の実践について学ぶことができます。これからの農業教育を牽引していただける方をご推薦ください。 講義・実習「地域に根ざした農業研究」 （所外研修） 茨城大学 農学部 担当職員	

73	産業教育（工業）研修講座	
	8月21日（木）	工業科専門高等学校でものづくりに関する専門性を高め、指導に関する知識・技能を習得することを目的に、ものづくりマイスター等による実践的研修を行います。今年度は建築分野における高度な資格・検定の指導に対応するためのポイントを専門人材から学びます。各学校で建築分野の授業・実習を担当している方をご推薦ください。 講義・実習「建築大工の指導法」（技能検定2級対応） （所外研修） 学識経験者
74	産業教育（商業）研修講座	
	7月9日（水）	県立高等学校商業に関する学科及び総合学科に所属する者、または、商業に関する科目を担当する者に対し、授業力向上を目指して実施します。学識経験者による講義・演習、教員の実践発表による授業実践事例の提供、研究協議により、実践的な授業力の向上を図ります。今年度は、マネジメント分野に関する内容を取り扱いますので、基礎的科目及び、マネジメント分野の授業を担当している方、又は基礎的科目及び、マネジメント分野の専門的な指導法の向上に興味のある方をご推薦ください。 講義・演習「商業における学習指導の在り方～マネジメント分野における金融教育～」 株式会社 常陽銀行 営業企画部 主任調査役 鈴木 里美

教育相談課の推薦研修講座

75	いじめ対応研修講座	
	A班（県南） 10月29日（水） B班（県西） 11月5日（水）	本講座は、茨城県いじめ防止基本方針に則り、県内の全教職員がいじめ問題について理解を深め、いじめ対応についての資質・能力を向上させることを目的としています。令和7年度は、A班（県南）、B班（県西）のすべての公立小・中学校、高等学校及び特別支援学校が対象です（私立は希望校のみ）。校内研修を企画したり、研修した内容を実践し、校内で広めたりしていただくことのできる方（令和5・6年度に本講座を受講した方を除く、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭）をご推薦ください。 講義・演習「いじめの現状と課題」 筑波大学 教授 土井 隆義

特別支援教育課の推薦研修講座

76	特別支援学校寄宿舎指導員研修講座	
	7月28日（月）	特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の理解と生活指導に関する研修を行い、寄宿舎指導員としての資質・能力の向上を図ります。講義において、特別支援教育と寄宿舎教育の最新の動向を知り、研究協議を通して、寄宿舎指導の課題について考えていきます。 講義・演習「寄宿舎生活における児童生徒の理解」 北海道教育大学 教授 小野川 文子

b 実施要項

推薦研修	69
------	----

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和7年度 教職員マネジメント研修講座（前期）

1 目的

学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修をとおり、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中・義務教育学校
職	教諭（主幹教諭と指導教諭は除く）、養護教諭、栄養教諭
条件	以下の条件を全て満たす者 ・教育事務所長が推薦する者 ・校務分掌等における役職経験の有無にかかわらず、今後の学校運営において指導的な役割を担う意欲のある者 ・概ね教職経験5年以上の者（他県や私立等での経験を含む） ・30歳以上40歳以下の者（令和7年3月31日現在） ・2年間にわたり全日程の受講が可能な者

3 年間計画

【1年目（令和7年度）】

区分	期日	研修内容
第1日	5月9日（金）	開講式 義務教育課長講話 教育の未来と新しい学校の在り方
第2日	8月6日（水）	人権教育の推進 学校教育に生かすコーチング
第3日	9月10日（水）	特別支援教育の推進 いじめ、「不登校」等生徒支援上の諸問題
第4日	12月5日（金）	学校と地域社会の連携 カリキュラム・マネジメント

【2年目（令和8年度）】

※ 2年目の詳細は、令和8年度事業概要に「教職員マネジメント研修講座（後期）」として掲載する。

区分	期日	研修内容
第5日	令和8年5月*日（*）	教職員のメンタルヘルスと働き方改革の推進 学校におけるコンプライアンスの確立と学校事故の未然防止
第6日	7月*日（*） 【各教育事務所研修】	教育事務所管内の学校教育の現状と課題 長期研修（内地留学）、中央研修、教職大学院等における学び 主幹教諭・指導教諭の業務 これからの学校教育に求められる管理職像
第7日	8月*日（*）	学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメントとはー 学校組織マネジメント(2)ー組織経営面のマネジメントー 学校組織マネジメント(3)ー業務遂行面のマネジメントー ※ 学校組織マネジメント（基礎）研修講座と合同開催とする。
第8日	11月*日（*）	教育法規の基本理解 リーダーに求められる資質・能力
第9日	令和9年1月*日（*）	研究発表「『未来を生きるこどものための学校教育』の在り方」 修了式（教育研修センター所長講話）

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 教職員マネジメント研修講座（後期）

1 目的

学校教育における組織マネジメント及び人材育成に関する研修をとおり、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中・義務教育学校
職	教諭（主幹教諭と指導教諭は除く）、養護教諭、栄養教諭
条件	教職員マネジメント研修講座（前期）を修了した者

3 年間計画

【2年目（令和7年度）】

区分	期日	研修内容
第1日	5月15日（木）	教職員のメンタルヘルスと働き方改革の推進 学校におけるコンプライアンスの確立と学校事故の未然防止
第2日	7月4日（金）	人権教育の推進 学校教育に生かすコーチング
第3日	8月＊日（＊） 【各教育事務所研修】	教育事務所管内の学校教育の現状と課題 長期研修（内地留学）、中央研修、教職大学院等における学び 主幹教諭・指導教諭の業務 これからの学校教育に求められる管理職像
第4日	11月21日（金）	教育法規の基本理解 リーダーに求められる資質・能力
第5日	令和8年1月29日（木）	研究発表「『未来を生きることのための学校教育』の在り方」 修了式（教育研修センター所長講話）

4 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 情報科教育研修講座

1 目的

情報科教育について専門的かつ実践的な知識・技能を身に付けることにより、指導力向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校、県立中等教育学校（後期課程）
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	情報科を担当する者（代替している場合はその担当）で校長が推薦する者
対象外	本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、情報）を受講する者

3 期日及び会場

I 期：9月10日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

II 期：9月24日（水） 同上

4 日程

期日及び時間：【I 期】9月10日（水）【II 期】9月24日（水）9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「情報科における学習指導の在り方」 学識経験者
	12:15	昼食
	13:15	実践発表・研究協議「情報科における学習指導の工夫と改善」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

※ I 期は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、情報）第4日と合同開催とする。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード

令和7年度 産業教育（農業）研修講座

1 目的

産業教育（農業）に関する専門的研修を通して、専門教育の今後の在り方と指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	農業に関する科目を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

9月12日（金） 茨城大学農学部 〒300-0393 稲敷郡阿見町中央3-21-1（電話：029-887-1261）

4 日程

期日及び時間：9月12日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・実習「地域に根ざした農業研究」 関連施設担当職員、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習（午前に同じ）
	15:45	リフレクション

※ 現地集合、現地解散。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 産業教育（工業）研修講座

1 目的

産業教育（工業）に関する専門的研修を通して、専門教育の今後の在り方と指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	工業に関する科目（建築系学科）を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

8月21日（木） 県立水戸工業高等学校 〒310-0836 水戸市元吉田町1101（電話：029-247-5711）

4 日程

期日及び時間：8月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・実習「建築大工の指導法」（技能検定2級対応） 学識経験者、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習（午前と同じ）
	15:45	リフレクション

※ 現地集合、現地解散。

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 産業教育（商業）研修講座

1 目的

産業教育（商業）に関する基礎科目の専門的研修を通して、専門教育の指導法への理解を深めるとともに、実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く）
条件	商業に関する学科及び総合学科に所属する者、または、商業に関する科目を担当する者で校長が推薦する者

3 期日及び会場

7月9日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：7月9日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「商業における学習指導の在り方～マネジメント分野における金融教育～」 関連施設担当職員
	12:15	昼食
	13:15	実践発表・研究協議「商業における指導の工夫に向けて」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 いじめ対応研修講座

1 目的

いじめの現状や、未然防止・早期発見を含めた組織的な対応について理解を深め、いじめ対応についての資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中・義務教育学校、県立高等学校・中等教育学校、公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
地区	県南、県西
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭
条件	校長が推薦する者（私立は希望校のみ）
対象外	令和5年度又は令和6年度に本講座を受講した者

3 期日及び会場

A班（県南）：10月29日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
B班（県西）：11月5日（水） 同上

4 日程

期日及び時間：【A班】10月29日（水）【B班】11月5日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「いじめへの組織的な対応」 教育事務所指導主事、センター職員
	10:30	講義・演習「いじめの現状と課題」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	研究協議・演習「いじめへの組織的な対応」 教育事務所指導主事、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

6 携行品

学校いじめ防止基本方針 5部

令和7年度 特別支援学校寄宿舎指導員研修講座

1 目的

特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の理解と生活指導に関する研修をとおり、寄宿舎指導員としての資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立特別支援学校
職	寄宿舎指導員、講師（非常勤除く）
条件	校長が推薦する者（今年度新規に任用された者は、必ず推薦する）

3 期日及び会場

7月28日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

4 日程

期日及び時間：7月28日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「寄宿舎生活における児童生徒の理解」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「寄宿舎指導員としての実践」 寄宿舎指導員、センター職員
	14:00	研究協議・演習「寄宿舎における課題解決に向けた今後の実践」 寄宿舎指導員、センター職員
	15:45	リフレクション

5 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(ウ) 希望研修

a 概要

教職教育課の希望研修講座

講座 番号	対象・定員・実施日	内容・講師等
77	高等学校等マネジメント研修講座	
	高 30人程度 全8日 6月25日(水) 6月26日(木) 7月10日(木) 9月10日(水) 10月1日(水) 10月2日(木) 11月6日(木) 12月18日(木)	学校教育に関する法規、組織マネジメント及び人材育成に関する研修を通して、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上に資することを目的とします。8回にわたる本研修と学校での実践経験を通して、教育活動を多角的に問題意識を持って考察し、第8日に「私がつくりたい未来の学校」と題し、受講者がつくりたい未来の学校についてのビジョンを発表していただきます。 講義「生徒を主語にした学校をつくる」 独立行政法人教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己 講義・演習「学校ビジョンの構築」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学 教授 浅野 良一 講義・演習「新しい学びの推進」 学校法人桐蔭学園 理事長 溝上 慎一
78	学校組織マネジメント(基礎) 研修講座	※令和7年度は実施しない。学校組織マネジメント(発展)研修講座の隔年実施とする。
79	学校組織マネジメント(発展) 研修講座	
	小中高特 50人 8月18日(月)	学校ビジョンの役割と構成要素(めざす姿、力の入れどころ、行動規範等)について解説します。演習では、学校の戦略マップを各自作成し、意見交換しながらマネジメント力の向上を図ります。 講義・演習「学校組織マネジメント(1)(2)(3)」 兵庫教育大学名誉教授・環太平洋大学 教授 浅野 良一
80	帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座	
	小中高特 100人 8月19日(火)	日本語指導の在り方や今日の課題について、専門家による講義・演習を通して理解を深めます。また、実践発表・演習を通して、日本語指導の授業改善や教材作成に役立つ視点を養い、指導力の向上を図ります。 講義・演習「帰国・外国人児童生徒への日本語指導—ことばの力を知り、育てる教育へ—」 筑波大学 准教授 澤田 浩子
81	「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育研修講座	
	小中高特 80人 7月9日(水)	教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、授業力の向上につなげます。 講義「『自ら問い、考え、語る』これからの道徳教育」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 堀田 竜次
82	自治的能力を育む特別活動研修講座	
	小中高特 80人 7月30日(水)	文部科学省の教科調査官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生方の実践を共有し、協議を行うことで、自治的能力を育むために大切なことについて理解を深めます。 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 和久井 伸彦

教科教育課の希望研修講座

83	こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座	
	小特 60人 第1日 共通：8月19日(火) 第2日 I期：2月13日(金) II期：2月17日(火)	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について学び、国語科学習指導における授業力の向上を目指します。昨年度同様、事前提出課題の共有や演習等を通して、単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化の具体について探究し、確かな授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 大妻女子大学 教授 樺山 敏郎

84	生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン研修講座	
	中高特 30人 第1日 8月4日(月) 第2日 2月3日(火)	生徒が探究的に学ぶ授業デザインについての講義・研究協議・演習を通して自らの授業構想の課題を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図ります。第1日は、事前に構想した授業について指導と評価の一体化を意識して授業の構想を具体化します。第2日は、各校で実践した成果と課題を共有し、研究協議を通して授業改善へ向けた今後の課題を明確にしていきます。提出課題・実践があります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン」 文教大学 教授 藤森 裕治
85	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座(社会・地理歴史・公民)	
	小中高特 計56人 A班(小) 20人 B班(中) 24人 C班(高) 12人 第1日 A班: 9月5日(金) B班: 9月19日(金) C班: 9月16日(火) 第2日 全班: 2月13日(金)	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を目指します。第1日は地理的分野を中心に、国土地理院での所外研修を行います。第2日は各校での授業実践事例の提示や研究協議を通して、実践的な指導力の向上を図ります。 A班: 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大妻女子大学 教授 澤井 陽介 B班: 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 玉川大学 教授 樋口 雅夫 C班: 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大正大学 教授 中嶋 則夫 全班: 講義・研究協議「社会の成り立ちから学び、よりよい社会を創造する力を育成する社会・地理歴史・公民科教育の在り方」 早稲田大学 教授 藤井 千春
86	シティズンシップ教育研修講座	
	小中高特 45人 8月20日(水)	社会科、地理歴史・公民科を中心としたシティズンシップ教育を教科等横断的に実施していくための講義や実践発表、演習(模擬裁判等)、研究協議を通して、児童生徒の市民性を育成するために必要な資質と指導力の向上を目指します。 講義・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえたシティズンシップ教育」 筑波大学 教授 唐木 清志
87	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座(算数・数学)	
	小中高特 計64人 A班(小) 32人 B班(中) 16人 C班(高) 16人 第1日 A班: 9月11日(木) B班: 9月19日(金) C班: 9月16日(火) 第2日 A班: 2月17日(火) B班: 2月5日(木) C班: 2月12日(木)	講義・演習を通して、指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について理解を深めます。また、授業立案・実践・発表・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図ります。提出課題・実践があります。 A班: 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する算数科学習指導の在り方」 NPO法人エデュ・ネットワーク・ブラン 代表理事 齊藤 一弥 講義・研究協議「実生活の問題を解決する算数の学び」 明星大学 客員教授 細水 保宏 B班: 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方」 岩手大学 准教授 佐藤 寿仁 講義・研究協議「数学的な見方・考え方を軸とした授業改善の在り方」 文部科学省初等中等教育局 視学官 水谷 尚人 C班: 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方」 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小林 廉 講義・研究協議「数学科における探究的な学び」 東京学芸大学 教授 西村 圭一
88	「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学科授業力向上研修講座	
	小中高特 90人 8月20日(水)	算数・数学教育に関する講義及び実践発表と研究協議を通して、「データ」を活用・分析した授業づくりの視点について理解するとともに、授業力の向上を図ります。 講義「『データ』を活用・分析する力を育む授業改善」 大学教授等
89	小学校理科観察・実験研修講座	
	小特 48人 7月29日(火)	小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図ります。観察・実験・研究協議を行い、理科の楽しさを実感していきます。 観察・実験・研究協議「基礎から学ぶ理科の観察・実験」(4領域)

90	思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験研修講座	
	中高特 48人 8月19日（火）	観察・実験・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図ります。 観察・実験・研究協議「エネルギー領域・粒子領域・生命領域・地球領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」
91	音楽科授業づくり研修講座	
	小中高特 計65人 A班（小） 40人 B班（中・高）25人 A班：7月28日（月） B班：1月30日（金）	A班：午前は、打楽器を活用した授業づくりについて実践発表や簡単な実技研修を通して考えていきます。 午後は、児童の気付きを大切に授業づくりについて講師の講義等から学びます。 B班：午前は、複数の領域や分野を関連させた授業づくりについて実践発表や受講者同士の対話を通して考えていきます。午後は、音楽科における著作権について講師の講義等から学びます。 A班：講義・実技「“教える”から“子どもが学びを深める”授業づくりの工夫」 筑波大学 非常勤講師 平野 次郎 B班：講義・研究協議「音楽教育と著作権」 元東京学芸大こども未来研究所 教育支援フェロー 原口 直 (協力：出張講座JASRACラーニングスクエア)
92	我が国の伝統音楽研修講座	
	小中高特 計25人 箏コース 20人 三味線コース 5人 第1日 8月21日（木） 第2日 8月22日（金）	児童・生徒が我が国や郷土の伝統音楽に親しみ、よさを味わうことができる授業づくりについて考えていきます。実技研修では箏コース、三味線コースに分かれて基礎・基本を学びます。全コース共通の内容として、我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりについて、講師による講義、実践発表、受講者のグループでの授業プラン検討を通して学びます。※実技研修は、初心者及び初級者を対象とした内容です。 講義・鑑賞「和楽器を用いた表現」実技「箏の奏法」「三味線の奏法」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師 講義・研究協議「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの工夫」 玉川大学 教授 清水 宏美
93	図画工作・美術科授業づくり研修講座	
	小中高特 各班25人 第1日 共通：7月23日（水） 第2日 A班：8月19日（火） B班：8月21日（木）	第1日は、茨城県近代美術館での所外研修です。展覧会で対話型鑑賞の演習をしながら、美術館と連携した授業づくりについて学びます。第2日は、研修センターで作品づくりをしながら、表現と鑑賞を関連させた授業づくりについて考えていきます。 講義・研究協議「これからの社会を生きるこどもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育」 奈良教育大学 教授 竹内 晋平
94	ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座	
	小中高特 40人 7月3日（木）	昨年度と同様、体育・保健体育のエキスパートである細越淳二先生の講義をヒントに、学習指導要領の主旨をふまえ、受講者同士のアイデアを結集した授業づくりを通して、体育・保健体育の授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 国土館大学 教授 細越 淳二
95	みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり研修講座	
	中特 25人 8月21日（木）	昨年度と同様、技術・家庭科（技術分野）の現状と課題について、講義・演習などを通して学び、これからの未来を創る「Technology」の授業について考えていきます。 講義・研究協議「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 渡邊 茂一
96	できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座	
	小中特 30人 高特 15人 8月20日（水）	昨年度と同様、児童生徒の「できるがいっぱい！」を実現する、家庭科の授業づくりについて一緒に考えていきます。午後は校種別の部会で、実践発表や演習などを通して、授業力の向上を図ります。 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの家庭科の授業づくり」 茨城大学 教授 佐藤 裕紀子
97	英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座	
	小中特 80人 10月8日（水）	小・中学校の外国語活動・外国語（英語）科において、言語活動を通して児童生徒の英語発信力の向上を目指す、実践的指導力の向上を図ります。 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」 文部科学省初等中等教育局調査官 早川 優子

98	自ら問いを立て探究する英語科研修講座	
	中高特 20人 第1日 7月2日(水)	「研修観の転換」に基づいた、受講者を主語とした講座です。経験から生じる「問い」より自身の課題を設定し、集合型研修のよさを生かした対話や協働を取り入れながら、探究的に授業改善を進めます。第2日の前には、実践の共有に向けた課題提出があります。
	第2日 12月12日(金)	演習・研究協議「実践の振り返りと課題の設定」、「行動計画の立案」 研究協議「実践の共有と省察」
99	夏季自然体験活動研修講座	
	小中高特 24人 A班：7月31日(木)	自然博物館における動物・植物・地学分野の観察、体験、博物館の活用事例の紹介、授業における博物館の利用など自然体験活動の充実について研修します。
		実習・講義「博物館を利用した理科教育」 ミュージアムパーク茨城県自然博物館職員
100	未来を創るSTEAM教育研修講座	
	小中高特 80人 第1日 8月5日(火)	多様な課題が生じ変化の大きい現代社会で必要とされる資質・能力を育む教育として、教科等を横断した「STEAM教育」が注目されています。本講座では、茨城県内で行われている小学校・中学校・高等学校の学校の具体的な実践例を紹介するとともに、子どもたちの探究心と新たな価値を創造する授業づくりを目指します。文系・理系や校種の枠を超えて、共に新しい学びを創り出しましょう。
	第2日 11月25日(火)	講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 白鷗大学 准教授 小川 博士 講義・演習・研究協議「STEAM教育による創造的な学び」 東京学芸大学大学院 教授 大谷 忠
101	探究的な学びをデザインする研修講座～学校図書館、地域リソース等とともに～	
	小中高特 60人 第1日 7月30日(水)	探究的な学びの授業デザインを追究することを通して、持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成する指導力の向上を図ります。第1日はJICA筑波で講義・実践発表・研究協議を通して探究的な授業デザインを具体化し、第2日では各校で実践した成果と課題を共有し、次年度以降の糧とします。課題提出・実践があります。
	第2日 1月30日(金)	講義・研究協議「探究的な学びを支える学校図書館」 放送大学 客員教授 堀川 照代 講義・研究協議「探究的な学びにおける地域との連携」 東京都市大学大学院 教授 佐藤 真久

情報教育課の希望研修講座

102	体験する農業教育研修講座	
	小中高特 10人 10月2日(木)	茨城県農業の現状や概要を学ぶことは、地域の農業を知る機会となり、興味や関心を高めることにつながると考えています。今回はJANAめがたしおさいを舞台に、管内で栽培されている天皇杯受賞の「甘藷を軸とした魅力ある地域活性化の取組」の事例から、課題設定や問題解決のための戦略を学ぶことができます。また、収穫等の体験も予定しており、本講座で習得したことが、今後の探究的な学びの一助になればと期待しています。
		※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「茨城県農業の現状～甘藷の取組から学ぶ～」 JANA中央会 担当職員 JANAめがたしおさい 担当職員
103	体験する工業教育研修講座	
	小中高特 10人 10月2日(木)	工業とは、工業資源などの原材料を加工して付加価値を加えた製品を作る産業です。ひとつの製品を作るには最新の設備はもちろんのこと、効率的な生産方法、様々な技術やアイディアが必要となります。この講座では企業の生産現場で実際に行われている人材を育てる基礎研修を通して、ものづくりの技術やアイディアを体験することができます。この機会に、ものづくりの奥深さに触れてみませんか。
		※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「ものづくり人材育成の実際～ものづくり人材を育てる基礎研修の体験を通して～」 キャノン株式会社 ものづくり人材育成企画部 部長 池田 淳

104	体験する商業教育研修講座	
	小中高特 13人 9月19日（金）	本講座では、「商業」の学びに生かすための広い知見を得ることを目的として、スーパーマーケット「カスミ」本社および中央流通センターで、マーケティングと流通の実践について学びます。地域のライフラインを支えるスーパーマーケットの役割について、生活に身近な小売業と流通業のしくみを通して、貴重な体験から新たな視点とスキルが得られる講座です。この機会にぜひ、ビジネスや生活に必要な実践的な力となる「商業」の魅力に触れてみませんか。 ※ 本講座は、全ての校種、全ての教科の教員が受講を希望することが可能です。 講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」 ユニテッド・スーパーマーケット・ホールディングス株式会社（株式会社カスミ人事付外向） デジタル本部 デジタル開発 ITサービス担当マネージャー 安藤 元一 講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実践」 株式会社カスミ 営業統括本部 SCM 池延 太実夫
105	ICTを活用した授業づくり研修講座	
	小中高特 各班50人 A班：7月23日（水） B班：7月24日（木） C班：7月25日（金）	全ての生徒たちの可能性を引き出す、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けて、ICT活用が必要不可欠なものとなっております。本講座は、教科・科目の目標を授業の主軸におきながら、「文房具としてのICT活用」を合言葉に、9月以降実施する単元・題材の授業づくりとその協議を行い、実践的指導力の向上を図ります。 ※ 班ごとに演習に使用する授業支援ソフトやコースが異なります。ベーシックコース、アドバンスコース共に授業づくりを行います。ベーシックコースについては、選択した授業支援ソフトの基本操作についても取り扱います。申し込みの際は、下記から選択となります。 A班：Google Workspace for Educationのベーシックコース 又は SKYMENU Cloudのベーシックコース B班：Google Workspace for Educationのアドバンスコース 又は ロイロノート・スクールのベーシックコース C班：SKYMENU Cloudのアドバンスコース 又は ロイロノート・スクールのアドバンスコース
106	新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座	
	小中高特 60人 8月20日（水）	今年度取り上げる教育課題は、「学校における生成AIの活用」です。GIGAスクール構想により1人1台端末が実現している現在において、ICTを効果的に活用し、多様な学びの場を一層充実させることが必要となっております。本講座では、学校現場においての生成AI活用の基本的な考え方や、事例を交えながらいかに推進していくかについて、講義、実践発表、演習、研究協議を通して学んでいきます。 講義「学校における生成AIの活用」 札幌国際大学基盤教育部 准教授 安井 政樹
107	義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座	
	小中高特 45人 8月1日（金）	義務教育段階におけるプログラミング教育に関する知識と技術を習得し、指導力の向上を図ります。今年度は、小学校と中学校の実践発表の後、実習を2つ実施します。 ※ 小・中・高のつながりを意識して、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等が受講可能です。実習①及び実習②の各コースからそれぞれ一つずつ選択できます。義務教育段階でどのようなプログラミング教育に取り組んでいるかを理解し、小・中・高の連携を図っていきましょう。 実習① A（小学校 基礎）、B（小学校 基礎～発展）、D（中学校 技術分野 計測・制御） 実習② B（小学校 基礎～発展）、C（小学校 教科等横断的）、E（中学校 技術分野 双方向性）

教育相談課の希望研修講座

108	「不登校」を考える研修講座	
	小中高特 84人 9月3日（水）	講義・演習・研究協議を通して「不登校」について考えます。具体的な支援方法について交流し、明日からの教育活動に生かしましょう。令和3年度～令和5年度不登校対応研修講座、令和6年度「不登校」を考える研修講座を受講していない方が対象です。 講義・演習「学びの保障に向けた支援の充実」 東京大学 先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー 中邑 賢龍
109	思春期の子どもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座	
	小中高特 72人 10月15日（水）	自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期の子どもの特徴と適切な関わり方について学びます。そして、子どもや保護者の心に寄り添うためのソーシャルスキルを演習で体験し、今後の関わりに生かしましょう。令和4年度～令和6年度に受講していない方が対象です。 講義・演習「思春期の子どもの心の危機と向き合う」 東京都立大学 准教授 勝又 陽太郎

110	教育相談（初級）研修講座	
	小中高特 各班56人 第1日 A班：8月6日（水） B班：8月18日（月） 第2日 A班：12月10日（水） B班：12月12日（金）	講義・演習を通して、話を聴く態度や信頼関係を築く関わりについての理論や方法を学びます。さらに、実際の個別面接を想定したロールプレイを行い録音し研究協議を行い、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。全日程を受講できる方が対象です。A班かB班のいずれかを申込み時に選択してください。 第1日：講義・演習「教育相談の基礎」 茨城大学 名誉教授・特任教授 正保 春彦
111	教育相談（中級）研修講座	
	小中高特 40人 第1日 7月28日（月） 第2日 1月16日（金）	講義・演習や研究協議を通して、話し手の自己探索を支援する関わりについての理論と方法を学び、教育相談に関する資質・能力の向上を図ります。教育相談（初級）研修講座を修了している方で、全日程を受講でき、児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接をし、その録音と作成した逐語記録を持参することが可能な方が対象です。 第2日：講義・演習「教育相談の実践」 茨城キリスト教大学 教授 櫻井 由美子
112	教育相談（上級）研修講座	
	小中高特 24人 第1日 7月3日（木） 第2日 10月17日（金） 第3日 1月23日（金）	講義・演習や研究協議を通して、自立に導く関わりについての理論と方法を学び、学校における教育相談体制の中心となる資質・能力の向上を図ります。教育相談（中級）研修講座を修了している方で、全日程を受講でき、児童生徒や保護者の許可を取り、個別面接をし、その録音と作成した逐語記録を持参することが可能な方が対象です。 第1日：講義・演習「教育相談の応用」 筑波大学 教授 杉江 征 第2日：講義・演習「教育相談の発展」 茨城大学 教授 生越 達
113	問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談研修講座	
	小中高特 72人 7月8日（火）	アサーションの理論と方法について講師の講義・演習から学び、授業や日々の関わりにどのように生かせるか一緒に考えましょう。午後は、グループアプローチの演習を通して、こどもを支える教育相談について理解を深めます。事前に動画を視聴してから受講してください。グループアプローチは構成的グループエンカウンターかクラス会議のいずれかを申し込み時に選択してください。 講義・演習「授業に生かすカウンセリング」 茨城キリスト教大学 教授 中島 美那子

特別支援教育課の希望研修講座

114	自立活動指導力向上研修講座	
	小中高 120人 第1日 8月21日（木） 第2日 12月4日（木）	第1日は、講義・演習、実践発表、プロセスシートの作成を通して、自立活動について学びます。第1日終了後、各学校において自立活動の実践を行っていただきます。第2日は、研究協議を通して各学校での自立活動の授業実践について情報共有を行います。また、演習を通して授業改善を目指し、自立活動の授業づくりについて考えます。2日間の研修と学校での自立活動の指導の実践を通して、自立活動の指導力向上を目指します。 第1日：講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」 江東区立豊洲北小学校 統括校長 喜多 好一
115	読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座	
	小中高特 140人 11月12日（水）	読み書き困難のある児童生徒の認知的背景や支援の在り方等について、講義や実践発表を通して理解を深めます。3つの分科会（①ひらがな・漢字の指導、②文・文章の指導、③アルファベット・英単語の指導）から2つ選択していただき、読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法について考えていきます。 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 筑波大学 助教 三益 亜美

116	通常の学級における特別支援教育研修講座 小中高 120人 9月11日（木） 通常の学級における多様なニーズのある児童生徒や、特別支援教育の視点を踏まえた学級経営について、講義・演習や実践発表を通して考えていきます。また、特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応に関して研究協議を行います。児童生徒への支援方法を考えたり、話し合ったりすることを通して、特別支援教育の理解を深めていきます。 講義・演習「通常の学級における特別支援教育」 ノートルダム清心女子大学 准教授 青山 新吾
-----	---

b 実施要項

希望研修	77
------	----

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和7年度 高等学校等マネジメント研修講座

1 目的

学校教育に関する組織マネジメント及び人材育成に関する研修を行い、学校における諸問題への対応に資するとともに、社会の変化に対応した新しい時代の学校運営に必要な資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	県立中学校、県立高等学校、県立中等教育学校
職	高等学校籍の教諭（主幹教諭・指導教諭を含む）、養護教諭
条件	○以下の条件を全て満たす者 ・受講を希望する者又は校長が推薦する者 ・校務分掌等における役職経験の有無にかかわらず学校マネジメントに関心があり、校内のミドルリーダーとして今後の学校運営等に改革意欲のある者 ・より広い視野に立った教員として、資質向上の意欲に富み、学校運営において指導的な役割を担うことができる者 ・原則として、令和8年3月31日現在で、35歳から45歳の者 ・全日程の受講が可能な者 ○提出書類 ・自己PR文「今後、学校改革に向けて取り組みたいこと」（400～600字） 〔様式〕：https://drive.google.com/drive/u/2/folders/1zq_7jRkTtz0rroOWxNCeKuCkF0NLemjX 〔提出先〕：message@edu.pref.ibaraki.jp 〔締切り〕：令和7年4月25日
対象外	前年度までに本講座を受講した者

3 定員

30人程度

4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	6月25日（水）	茨城県教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日	6月26日（木）	
第3日	7月10日（木）	
第4日	9月10日（水）	
第5日	10月1日（水）	
第6日	10月2日（木）	
第7日	11月6日（木）	
第8日	12月18日（木）	

5 日程

期日及び時間：6月25日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	開講式 教育研修センター所長
	9:45	講話「これからのスクールリーダーに期待すること」 高校教育課長
	10:30	講義・演習「教育の未来と新しい学校の在り方Ⅰ」 県立学校協力者
	11:50	昼食
	12:50	講話「リーダーとは」 学識経験者（企業経営者）

	14:15	講話「生徒を主語にした学校をつくる」 学識経験者
	15:45	リフレクション

期日及び時間：6月26日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	講話「本県教育課題とスクールミッション」 高校教育課高校教育改革推進室長
	10:30	講義・演習「教育の未来と新しい学校の在り方Ⅱ」 県立学校協力者
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「学校ビジョンの構築」 大学教授
	15:30	リフレクション

期日及び時間：7月10日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第3日	9:30	イントロダクション
	9:50	講義・演習「県立学校の法的位置付け」 高校教育課人事担当管理主事
	11:00	講義・演習「教育公務員の身分」 高校教育課人事担当管理主事
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「教員のサービスの在り方」 高校教育課人事担当管理主事
	13:50	講義・演習「勤務時間の関連規定」 高校教育課人事担当管理主事
	14:40	講義・演習「共通テーマ『休日・休暇』」 高校教育課人事担当管理主事
	15:20	研究協議「個別テーマ研究の進め方」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	15:50	リフレクション

期日及び時間：9月10日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第4日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「個別テーマ研究の中間検討会Ⅰ」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	12:00	昼食
	13:00	演習・協議（5分散会） 「共通テーマ研究の中間検討会」 高校教育課人事担当管理主事
	15:30	リフレクション

期日及び時間：10月1日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第5日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「個別テーマ研究の中間検討会Ⅱ」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「個別テーマ研究の発表準備」（5分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	15:30	リフレクション

期日及び時間：10月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第6日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「新しい学びの推進」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	演習・研究協議「学校経営における課題発見と改善の方策」 高校教育課副参事
	14:40	研究協議「私がつくりたい未来の学校」 センター職員（学校経営支援グループ）
	15:45	リフレクション

期日及び時間：11月6日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第7日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「事例研究～事例に学ぶ、問題の焦点化と関連法規～」 高校教育課人事担当管理主事
	10:10	研究発表「個別テーマ研究の研究発表」（4分散会） 高校教育課人事担当管理主事
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「個別テーマ研究の研究協議」（4分散会） 高校教育課人事担当課長補佐、高校教育課人事担当管理主事
	15:30	リフレクション

期日及び時間：12月18日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第8日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究発表「私がつくりたい未来の学校」 センター職員（学校経営支援グループ）
	12:00	昼食
	13:00	研究発表（午前に同じ）
	15:40	閉講式「リーダーとして更なる進化へ」 教育研修センター所長

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 学校組織マネジメント（基礎）研修講座

※ 令和7年度は実施しない。学校組織マネジメント（発展）研修講座との隔年実施とする。

1 目的

学校組織マネジメントの基本的事項に関する研修をとおり、各学校におけるマネジメントの推進者の育成を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教務主任、部主事、事務職員等

3 定員

120人

4 期日及び会場

*月*日（*） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：*月*日（*） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメントとはー」 大学教授
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント(2)ー組織経営面のマネジメントー」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習（午前に続く）
	14:20	講義・演習「学校組織マネジメント(3)ー業務遂行面のマネジメントー」 大学教授
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

学校要覧やグラントデザイン等、自校の学校教育目標や教育の重点が確認できるもの。

令和7年度 学校組織マネジメント（発展）研修講座

1 目的

学校組織マネジメントの戦略・ビジョンに関する研修をとおり、各学校におけるマネジメントの推進者の育成を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教務主任、部主事、事務職員等
対象外	令和5年度までに本講座を受講した者

3 定員

50人

4 期日及び会場

8月18日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月18日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「学校組織マネジメント(1)ー組織マネジメント概論ー」 大学教授
	10:50	講義・演習「学校組織マネジメント(2)ー学校の戦略マップづくりー」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習（午前に続く）
	14:20	講義・演習「学校組織マネジメント(3)ー戦略の共有と振り返りー」 大学教授
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 学校要覧やグランドデザイン等、自校の学校教育目標や教育の重点が確認できるもの。
- (2) 自校に対して組織的な学校経営を行うことを想定し、SWOT分析を行った上で、どこに突破口（機会や強み）や問題（脅威や弱み）があるのかを整理し、今後の自校に必要なことを考察しておく。

令和7年度 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導研修講座

1 目的

日本語指導における今日的課題とともに、授業の工夫・改善に係る理論と実践について理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、私立小中学校、国公立特別支援学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

100人

4 期日及び会場

8月19日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月19日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「帰国・外国人児童生徒への日本語指導ーことばの力を知り、育てる教育へー」 大学教授
	10:50	研究協議「帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導の実際」 センター職員
	11:30	昼食
	12:30	実践発表・研究協議「帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導の実際」 教諭、センター職員
	13:40	ワークショップA「アセスメントの実践と評価」 大学教授、大学院生
		ワークショップB「アセスメントの評価と指導計画」 大学教授、大学院生
		ワークショップC「日本語指導の授業実践」 実践発表協力者、大学院生
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 「自ら問い、考え、語る」 これからの道德教育研修講座

1 目的

道德教育に係る授業の理論と実践についての理解を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

4 期日及び会場

7月9日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：7月9日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	（公開講義 No. 01） 講義「『自ら問い、考え、語る』 これからの道德教育」 文部科学省関係講師
	11:20	実践発表・協議「『自ら問い、考え、語る』 道德教育の実際」 センター職員、教諭
	12:20	昼食
	13:20	演習・研究協議「『自ら問い、考え、語る』 道德教育を目指して」 センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 小・中学校

- ・自校で使用している道德科の教科書
- ・担当校種の学習指導要領解説 特別の教科 道德編 平成29年7月 文部科学省

(2) 高等学校

- ・自校で使用している道德教育の資料

(3) 特別支援学校

- ・自校で使用している道德科の教科書又は道德資料

令和7年度 自治的能力を育む特別活動研修講座

1 目的

特別活動の果たすべき役割とこれからの課題を明確にし、特別活動における指導力の向上と教育活動の充実を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

※ 実践発表・協議については、第1分科会 学級（ホームルーム）活動(1)、第2分科会 学級（ホームルーム）活動(2)、(3)、第3分科会 児童会活動、第4分科会 生徒会活動のいずれかを申込時に選択する。

※ 学級（ホームルーム）活動(1)～(3)は、学習指導要領の分類による。

4 期日及び会場

7月30日（水） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：7月30日（水） 13時～16時（受付開始12時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	13:00	イントロダクション
	13:10	（公開講義 No. 02） 講義・演習「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」 文部科学省関係講師
	14:50	実践発表・協議「一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動」（4分科会） 【第1分科会 学級（ホームルーム）活動(1)】 教諭、センター職員 【第2分科会 学級（ホームルーム）活動(2)、(3)】 教諭、センター職員 【第3分科会 児童会活動】 教諭、センター職員 【第4分科会 生徒会活動】 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説 特別活動編 文部科学省

(2) 担当校種の以下の資料（教員向けパンフレット）

・みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動（小学校編）

・学校文化を創る特別活動（中学校・高等学校編）

※ 教員向けパンフレットは、国立教育政策研究所のWebページからダウンロードできる。

令和7年度 こどもを主語にした学びをつくる国語科研修講座

1 目的

単元のまとまりを意識した授業デザインや指導と評価の一体化について学び、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を探究することを通して、確かな授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校、国公立特別支援学校、私立小学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

60人

4 期日及び会場

第1日：共通 8月19日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：Ⅰ期 2月13日（金） オンライン研修（所属校等、研修専念できる場所）

Ⅱ期 2月17日（火） 同上

※ 第2日は、申込時に希望日を選択する。

5 日程

期日及び時間：【共通】8月19日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 NO. 11） 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	講義・研究協議「こどもを主語にした学びに向けた国語科の授業改善」 センター職員
	14:00	演習・研究協議「こどもを主語にした学びに向けた授業改善の構想」 センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：【Ⅰ期】2月13日（金）【Ⅱ期】2月17日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:50	講義・研究協議「国語科の授業づくりと評価の改善」 センター職員
	11:00	研究協議「こどもを主語にした学びに向けた授業改善の共有」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 小学校学習指導要領解説 国語編 平成29年7月 文部科学省

(2) 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【小学校国語】 令和2年3月

(3) 担当学年の教科書

令和7年度 生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン研修講座

1 目的

生徒が探究的に学ぶ授業デザインについての講義・研究協議・演習を通して自らの授業構想の課題を明確にし、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	国語科を担当する者

3 定員

30人

4 期日及び会場

第1日：8月4日（月） 県教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：02976-78-2121）
第2日：2月3日（火） 同上

5 日程

期日及び時間：8月4日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 10） 講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン」 学識経験者
	12:00	昼食
	13:00	研究協議・演習「探究的な授業デザインの構想」 センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：2月3日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:50	研究協議「授業実践の共有と省察」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議・演習「授業実践の共有と省察」 センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- ・中学校学習指導要領解説 国語編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 国語編 平成30年7月 文部科学省
- ・担当している授業の教科書
- ・所属先の年間指導計画

令和7年度 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（社会・地理歴史・公民）

1 目的

指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	A班：小学校、特別支援学校で社会科を担当する者 B班：中学校、特別支援学校で社会科を担当する者 C班：高等学校、特別支援学校で地理歴史・公民科を担当する者

3 定員

A班 20人、B班 24人、C班 12人 計56人

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (小学校)	9月5日(金) 国土地理院	2月13日(金) 教育研修センター
B班 (中学校)	9月19日(金) 国土地理院	
C班 (高等学校)	9月16日(火) 国土地理院	

※ 国土地理院 〒305-0811 茨城県つくば市北郷1 (TEL 029-864-1111)

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410 (電話：0296-78-2121)

5 日程

【A班（小学校）】

期日及び時間：9月5日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 国土地理院職員 センター職員
	10:30	講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり～地理的分野を中心に～」 国土地理院職員 センター職員
	15:30	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校、社会）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり～地理的分野を中心に～」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【B班（中学校）】

期日及び時間：9月19日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 国土地理院職員 センター職員
	10:30	講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり～地理的分野を中心に～」 国土地理院職員 センター職員
	15:30	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、社会）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり～地理的分野を中心に～」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【C班（高等学校）】

期日及び時間：9月16日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業改善の構想」 国土地理院職員 センター職員
	10:30	講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと学習評価」 大学教授
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり～地理的分野を中心に～」 国土地理院職員 センター職員
	15:30	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、地理歴史・公民）第4日と合同開催とする。

※ 講義・演習「思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり～地理的分野を中心に～」は、地理・歴史・公民の3分野を1年ごとに交代して実施する。

【全班共通】

期日及び時間：2月13日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する授業改善の共有～表現する場面でのパフォーマンス評価～」（3分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「社会の成り立ちから学び、よりよい社会を創造する力を育成する社会・地理歴史・公民科教育の在り方」 大学教授
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 社会編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 社会編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 地理歴史編 平成30年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 公民編 平成30年7月 文部科学省

8 その他

- ・第1日の昼食については、受講決定後に改めて連絡する。

令和7年度 シティズンシップ教育研修講座

1 目的

社会科、地理歴史・公民科を中心としたシティズンシップ教育を教科等横断的に実施していくための講義や実践発表、演習・研究協議を通して、児童生徒の市民性を育成するために必要な資質と指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

45人

4 期日及び会場

8月20日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月20日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・研究協議「教科等横断的な視点を踏まえたシティズンシップ教育」 大学教授等
	11:30	実践発表・模擬授業・演習「教科等横断的な視点を踏まえたシティズンシップ教育の実際」 （3分科会） 第1分科会 教諭 センター職員 ※特活・総合：地区交流会企画運営 第2分科会 教諭 センター職員 ※社会科①：哲学対話 第3分科会 教諭 高校教育課指導主事 センター職員 ※社会科②：対立と合意
	12:30	昼食
	13:30	模擬授業・演習「模擬裁判から取り組んだシティズンシップ教育の実際」（3分科会） 第1分科会 裁判所職員 教諭 センター職員 第2分科会 検察庁職員 教諭 センター職員 第3分科会 弁護士会職員 教諭 センター職員
	14:30	研究協議「シティズンシップ教育を取り入れた実践の構想」 （3分科会） 第1分科会 教諭 センター職員 第2分科会 教諭 センター職員 第3分科会 教諭 高校教育課指導主事 センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり研修講座（算数・数学）

1 目的

指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する講義・演習・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	A班：小学校、特別支援学校で算数を担当する者 B班：中学校、特別支援学校で数学を担当する者 C班：高等学校、特別支援学校で数学を担当する者

3 定員

A班 32人、B班 16人、C班 16人

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班 (小学校)	9月11日（木） オンライン研修	2月17日（火） 教育研修センター
B班 (中学校)	9月19日（金） オンライン研修	2月5日（木） 教育研修センター
C班 (高等学校)	9月16日（火） オンライン研修	2月12日（木） 教育研修センター

※ オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

【A班（小学校）】

期日及び時間：9月11日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	（公開講義 No. 14） 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する算数科学習指導の在り方」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・研究協議「今、求められる算数科の授業改善」 センター職員
	14:00	実践発表・研究協議「算数科の授業デザインの実際」 教諭、センター職員
	14:45	演習「授業改善の構想」（4分散会） センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

期日及び時間：2月17日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（4分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「実生活の問題を解決する算数の学び」 大学教授
	15:45	リフレクション

【B班（中学校）】

期日及び時間：9月19日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	（公開講義 No. 17） 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・研究協議「今、求められる数学科の授業改善」 センター職員
	14:00	実践発表・研究協議「数学科の授業デザインの実践」 教諭、センター職員
	14:45	演習「授業改善の構想」（2分散会） センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

※ 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、数学）第4日と合同開催とする。

期日及び時間：2月5日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（2分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「数学的な見方・考え方を軸とした授業改善の在り方」 文部科学省講師（大学教授）
	15:45	リフレクション

※ 講義・研究協議「数学的な見方・考え方を軸とした授業改善の在り方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（中学校、数学）第7日と合同開催とする。

【C班（高等学校）】

期日及び時間：9月16日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	（公開講義 No. 15） 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方」 文部科学省講師（大学教授）
	11:45	昼食
	12:45	講義・研究協議「今、求められる数学科の授業改善」 センター職員
	14:00	実践発表・研究協議「数学科の授業デザインの実践」 教諭、センター職員
	14:45	演習「授業改善の構想」（2分散会） センター職員
	15:50	リフレクション

※ 第1日は、オンライン研修とする。

※ 講義・研究協議「思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、数学）第4日と合同開催とする。

期日及び時間：2月12日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「授業デザインの共有」（2分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	14:00	講義・研究協議「数学科における探究的な学び」 文部科学省講師（大学教授）
	15:45	リフレクション

※ 講義・研究協議「数学科における探究的な学び」は、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、数学）第7日と合同開催とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 算数編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 数学編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 数学編 平成30年7月 文部科学省

令和7年度 「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学科授業力向上研修講座

1 目的

算数・数学教育に関する講義及び実践発表と研究協議を通して、「データ」を活用・分析した授業づくりの視点について理解するとともに、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

90人

4 期日及び会場

8月20日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月20日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義「『データ』を活用・分析する力を育む授業改善」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「『データ』を使った授業づくりの実際」（2分散会） 教諭、センター職員
	14:30	研究協議「『データ』を活用・分析する力を育む授業づくりの工夫」（5分散会） 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 小学校理科観察・実験研修講座

1 目的

小学校理科の基本的な観察・実験を通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小学校、国公立特別支援学校、私立小学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

48人

4 期日及び会場

7月29日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：7月29日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	観察・実験・研究協議「基礎から学ぶ理科の観察・実験」（4分散会） 外部機関職員、センター職員
	12:15	昼食
	13:15	観察・実験・研究協議（午前に同じ）
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して持参・活用する。

令和7年度 思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験研修講座

1 目的

観察・実験・研究協議を通して、思考力・判断力・表現力を育成する実践的な指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	理科を担当する者

3 定員

48人

4 期日及び会場

8月19日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月19日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	観察・実験・研究協議（4分散会） 「エネルギー領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 「粒子領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 「生命領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 「地球領域における思考力・判断力・表現力を育成する観察・実験の工夫」 教諭、センター職員
	12:15	昼食
	13:15	観察・実験・研究協議（午前に同じ）
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 音楽科授業づくり研修講座

1 目的

音楽科教育に関する講義及び体験的な研修を通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤を除く）
条件	A班：小学校、特別支援学校で音楽科を担当する者 B班：中学校、高等学校、特別支援学校で音楽科を担当する者

3 定員

A班 40人、B班 25人

4 期日及び会場

A班：7月28日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
B班：1月30日（金） 同上

5 日程

期日及び時間：【A班】7月28日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	実践発表・実技「器楽（打楽器）を活用した授業づくり」 教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実技「“教える”から“子どもが学びを深める”授業づくりの工夫」 学識経験者（大学教授等）
	15:30	リフレクション

期日及び時間：【B班】1月30日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	実践発表・研究協議「複数の領域や分野を関連させた授業づくりの工夫」 教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・研究協議「音楽教育と著作権」 学識経験者（大学教授等）
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 音楽編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編 平成30年7月 文部科学省

令和7年度 我が国の伝統音楽研修講座

- 1 目的
音楽科における我が国の伝統・文化に関する教育に対する認識を深め、基本的な授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	音楽科を担当する者

3 定員

箏コース 20人（10人×2班）
三味線コース 5人
※ 申込時に希望コースを選択する。

4 期日及び会場

第1日：8月21日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日：8月22日（金） 同上

5 日程

期日及び時間：8月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・鑑賞「和楽器を用いた表現」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師
	10:20	【箏コース】 実技「箏の奏法」（2分散会） 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師
		【三味線コース】 実技「三味線の奏法」 東京藝術大学音楽学部同声会茨城支部 講師
	12:00	昼食
	13:00	実技（午前に同じ）
	15:00	研究協議「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの構想」 センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：8月22日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・研究協議「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの工夫」 学識経験者（大学教授等）
	12:10	昼食
	13:10	演習「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの工夫」 センター職員
	15:00	実践発表・研究協議「我が国や郷土の伝統音楽の授業づくりの実際」 教諭 センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

箏・三味線の中から選択した楽器

令和7年度 図画工作・美術科授業づくり研修講座

1 目的

感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく図画工作・美術科の授業づくりについて理解を深めることを通して、授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	A班：小学校、特別支援学校で図画工作科を担当する者 B班：中学校、高等学校、特別支援学校で美術科を担当する者

3 定員

A班、B班 各25人

4 期日及び会場

第1日：共通 7月23日（水） 茨城県近代美術館 〒310-0851 水戸市千波町東久保666の1（電話：029-243-5111）
第2日：A班 8月19日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
B班 8月21日（木） 同上

5 日程

期日及び時間：【共通】7月23日（水） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	イントロダクション
	10:30	（公開講義 No. 09） 講義・研究協議「これからの社会を生きるこどもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育」 大学教授、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「美術館と連携した授業づくり」 美術館職員、センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：【A班】8月19日（火）【B班】8月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	【A班】 実技「造形的な見方・考え方を働かせる図画工作科の授業づくり」 教諭、センター職員
		【B班】 実技「美術文化についての理解を深める授業づくり」 教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	【A班】 実践発表・実技・研究協議「造形的な見方・考え方を働かせる図画工作科の授業づくり」 教諭、センター職員
		【B班】 実践発表・実技・研究協議「美術文化についての理解を深める授業づくり」 教諭、センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 第1日、第2日共通

担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 図画工作編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 美術編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 芸術（音楽 美術 工芸 書道）編 音楽編 美術編 平成30年7月 文部科学省

(2) 第2日

別途連絡する。

8 その他

- ・第1日の昼食は、弁当持参を基本とするが、館内レストランを利用してもよい。

令和7年度 ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり研修講座

1 目的

授業改善に関する実践的・体験的な研修を通して、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する態度を育む体育・保健体育科の授業づくりについて理解を深めるとともに授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	・小学校勤務者は、保健体育科の免許状を有する者、または体育主任を担当する者 ・申込者多数の場合は、令和6年度の未受講者を優先とする

3 定員

40人

4 期日及び会場

7月3日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：7月3日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:15	講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 大学教授
	12:15	昼食
	13:15	演習「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」 センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 体育編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 保健体育編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 保健体育編 平成30年7月 文部科学省

(2) 運動のできる服装、運動靴

(3) PC等の端末

担当：教科教育課
 直通：0296-78-3213
 担当：情報教育課
 直通：0296-78-3211

令和7年度 みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり研修講座

1 目的

実践的・体験的な学習活動に関する研修を通して、Technology教育の授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、国公立特別支援学校、私立中学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	技術・家庭科〔技術〕を担当する者

3 定員

25人

4 期日及び会場

8月21日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 12） 講義・研究協議「技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題」 文部科学省講師
	11:30	昼食
	12:30	実践発表・演習「『Technology』の指導と評価の工夫」 教諭、センター職員
	15:40	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 平成29年7月 文部科学省

令和7年度 できるをいっぱい！家庭科授業づくり研修講座

1 目的

実践的・体験的な学習活動に関する研修を通し、家庭科教育について理解するとともに授業力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	小学校、中学校、高等学校は、家庭科を担当する者

3 定員

小・中・特部会 30人
高・特部会 15人

4 期日及び会場

8月20日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月20日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・研究協議「主体的・対話的で深い学びの視点からの家庭科の授業づくり」 大学教授
	11:30	昼食
	12:30	【小・中・特部会】 実践発表・演習「知識と技能の習得に向けた家庭科の授業づくり」 教諭、センター職員
		【高・特部会】 実践発表・演習「生徒の主体的な学びを促す授業づくりと学習評価」 高校教育課指導主事、教諭
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 担当校種の学習指導要領解説

- ・小学校学習指導要領解説 家庭編 平成29年7月 文部科学省
- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭編 平成29年7月 文部科学省
- ・高等学校学習指導要領解説 家庭編 平成30年7月 文部科学省

(2) 担当校種の教科書

(3) 【小・中・特部会】については、裁縫用具

令和7年度 英語発信力向上を目指す授業づくり研修講座

1 目的

小中学校の外国語（英語）科の授業における言語活動を充実させることを通して、児童生徒の英語発信力向上につながる授業力を身に付ける。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、国公立特別支援学校、私立小・中学校
職	国公立：教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭
条件	外国語活動、外国語（英語）科を担当する者

3 定員

80人

4 期日及び会場

10月8日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：10月8日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 18） 講義・演習「英語発信力向上を目指す授業づくり」 文部科学省関係講師
	11:30	昼食
	12:30	実践発表・演習「英語発信力向上を目指した授業づくりの実践」 教諭、センター職員
	14:00	講義・演習「英語発信力向上を目指した授業改善」 義務教育課指導主事
	14:50	研究協議「英語発信力向上を目指した言語活動の構想」 センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 平成29年7月 文部科学省（データでの持参可）
中学校学習指導要領解説 外国語編 平成29年7月 文部科学省（データでの持参可）
- (2) 担当学年で使用している教科書

令和7年度 自ら問いを立て探究する英語科研修講座

1 目的

自らの授業実践の特徴や考え方の枠組みについて振り返り、言語化や対話をすることで、何について学ぶのかを受講者自身が導き出し、行動計画の立案、実践と省察を通して、英語科教員としての資質能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）
条件	外国語（英語）を担当する者

3 定員

20人

4 期日及び会場

第1日：7月2日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：12月12日（金） 同上

5 日程

期日及び時間：7月2日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	演習・研究協議「実践の振り返りと課題の設定」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	演習・研究協議「行動計画の立案」 センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：12月12日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	研究協議「実践の共有と省察」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	（午前に同じ）
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 夏季自然体験活動研修講座

1 目的

自然博物館や環境科学センターの施設を活用した観察・実験・実習・調査などを通して、自然体験活動に係る指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く） 私立：教頭、教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

A班（博物館を活用した理科教育） 24人

B班（河川観察等を通じた体験型環境教育） 24人

※ 申込時に希望班を選択する（両班への参加も可）

4 期日及び会場

A班：7月31日（木） ミュージアムパーク茨城県自然博物館 〒306-0622 坂東市大崎700（電話：0297-38-2000）

B班：8月21日（木） 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 〒300-0023 土浦市沖宿町1853（電話：029-828-0960）

5 日程

【A班（博物館を活用した理科教育）】

期日及び時間：7月31日（木） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	イントロダクション
	10:10	実習・講義「動物分野における体験・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員
	11:20	実習・講義「植物分野における体験・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員
	12:30	昼食・館内施設見学
	13:30	実習・講義「地学分野における体験・博物館の活用例紹介」 自然博物館職員、センター職員
	14:30	講義・演習「博物館における教育普及・授業における博物館の利用」 自然博物館職員、センター職員
	15:30	リフレクション

【B班（河川観察等を通じた体験型環境教育）】

期日及び時間：8月21日（木） 10時～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	イントロダクション
	10:10	実習「河川源流の観察」（水辺の環境の観察、採水） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	実習「河川中流の観察」（水辺の環境の観察、採水） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員
	13:30	実習「河川河口付近の観察」（水辺の環境の観察、採水） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員
	14:30	実習「河川上流から下流の水質調査」（色、におい、透視度、COD等） 霞ヶ浦環境科学センター職員、センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して持参・活用する。

7 携行品

(1) 共通

- ・昼食、飲み物
- ・雨具（合羽等）
- ・野外活動に適した服装（長袖、帽子等）
- ・（必要に応じて）デジタルカメラ、虫よけスプレー、採取したものをを入れるファスナー付きビニル袋等

(2) 班別

- A班（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）：飲み物は、ふたのあるペットボトルや水筒とする。
雨具は、折りたためない傘は館内に持ち込めない。
- B班（茨城県霞ケ浦環境科学センター）：長靴又はよごれてもよい靴

8 その他

- ・実習のため、動きやすい服装で参加する。
- ・茨城県霞ケ浦環境科学センターと実習場所の往復は、茨城県霞ケ浦環境科学センターのバスを利用する。

令和7年度 未来を創るSTEAM教育研修講座

1 目的

科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、アート（Art）、数学（Mathematics）の5つの領域を中心に、探究と創造を組み合わせた教科等横断的な学びについて理解し、指導力の向上と教育活動の充実を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校、県・市町村教育委員会、県教育事務所
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）、指導主事等 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

80人

4 期日及び会場

第1日 8月5日（火） 茨城県教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日 11月25日（火） 同上

5 日程

期日及び時間：8月5日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・研究協議「教科等横断的な学びにつながるSTEAM教育」 センター職員
	10:15	実践発表・研究協議「STEAM教育の実際」 教諭、センター職員
	12:15	昼食
	13:15	講義・研究協議「新しい学びを創造するSTEAM教育」 大学教授、センター職員
	15:15	リフレクション

期日及び時間：11月25日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習・研究協議「STEAM教育におけるプログラミング」 センター職員
	12:15	昼食
	13:15	講義・演習・研究協議「STEAM教育による創造的な学び」 大学教授、センター職員
	15:15	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 探究的な学びをデザインする研修講座
～学校図書館、地域リソース等とともに～

1 目的

探究的な学びの授業デザインを追究することを通して、持続可能な社会の創り手となる児童・生徒を育成する指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校、県・市町村教育委員会、県教育事務所
職	国公立：校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、司書教諭、講師（非常勤除く）、学校司書、指導主事等 私立：教諭、養護教諭、講師（非常勤除く）

3 定員 60人

4 期日及び会場

第1日 7月30日（水） JICA筑波 〒305-0074 つくば市高野台3-6（電話：029-838-1111）
第2日 1月30日（金） 県教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：7月30日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・研究協議「今、求められる探究的な学び」 センター職員
	10:00	講義・研究協議「探究的な学びを支える学校図書館」 学識経験者
	11:30	昼食（図書館見学・施設見学を含む）
	13:00	実践発表・研究協議「探究的な学びの実践」 JICA職員、教諭（JICA依頼の実践発表） センター職員
	14:30	研究協議・演習「探究的な学びの授業デザインの構想」 JICA職員、教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：1月30日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 20） 講義・研究協議「探究的な学びにおける地域との連携」 学識経験者
	11:30	昼食
	12:30	研究協議・演習「探究的な学びの実践の共有」 センター職員
	15:30	リフレクション

6 研修講座資料等

課題・研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 その他

第1日の昼食は各自で持参し、研修会場内でとること。

令和7年度 体験する農業教育研修講座

1 目的

農業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても農業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
対象外	本年度、新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、農業）を受講する者

3 定員

10人

4 期日及び会場

10月2日（木） JAなめがたしおさい なめがた地域センター
〒311-3835 行方市島並857-35（電話：0299-72-1880）

5 日程

期日及び時間：10月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・実習「茨城県農業の現状～甘藷の取組から学ぶ～」（所外研修） 関連施設担当職員（JA中央会・JAなめがたしおさい）、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習（午前と同じ）
	15:45	リフレクション

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、農業）第8日と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 体験する工業教育研修講座

1 目的

工業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても工業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
対象外	本年度、新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、工業）を受講する者

3 定員

10人

4 期日及び会場

10月2日（木） キヤノン株式会社ものづくり推進センター 〒302-8501 取手市白山7-5-1（電話：03-3758-2111）

5 日程

期日及び時間：10月2日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・実習「ものづくり人材育成の実際～ものづくり人材を育てる基礎研修の体験を通して～」 関連施設担当職員、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習（午前と同じ）
	15:45	リフレクション

※ 新規採用教員〔初任者〕研修講座（高等学校、工業）第8日と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 体験する商業教育研修講座

1 目的

商業教育に関する理解を深めることを通し、他教科においても商業の見方・考え方を生かすための広い知見の獲得を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭
対象外	本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、商業）を受講する者

3 定員

13人

4 期日及び会場

9月19日（金）

午前：株式会社カスミつくばセンター 〒305-0831 つくば市西大橋599-1（電話：029-850-1850）

午後：株式会社カスミ中央流通センター 〒315-0056 かすみがうら市上稲吉2045-1（電話：029-831-2431）

5 日程

期日及び時間：9月19日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・実習「スーパーマーケットにおける販売戦略について」 関連施設担当職員、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・実習「スーパーマーケットにおける物流システムの実践」 関連施設担当職員、センター職員
	15:45	リフレクション

※ 中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（高等学校、商業）第4日と合同開催とする。

※ 現地集合、現地解散。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 ICTを活用した授業づくり研修講座

1 目的

授業支援ソフトを中心としてICTの利用技術を習得することにより、個別最適な学びや協働的な学びの推進に資する。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、実習助手（実習講師、実習教諭含む）、講師（非常勤除く） 私立：教諭

3 定員

A班（Google Workspace for Educationのベーシックコース 又は SKYMENU Cloudのベーシックコース）50人

B班（Google Workspace for Educationのアドバンスコース 又は ロイロノート・スクールのベーシックコース）50人

C班（SKYMENU Cloudのアドバンスコース 又は ロイロノート・スクールのアドバンスコース）50人

※ 申込時に希望班を選択する。

※ 演習・実習は、ベーシックコース、アドバンスコースともに授業づくりを行う。なお、ベーシックコースは基本操作についても取り扱う。

4 期日及び会場

A班：7月23日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

B班：7月24日（木） 同上

C班：7月25日（金） 同上

5 日程

期日及び時間：【A班】7月23日（水）【B班】7月24日（木）【C班】7月25日（金）

9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	研究協議・実践発表「授業支援ソフトの活用」 教諭、センター職員
	11:00	演習・実習「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を促進するICT活用」 教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	演習・実習（午前に同じ）
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 教材作成に必要な資料（教科書、資料集等）

※ 電子データ（動画、静止画ファイル等）を使用する場合は、Googleドライブにて持参

(2) 教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード

令和7年度 新しい教育課題に対応するための教育の情報化研修講座

1 目的

教育の情報化に係る課題解決の糸口となる知識と技術の習得により、社会や学校の情報化の進展に対応する資質・能力を育成する。本年度のテーマは、「学校における生成A I の活用」とする。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

60人

4 期日及び会場

8月20日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月20日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	（公開講義 No. 26） 講義「学校における生成A I の活用」 学識経験者
	11:15	実践発表・研究協議「学校における生成A I 活用を学ぶ」 教諭、センター職員
	12:15	昼食
	13:15	演習・研究協議「学校における生成A I 活用のこれから」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

教育情報ネットワークのメールアドレスとパスワード

令和7年度 義務教育段階におけるプログラミング教育研修講座

1 目的

プログラミング的思考を身に付けるための学習活動について理解を深め、実践力を身に付けることにより、学校段階を貫いたプログラミング教育の体制づくりに資する。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭

3 定員

45人

※ 実習について、実習①は、Aコース（小学校段階基礎的な内容主にA分類）、Bコース（小学校段階基礎～発展的な内容）、Dコース（中学校 技術・家庭科〔技術〕計測・制御のプログラミング）のいずれかを、実習②は、Bコース（小学校段階基礎～発展的な内容）、Cコース（小学校段階教科等横断的な内容）、Eコース（中学校 技術・家庭科〔技術〕ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング）のいずれかを申込時に選択する。

4 期日及び会場

8月1日（金） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：8月1日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:40	演習・研究協議「教育の情報化と義務教育段階におけるプログラミング教育」 センター職員 実践発表「義務教育段階におけるプログラミング教育の実践」 教諭
	11:00	実習①「義務教育段階におけるプログラミング教育の実践」 【Aコース（小学校段階基礎的な内容主にA分類）】 センター職員 【Bコース（小学校段階基礎～発展的な内容）】 教諭、センター職員 【Dコース（中学校 技術・家庭科〔技術〕）計測・制御のプログラミング】 教諭、センター職員
	12:10	昼食
	13:10	実習②「義務教育段階におけるプログラミング教育の実践」 【Bコース（小学校段階基礎～発展的な内容）】 センター職員 【Cコース（小学校段階教科等横断的な内容）】 教諭、センター職員 【Eコース（中学校 技術・家庭科〔技術〕）ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミング】 教諭、センター職員
	14:30	演習・研究協議「プログラミング教育の授業づくり」 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

モデルコース

- 小学校段階の基礎を学びたい方 A→B
- 小学校段階の基礎から発展的な内容を学びたい方 B→C
- 小学校段階の発展的な内容を学びたい方 B又はD→C
- 小中のつながりを学びたい方 D→C
- 中学校段階を学びたい方 D→E

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

演習・研究協議「プログラミング教育の授業づくり」で実践計画を立てる際に必要な教科書等

令和7年度 「不登校」を考える研修講座

1 目的

「不登校」の現状を理解し、「不登校」に対する教員の対応力向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、養護教諭、養護助教諭、講師（非常勤除く）
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・令和3年度～令和5年度不登校対応研修講座 ・令和6年度「不登校」を考える研修講座

3 定員

84人

4 期日及び会場

9月3日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日：講座前日まで

区分	研修内容・講師等
事前学習	「生徒指導提要」（文部科学省 令和4年12月）の「第10章 不登校」を読んでおく。

期日及び時間：9月3日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	（公開講義 No. 29） 講義・演習「学びの保障に向けた支援の充実」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・演習「社会的自立に向けた支援」 センター職員
	14:00	研究協議「社会的自立に向けたチーム支援」（7分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座

1 目的

思春期の特徴を理解し、児童生徒や保護者と信頼関係を築きながら、児童生徒の成長を支援するためのソーシャルスキルの向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、養護教諭、養護助教諭、講師（非常勤除く）
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・令和4年度、令和5年度思春期のこどもと保護者に寄り添う教師のためのソーシャルスキル研修講座 ・令和6年度思春期のこどもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル研修講座

3 定員

72人

4 期日及び会場

10月15日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：10月15日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	（公開講義 No. 30） 講義・演習「思春期のこどもの心の危機と向き合う」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・演習「こどもと保護者の心に寄り添うためのソーシャルスキル」（6分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 教育相談（初級）研修講座

1 目的

話を聴く態度や信頼関係を築く関わりについての理論と方法を学ぶことを通し、教育相談に関する資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	全日程の受講が可能な者（全日程を受講した者が受講修了となる）
対象外	以下のいずれかの講座を受講した者 ・平成22年度～平成28年度10年経験者研修講座の選択研修「教育相談」 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座の選択研修「教育相談」 ・本講座

3 定員

A班、B班 各56人

※ 申込時に希望班を選択する。

4 期日及び会場

班	第1日	第2日
A班	8月6日（水） 教育研修センター	12月10日（水） 教育研修センター
B班	8月18日（月） 教育研修センター	12月12日（金） 教育研修センター

※ 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（初級編）」

期日及び時間：【A班】8月6日（水）【B班】8月18日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	（公開講義 No. 28） 講義・演習「教育相談の基礎」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・演習「個別面接の基礎1」（7分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：【A班】12月10日（水）【B班】12月12日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	講義・演習「個別面接の基礎2」（7分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」（7分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

第2日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等

令和7年度 教育相談（中級）研修講座

- 1 目的
自己探索を支援する関わりについての理論と方法を学ぶことを通し、教育相談に関する資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	以下のアとイをともに満たす者 ア 以下のいずれかの講座を受講した者で、全日程の受講が可能な者（全日程を受講した者が受講修了となる） ・教育相談（初級）研修講座 ・平成22年度～平成28年度10年経験者研修講座の選択研修「教育相談」 ・平成29年度中堅教諭等資質向上研修講座の選択研修「教育相談」 イ 第2日において、児童生徒又は保護者と対面の個別面接をし、その録音と記録（逐語記録）を持参することが可能な者
対象外	過去に本講座を受講した者

- 3 定員
40人

4 期日及び会場

第1日：7月28日（月） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日：1月16日（金） 同上

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（中級編）」

期日及び時間：7月28日（月） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「個別面接の実際」（10分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」（10分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：1月16日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「教育相談の実践」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	研究協議「個別面接の実践記録を基にした検討」（10分散会） 教諭又は養護教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 第1日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等
- (2) 第2日：逐語記録 5部（A4判、横書き、両面印刷）、録音データ及び録音データを再生するための機器

令和7年度 教育相談（上級）研修講座

1 目的

自立に導く関わりについての理論と方法を学ぶことを通し、学校における教育相談体制の中心となる資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く）
条件	以下のアとイをともに満たす者 ア 以下のいずれかの講座を受講した者で、全日程の受講が可能な者（全日程を受講した者が受講修了となる） ・教育相談（中級）研修講座 ・他の機関が主催した、教育相談（中級）研修講座と同等若しくはそれ以上の研修 イ 第3日において、児童生徒又は保護者と対面の個別面接をし、その録音と記録（逐語記録）を持参することが可能な者
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

24人

4 期日及び会場

第1日：7月3日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：10月17日（金） 同上

第3日：1月23日（金） 同上

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「面接の基本的な技法（上級編）」

期日及び時間：7月3日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「教育相談の応用」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・演習「個別面接の実際1」（6分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：10月17日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:45	講義・演習「教育相談の発展」 大学教授
	11:45	昼食
	12:45	講義・演習「個別面接の実際2」（6分散会） センター職員
	14:10	研究協議「個別面接のロールプレイを基にした検討」（6分散会） センター職員
	15:45	リフレクション

期日及び時間：1月23日（金） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第3日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「個別面接の実践記録を基にした検討」（6分散会） センター職員
	12:00	昼食
	13:00	研究協議（午前に同じ）
	15:40	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

- (1) 第2日：個別面接を録音・再生するためのICレコーダー等
- (2) 第3日：逐語記録 5部（A4判、横書き、両面印刷）、録音データ及び録音データを再生するための機器

令和7年度 問題行動等を未然防止！こどもを支える教育相談研修講座

1 目的

問題行動等を未然防止するために、児童生徒の成長を支える教育相談やカウンセリングの理論と方法を学び、学校生活の様々な場面で児童生徒を支援できる資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校、私立小・中・高等学校
職	国公立：主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師（非常勤除く） 私立：教諭、講師（非常勤除く）

3 定員

72人

※ 午後の講義・演習については、Aコース（構成的グループエンカウンター）、Bコース（クラス会議）のいずれかを申込時に選択する。

4 期日及び会場

7月8日（火） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日：講座前日までに視聴（詳細は、「研修講座資料室」に掲載する）

区分	研修内容・講師等
事前 視聴	「問題行動等の未然防止の理論と方法」

期日及び時間：7月8日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「授業に生かすカウンセリング」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	【Aコース（構成的グループエンカウンター）】 講義・演習「構成的グループエンカウンターによるこどものよりよい人間関係づくり」 センター職員
		【Bコース（クラス会議）】 講義・演習「クラス会議によるこどもが安心できる学級づくり」 センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 自立活動指導力向上研修講座

1 目的

自立活動の指導に関する講義及び演習等を通して、専門的な知識を深め、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
条件	特別支援学級又は通級指導教室を担当している者
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

120人

4 期日及び会場

第1日：8月21日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日：12月4日（木） 同上

5 日程

期日及び時間：8月21日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 33） 講義・演習「学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「自立活動の授業の実際」 教諭、センター職員
	14:10	演習「自立活動におけるプロセスシートの作成～実態把握から指導の手立ての検討～」（分散会） 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：12月4日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	9:40	研究協議「自立活動の指導の実際」 センター職員
	10:40	研究協議「学びを支える自立活動の授業実践～プロセスシートを活かして～」（分散会） センター職員
	12:30	昼食
	13:30	研究協議「学びを支える自立活動の授業づくり～授業力向上を目指して～」（分散会） センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

7 携行品

(1) 2日間共通

- ・「小・中学校の先生のための自立活動の指導プロセス解説『すんなり自立活動』」及び「自立活動実践事例集」をセンターWebページの「研修講座資料室」からダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して持参する。

(2) 第2日

- ・第1日に作成したプロセスシートに実践内容まで記入したワークシート、実践で用いた教材教具等
- ・特別支援学校学習指導要領解説自立活動編 平成30年3月 文部科学省

令和7年度 読み書き困難のある児童生徒への指導法研修講座

1 目的

読み書き困難のある児童生徒への具体的な指導方法に関する講義及び演習等を通して、指導力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
対象外	過去に本講座を受講した者

3 定員

140人

※ 演習・研究協議については、第1分科会（ひらがな・漢字の指導）、第2分科会（文・文章の指導）、第3分科会（アルファベット・英単語の指導）のうち二つの分科会を申込時に選択する。

4 期日及び会場

11月12日（水） オンライン研修（所属校等、研修に専念できる場所）

5 日程

期日及び時間：11月12日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 35） 講義・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・演習「読み書き困難のある児童生徒への指導の工夫」（3分科会） 【第1分科会（ひらがな・漢字の指導）】 教諭、センター職員 【第2分科会（文・文章の指導）】 教諭、センター職員 【第3分科会（アルファベット・英単語の指導）】 センター職員
	15:45	リフレクション

※ 中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校）第5日【選択研修】と合同開催とする。

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 通常の学級における特別支援教育研修講座

1 目的

小・中・高等学校の通常の学級における授業、学級運営における特別な教育的支援を要する児童生徒への支援の在り方について、知識を深め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	国公立小・中学校、県立高等学校
職	教諭、講師（非常勤除く）
条件	通常の学級を担任している者
対象外	・本年度、中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校）を受講する者 ・本年度、中堅教諭等〔後期〕資質向上研修講座（小学校、中学校、高等学校）を受講する者 ・過去に本講座を受講した者

3 定員

120人

4 期日及び会場

9月11日（木） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

5 日程

期日及び時間：9月11日（木） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 34） 講義・演習「通常の学級における特別支援教育」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表・演習「特別な教育的支援を必要とする児童生徒への対応」（2分科会） 【第1分科会（学習の課題）】 教諭、センター職員 【第2分科会（行動の課題）】 教諭、センター職員
	15:45	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

令和7年度 特別支援教育の専門性を高めるための研修講座

- 1 目的
地域と連携した特別支援教育に関する専門的な知識を深め、資質・能力の向上を図る。

2 対象（条件等）

校種	公立小・中学校、県立高等学校、国公立特別支援学校
職	主幹教諭、指導教諭、教諭、講師（非常勤除く）
条件	小・中：特別支援学級・通級指導教室を2年以上担当した者 高：通級指導教室を2年以上担当した者
対象外	・本年度、新規採用教員〔初任者〕研修講座（特別支援学校）を受講する者 ・本年度、新任特別支援学級・通級指導教室担当者研修講座を受講する者 ・令和4年度までに特別支援学級・通級指導教室担当者指導力向上研修講座を受講した者

- 3 定員
70人

4 期日及び会場

第1日：7月23日（水） 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日：11月18日（火） 同上

5 日程

期日及び時間：7月23日（水） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	9:30	イントロダクション
	10:00	（公開講義 No. 32） 講義・演習「グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～」 学識経験者
	12:00	昼食
	13:00	研究協議「障害のある児童生徒を理解するためのアセスメント」 センター職員
	15:00	研究協議「児童生徒理解を支援に生かすために」 センター職員
	15:50	リフレクション

期日及び時間：11月18日（火） 9時30分～16時（受付開始9時）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	9:30	イントロダクション
	10:00	講義・演習「発達性協調運動症の理解と支援～運動や動作にぎこちなさのある子どもへのアプローチ～」 大学教授
	12:00	昼食
	13:00	実践発表「運動や動作にぎこちなさのある子どもへのアプローチの工夫」 教諭、センター職員
	14:10	研究協議「運動や動作にぎこちなさのある子どもへのアプローチの実際」 教諭、センター職員
	15:50	リフレクション

6 研修講座資料等

研修講座資料等を、教育研修センターWebページの「研修講座資料室」に掲載する。教育情報ネットワークの個人アカウントでログイン後、資料等をダウンロードし、タブレット端末等に保存するか、印刷して活用する。

(12) 公開講義

- ・研修講座や教育研究において実施する主に外部講師による講義を公開します。
- ・研修講座の受講ではなく、講義の聴講として参加いただきます。研修講座の受講認定にはなりません。
- ・募集に関する詳細は、令和7年4月下旬にお知らせします。

教職教育に関する公開講義

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
No. 01	「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育		7月9日(水)	9:40～11:10
	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、授業力の向上につなげます。	オンライン	小中高特
	堀田 竜次			100
No. 02	一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動		7月30日(水)	13:10～14:40
	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	文部科学省の教科調査官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生方の実践を共有し、協議を行うことで、自治的能力を育むために大切なことについて理解を深めます。	オンライン	小中高特
	和久井 伸彦			100

教科教育に関する公開講義

No. 03	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～		6月5日(木)	12:45～14:15
	日本大学 教授	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	オンライン	高
	野内 頼一			50
No. 04	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～生徒のウェルビーイングを高めるために～		6月20日(金)	12:45～14:15
	青山学院大学 教授	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	オンライン	中
	益川 弘如			50
No. 05	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		6月24日(火)	9:45～11:45
	国立教育政策研究所初等中等教育研究部 総括研究官	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	オンライン	高
	白水 始			50
No. 06	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～児童のウェルビーイングを高めるために～		6月25日(水)	12:45～14:15
	京都市総合教育センター指導室長	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	オンライン	小
	東良 雅人			50
No. 07	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		7月9日(水)	9:45～11:45
	熊本大学 特任教授	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	オンライン	中
	前田 康裕			50
No. 08	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		7月11日(金)	9:45～11:45
	福島大学 准教授	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	オンライン	小
	鳴川 哲也			50
No. 09	これからの社会を生きるこどもたちに求められる資質・能力を育む芸術教育		7月23日(水)	10:30～12:00
	奈良教育大学 教授	茨城県近代美術館を会場にして実施します。美術を中心に、芸術教育や創造教育の意義や価値について学びます。公開講義後は、展覧会も自由にご鑑賞ください。	集合	小中高特
	竹内 晋平			50
No. 10	主体的・対話的で深い学びの視点からの探究的な授業デザイン		8月4日(月)	10:00～12:00
	文教大学 教授	生徒が探究的に学ぶ授業デザインについて理解を深め、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について学びます。	オンライン	中高特
	藤森 裕治			50
No. 11	主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善		8月19日(火)	9:30～12:00
	大妻女子大学 教授	主体的・対話的で深い学びの視点から、国語科の授業づくりについての理解を深め、授業力向上につなげます。	集合	小特
	樺山 敏郎			20
No. 12	技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題		8月21日(木)	10:00～11:30
	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官	技術・家庭科〔技術分野〕の現状と課題を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて理解を深め、授業力向上につなげます。	オンライン	中特
	渡邊 茂一			50

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
No. 13	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方		8月25日(月)	13:00～15:00
	学校法人桐蔭学園 理事長	学校教育におけるウェルビーイングの視点や、研究する上での留意点、ウェルビーイングが向上した具体的な姿などについてご講義いただきます。	オンライン	小中高特
	溝上 慎一			50
No. 14	思考力・判断力・表現力を育成する算数科学習指導の在り方		9月11日(木)	9:45～11:45
	NPO法人エデュ・ネットワーク・プラン 代表理事	思考力・判断力・表現力を育成するための授業づくりや授業改善について学びます。	オンライン	小特
	齊藤 一弥			50
No. 15	思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方		9月16日(火)	9:45～11:45
	国立教育政策研究所 教育課程調査官	思考力・判断力・表現力を育成するための授業づくりや授業改善について学びます。	オンライン	高特
	小林 廉			50
No. 16	国語科の授業づくりと評価の改善		9月19日(金)	9:30～12:00
	国立教育政策研究所 学力調査官・教育課程調査官	中学校国語科における、指導と評価の一体化について考えていきます。国語科で目指す資質・能力の育成に向けて、授業づくりや授業改善について学びます。	集合	中特
	加藤 咲子			10
No. 17	思考力・判断力・表現力を育成する数学科学習指導の在り方		9月19日(金)	9:45～11:45
	岩手大学 准教授	思考力・判断力・表現力を育成するための授業づくりや授業改善について学びます。	オンライン	中特
	佐藤 寿仁			50
No. 18	英語発信力向上を目指す授業づくり		10月8日(水)	10:00～11:30
	文部科学省初等中等教育局 教科調査官	英語を使いながら習得する帰納的なプロセスを重視した、言語活動中心の授業づくりについて学びます。	オンライン	小中特
	早川 優子			50
No. 19	ウェルビーイングを向上させる「個別最適な学び」と「協働的な学び」		10月20日(月)	10:00～12:00
	京都大学 准教授	今、求められる授業づくりや授業改善をするにあたり、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実をどうとらえるべきか、実践的研究に取り組む上でのポイントなどをご講義いただきます。	オンライン	小中高特
	石井 英真			50
No. 20	探究的な学びにおける地域との連携		1月30日(金)	10:00～11:30
	東京都市大学大学院 教授	探究的な学びにおける地域との連携のあり方について学び、理解を深めます。	オンライン	小中高特
	佐藤 真久			50
No. 21	創造的な学びに着目した理科教育		2月5日(木)	14:00～15:30
	玉川大学教職大学院 教授	マルチメディア教材や生成AIといった新しいテクノロジーを活用して理科教育におけるさまざまな問題の解決や改善を考えていく講義です。	オンライン	中
	久保田 善彦			50
No. 22	創造的な学びに着目した理科教育		2月12日(木)	13:30～15:30
	日本大学 教授	新しい時代に必要とされる資質・能力を育成するために、高校理科教員は何ができるのか。様々な事例を参考に、これからの理科教育の在り方を考えます。	オンライン	高
	野内 頼一			50
No. 23	創造的思考力を育むアート		2月12日(木)	13:30～15:30
	武蔵野美術大学 准教授	デザイン思考やアート思考など、これからの社会で求められるアートの力について、学校教育ではどのように育むことが大切か、学校と社会とのつながりを踏まえて考えます。	オンライン	小中高特
	石川 卓磨			50
No. 24	豊かな情操を培う造形遊び		2月19日(木)	13:30～15:30
	鳴門教育大学 教授	小学校図画工作科における「造形遊び」の意義や魅力、授業づくりの工夫などについて、事例を基に学びます。	オンライン	小中高特
	山田 芳明			50

情報教育に関する公開講義

番号	講義名・講師名	主な内容	実施日	時間
			実施形態	対象校種 募集定員
No. 25	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用について		5月19日(月)	10:00 ～11:40
	茨城大学教育学部 教授	新しい時代における子供たちの学びのスタイルとは何か、その際に、1人1台端末環境におけるICTはどのような役割を担っていくのかについて学びます。新しい時代における子供のたちの学びのスタイルを実現するための、1人1台端末の効果的な活用について理解を深めます。	オンライン	小中高特
	毛利 靖			100
No. 26	学校における生成AIの活用		8月20日(水)	9:45 ～11:15
	札幌国際大学基盤教育部 准教授	令和6年12月、初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドラインが改訂され、学校現場においても生成AIの活用がさらに加速することが予想されます。本講義では、学校現場においての生成AI活用の基本的な考え方や、事例を交えながら生成AIの効果的な活用について理解を深めます。	オンライン	小中高特
	安井 政樹			100
No. 27	学校の教育の情報化推進におけるミドルリーダーの視点と役割～デジタル・シティズンシップ教育から考える～		11月18日(火)	10:00 ～11:30
	一般社団法人メディア教育研究室 代表理事	GIGAスクール構想の実現に向けて、1人1台端末の整備が進められました。これからの学校教育活動において、デジタル・シティズンシップ教育をどのように進めていくべきかを、ミドルリーダーとしての視点から実践事例を交えながら学んでいきます。	オンライン	小中高特
	今度 珠美			100

教育相談に関する公開講義

- ・教育相談に関する公開講義は、全てオンデマンド動画配信となります。指定された期間内に動画を視聴してください。
- ・実施日は研修講座の実施日であり、講義動画を収録・編集した上で、後日配信いたします。

No. 28	教育相談の基礎		8月18日（月）以降に通知	
	茨城大学 名誉教授・特任教授	臨床心理学、グループアプローチが専門であり、カウンセリングについて独自の見地から提案を行っている講師の講義・演習を通して、話を聴く態度や信頼関係を築く関わりについて理解を深めましょう。	オンデマンド	小中高特
	正保 春彦			制限なし
No. 29	学びの保障に向けた支援の充実		9月3日（水）以降に通知	
	東京大学 先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー	こどもたちのあるがままを肯定して応援しようをコンセプトに、児童生徒・保護者・教職員を対象とした東大先端研「LEARN」プロジェクトを展開している講師の講義・演習を通して、学びの保障に向けた支援について考えましょう。	オンデマンド	小中高特
	中邑 賢龍			制限なし
No. 30	思春期のこどもの心の危機と向き合う		10月15日（水）以降に通知	
	東京都立大学 准教授	令和6年度と同様、『学校における自殺予防教育プログラムGRIP』の編者でもあり、自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について学び、理解を深めましょう。	オンデマンド	小中高特
	勝又 陽太郎			制限なし

特別支援教育に関する公開講義

	学習指導要領と特別支援学校の授業づくり～主体的・対話的で深い学びのための指導のポイント～		6月26日(木)	13:00～14:30
No. 31	茨城大学 教授	特別支援学校における各教科の授業づくりについて学びます。主体的・対話的で深い学びのための指導のポイントを茨城大学教授、新井英靖先生より具体的な事例を交えながらご講義いただき、各教科の本質と授業づくりについて理解を深めます。	オンライン	小中高特
	新井 英靖			100
	グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～		7月23日(水)	10:00～12:00
No. 32	特別支援教育ネット代表	発達障害の症状がいくつか認められるものの、診断までには至っていない「グレーゾーン」の児童生徒がいます。グレーゾーンの児童生徒の二次障害を防ぐためには、どのような支援を行うとよいのかについて法務技官としての経験が豊富な小栗先生より学びます。	オンライン	小中高特
	小栗 正幸			100
	学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～		8月21日(木)	10:00～12:00
No. 33	江東区立豊洲北小学校 統括校長	自立活動の指導における第一人者である喜多先生から自立活動の基本的な考え方について学びます。児童生徒の困難さを改善・克服するために、実態把握や目標設定、流れ図から、指導内容にどのように繋がればよいか考えていきます。	オンライン	小中高特
	喜多 好一			100
	通常の学級における特別支援教育		9月11日(木)	10:00～12:00
No. 34	ノートルダム清心女子大学 准教授	通常の学級には、特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍しており、特別支援教育の視点を取り入れることが求められています。インクルーシブ教育の研究の第一人者である青山先生の講義を通して、学級担任ができること、すべきことについて考えていきます。	オンライン	小中高特
	青山 新吾			100
	読み書き困難のある児童生徒への指導		11月12日(水)	10:00～12:00
No. 35	筑波大学 助教	全般的に知的発達に遅れないのに読み書き困難がある「発達性ディスレクシア」について学びます。読み書き困難の背景や、児童生徒への具体的な指導方法について理解を深めます。	オンライン	小中高特
	三孟 亜美			50

(13) 特別研修

ア 長期研修（内地留学）

a 目的

長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。

b 実施期間及び研究分野

3か月：令和7年9月25日（木）から令和7年12月24日（水）まで

6か月：令和7年9月25日（木）から令和8年3月24日（火）まで

研究分野	実施期間
○各教科に関する研究 国語、社会、地理歴史、公民、算数、数学、理科、生活、体育、保健体育、家庭、技術・家庭、音楽、図画工作、美術、芸術（音楽、美術）、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業	3か月
○小学校における外国語活動に関する研究	3か月
○総合的な学習（探究）の時間に関する研究	3か月
○生徒指導に関する研究	3か月
○教育の情報化（ICTを活用した授業研究、プログラミング教育、ネットワークの教育利用、情報モラルの指導、校務の情報化、事例研究）に関する研究	3か月、6か月
○道徳に関する研究	3か月、6か月
○特別活動に関する研究	3か月、6か月
○教育課題（組織マネジメント、社会に開かれた教育課程、学校評価、カリキュラム・マネジメント、校内研修等）に関する研究	3か月、6か月
○学級（ホームルーム）経営に関する研究	3か月、6か月
○教育相談（人間関係づくり、個別対応・集団対応の在り方等）に関する研究	3か月
○特別支援教育（障害のあるこどもの教育相談、特別支援教育に係る調査研究及び教材開発等）に関する研究	3か月、6か月

イ スキルアップ研修

a 目的

指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は4月～9月の6か月間とし、通所研修は、計6回とする。

c 研修方法

研修は、校内研修を基本とし、教育研修センターへの通所研修を月1回実施する。

ウ 指導改善研修

a 目的

学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営上等に課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は原則として1年間、研修の開始時期は原則として4月とする。

c 研修方法

教育研修センターで実施する。ただし、研修の内容等によっては、所属校、所属校以外の学校及び学校以外の教育機関等においても実施する。

2 教育研究に関する事業

(1) 目的

学校との協力による実践的研究から効果的な指導の在り方を追究し、研究成果の提供等を通して学校の教育活動を支援する。

(2) 研究事業

● 研究期間：令和5年4月～令和7年3月（令和7年度研究発表会）

研究分野	教職に関する研究
研究主題	学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育ー「できること」「意義を感じること」「したいこと」を大切に探究的な学びを通してー
研究の内容	中央教育審議会 諮問・答申等や学習指導要領に基づき、有識者から指導・助言を受けながら、研究協力校と茨城県教育研修センター教職教育課指導主事で、学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育について研究する。
研究方法	年間4回の研究協議会を設定し、学ぶことと自己の将来をつなげるキャリア教育について協議する。うち1回は、有識者から指導・助言を受ける。担当指導主事による年間4回程度の学校訪問を行い、授業参観、研究協議等における指導・助言により研究を推進する。

研究分野	教科に関する研究
研究主題	自立した学習者を育む学校
研究の内容 (教科)	学習指導要領の趣旨に基づき、令和の日本型学校教育の構築を目指した学びの実現に向け、多様な子供一人一人が自立した学習者として学び続けていけるよう、学校として授業改善に取り組む研究を行うことで、各学校での組織的な授業づくりの改善・充実に資する。
研究方法	各教科で校内研究（研修）の担当者と共同して、2年間にわたり、年4回の研究協議会を開催する。関係機関等との連携大学教授等、研究協力校との連携を図りながら、研究を推進する。

研究分野	特別支援教育に関する研究
研究主題	特別な教育的支援を必要とする児童生徒の学びに向かう力を育む支援の在り方ー自己の理解と行動を調整する力を引き出す授業実践を通してー
研究の内容	小・中・高等学校の知的、自閉症・情緒障害特別支援学級及び通級指導教室並びに知的障害特別支援学校の児童生徒に対して、自己を理解し、調整を促すための学びシートや手引き等のツールの開発・活用を通して、学びに向かう力を育むための支援の在り方について提案する。
研究方法	大学教授、研究協力員との連携を図りながら、2年間にわたり、年4回の研究協議会を開催する。各協力員による授業実践や指導主事による授業参観や研究協議を重ねながら研究を推進する。

● 研究期間：令和6年4月～令和8年3月（令和8年度研究発表会）

研究分野	教育の情報化に関する研究
研究主題	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用に関する研究
研究の内容	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する上での課題把握と、それらを解決する方策について構想する。そして、その構想に基づき、新しい時代における子供たちの学びのスタイルの実践を提案し、1人1台端末の効果的な活用について探究する。
研究方法	1年次には、研究協力員を委嘱して研究協議会4回と授業研究会1回を開催し、子供たちの学びのスタイルや新しい学びのスタイルを実現する1人1台端末の活用に関する実態調査を行い、課題を把握する。そして、その調査結果を踏まえ、新しい時代における子供たちの学びのスタイルについて検討し、授業研究で検証する。2年次には、新しい学びのスタイルを実現する1人1台端末の効果的な活用について検証する。さらに、本研究の成果をまとめるとともに、その成果を広く公表する。

● 研究期間：令和7年4月～令和9年3月（令和9年度研究発表会）

研 究 分 野	教育相談に関する研究
研 究 主 題	安心して学べる学校
研 究 の 内 容	こども基本法や子どもの権利条約に基づき、児童生徒の声を聴き、児童生徒の声を基にした実践を通して、誰もが安心して学べる学校に向かう方法について提案する。
研 究 方 法	年間3回の研究協議会を設定し、有識者からの指導・助言を受ける。 担当指導主事による年間3回程度の学校訪問を行い、研究協力校との連携を図りながら研究を推進する。

● 研究期間：令和7年4月～令和10年3月（令和9・10年度研究発表会）

研 究 分 野	教科に関する研究
研 究 主 題	ウェルビーイングを向上させる児童生徒の学びの在り方
研 究 の 内 容	教育振興基本計画の方向性に基づき、個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実について実践的研究に取り組む。
研 究 方 法	1年次は、研究協議会を5回実施し、全教科でテーマに関する理論研究を行う。2・3年次は全教科をA班（令和8年度）、B班（令和9年度）に分け、研究主題を踏まえ教科ごとに理論研究を行うとともに研究協力員を委嘱して年5回の研究協議会を開催し、授業研究を行う。

(3) 教育研修センター研究発表会

趣 旨	茨城県教育研修センターにおける研究成果を全県の教育関係者に向けて発表し、その理解と普及を図り、本県教育の向上に資する。
主 催 ・ 会 場	茨城県教育研修センター
期 日	令和7年8月7日（木）、8日（金）
発 表 内 容	教職に関する研究、教科に関する研究、特別支援教育に関する研究
参 加 対 象	県内の小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教職員、県・市町村教育委員会の職員、就学前教育を担当する教職員、県内大学の大学生・大学院生及び全国の教育関係者

3 研修支援に関する事業

担当：教育相談課

直通：0296-78-3219

- (1) 目的 喫緊の課題解決を必要とする学校等に対し、校内でOJTを基礎として実施する指導教諭等による研修会及び各種研修講座の受講者による成果報告等を踏まえ、指導主事等が訪問し助言を行うことにより、各学校が抱える課題の解決に寄与する。
- (2) 対象 学校、複数の学校のグループ、市町村教育委員会（以下「学校等」という。）
- (3) 訪問期間 令和7年6月2日(月) から令和8年1月30日(金) まで
- (4) 訪問者 教育研修センター指導主事、主査、茨城大学教職大学院担当教員
※ 21の学校運営については、原則として教育研修センター指導主事等と茨城大学教職大学院担当教員の双方が訪問する。
- (5) 応募要件 以下のいずれの要件も満たす学校等からの申し込みを受け付ける。

研修体制

- ア 対象分野について、年間の研修計画及びOJT等の体制が構築されている。
- イ 校内研修会の形態を基本とし、参加人数は場合によりその都度少なくとも5人以上とする。
- ウ できるだけ、市町村単位等を含め、他校との合同開催とする。なお、市町村立学校で構成する複数学校のグループは市町村教育委員会を通して申し込むこと。
- エ 指導主事等による講義のみを実施する派遣は行わない。
- オ 国・県・市町村の研究推進校や教育研究会等の研究団体の研究指定校等になっていない。
- カ 学校等は、当該研修後に、成果について振り返り、研修報告書を提出する。

訪問の回数等

- ア 市町村立学校は、1分野の申込みができる。ただし、県立学校及び市町村教育委員会はこの限りではない。
- イ 1分野での訪問は、年度内2回を上限とする。そのうち1回においては研究授業等を実施する。

(6) 手続き等

申込み

- ア 支援を希望する学校等は、様式1-1「研修計画書」を作成する。
- イ 市町村立学校は、様式1-1を市町村教育委員会へ提出する。
- ウ 複数の申し込みをする県立学校及び市町村教育委員会は、すべての申し込みについて優先順位をつける。
- エ 県立学校又は市町村教育委員会は、次のGoogleフォームに必要事項を入力し、様式1-1をアップロードした上で教育研修センターへ申し込む。
I期申込用URL：<https://forms.gle/oGAj7KWiJEPHFbWZ7>
※ II期については、令和7年7月末日までに教育研修センターWebサイトに掲載する。

訪問校等選定

- ア 教育研修センターは、申込みフォームや様式1-1の記載内容を基に審査を行い、訪問する学校等を決定する。
※ 申込状況や計画書等の内容により、要請にお応えできない場合もあることをご了解願います。
- イ 教育研修センターは、県立学校又は市町村教育委員会に、I期は令和7年4月末日で、II期は令和7年9月末日までに通知する。
- ウ 通知後、教育研修センターは、学校等と支援内容について調整を行い、実施日時を決定する。

エ 学校等は、指導案等の資料を実施日の2週間前までに教育研修センターに提出する。

成果検証

学校等は、様式1-2「研修報告書」を記載し、既に提出済みの様式1-1に連結させて、令和8年2月末日までに、次のGoogleフォームから教育研修センターへ提出する。

提出用URL：<https://forms.gle/R4MKMTDrrCr8diWN7>

(7) 訪問者の旅費 教育研修センターが負担する。（予算の範囲内で支援を行う）

(8) そ の 他 ア 申込数の状況や計画書等の内容により要請に応じられない場合もある。

イ 各分野の研修内容によって、オンラインによる研修も可能とする。

(9) 研修支援「研修テーマ（例）」

学校及び市町村教育委員会は、1～21の各分野から選択して申し込んでください。1～21の各分野に当てはまらない教科・領域については、お申込みいただく前に、教育相談課（0296-78-3219）までお問い合わせください。

番号	分野	研修テーマ（例）
1	国語	根拠を明確にして自分の考えを表現する力を育てる授業づくり
2	社会 地理歴史 公民	習得した知識及び技能を活用し、多角的に考える力（多面的・多角的に考察する力）を育成する授業づくり
3	算数 数学	数学的な思考力、判断力、表現力等を育む授業づくり
4	理科	問題解決の力、科学的に探究する力を育てる授業づくり
5	生活	気付きの質を高め、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成する授業づくり
6	音楽	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
7	図画工作 美術	生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する授業づくり
8	家庭 技術・家庭	生活を工夫し創造する資質・能力を育成する授業づくり
9	体育 保健体育	豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成を目指した授業づくり
10	外国語活動 外国語（英語）	言語活動を通して資質・能力を育成する授業づくり 思考力・判断力・表現力を高めるパフォーマンステストの課題設定と評価の工夫
11	道徳	自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の在り方
12	総合的な学習の時間 総合的な探究の時間	探究的な見方・考え方を働かせた、横断的・総合的な学習過程の充実
13	特別活動	よりよい自分や学級・学校生活、人間関係をつくる特別活動の在り方
14	情報教育	情報活用能力の育成（プログラミング教育、デジタル・シティズンシップ教育を含む）、ICTを活用した授業づくり、校務の情報化のためのICT活用
15	食育	各教科における食に関する指導の工夫
16	キャリア教育	一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育

番号	分野	研修テーマ（例）
17	人権教育	一人一人を大切にする人権教育の進め方
18	教育相談	生徒指導・教育相談に関する資質・能力の向上
19	特別支援教育	一人一人の障害の状態等に応じた指導の充実
20	学校保健	健康づくり推進を目指す学校保健の在り方
21	学校運営	学校組織マネジメント・カリキュラムマネジメント等の実践の在り方
22	その他	※ 1～21の各分野に当てはまらない教科・領域については、お申込みいただく前に、教育相談課（0296-78-3219）までお問い合わせください。

4 教育相談に関する事業

(1) 目的

電話相談及び来所相談の充実を図り、不登校やいじめ、非行及び怠学、発達の遅れ等の悩みを抱える幼児児童生徒、保護者及び教職員等の相談に適切に対応する。

(2) こどもの教育相談

ア 相談内容

- ・不登校に関すること
- ・非行や怠学に関すること
- ・進路に関すること
- ・いじめに関すること
- ・子育てやしつけに関すること
- ・その他必要と認めること

イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

ウ 相談方法

電話相談

- ・受付日（時間）： 月曜日から金曜日まで（午前8時30分から午後8時まで）
土曜日（午前8時30分から午後5時まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号： 0296-71-3870

来所相談

- ・受付日（時間）： 月曜日から金曜日まで（午前9時から午後4時30分まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号： 0296-78-3219（教育相談課）
※ 電話予約の上、来所日時を決定

FAXでの相談

- ・受付日（時間）： 毎日（24時間）
- ・FAX番号： 0296-71-3870

メールでの相談

- ・受付日（時間）： 毎日（24時間）
- ・メールアドレス： 7830@center.ibk.ed.jp

(3) 発達が気になるこどもの教育相談

ア 相談内容

- ・発達が気になるこどもに関すること
- ・心理的な問題で悩んでいるこどもに関すること
- ・学習のつまずきや遅れに関する悩み
- ・就学や進路に関すること
- ・その他、身体的・精神的な悩みに関すること

イ 対象

- ・幼児、児童、生徒、保護者、教職員

ウ 相談方法

電話相談

- ・受付日（時間）： 月曜日から金曜日まで（午前9時30分から午後4時30分まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号： 0296-78-2777（特別支援教育課）
※ 電話相談に基づき、必要に応じて来所相談を行う

来所相談

- ・受付日（時間）： 月曜日から金曜日まで（午前9時30分から午後4時30分まで）
※ ただし、休日及び12月29日から1月3日までは除く
- ・電話番号： 0296-78-2777（特別支援教育課）
※ 電話予約の上、来所日時を決定

(4) 専門医による心の健康相談

ア 相談内容

- ・専門医による指導・助言が必要と思われる相談

イ 対象

- ・来所相談の中で専門医による指導・助言が必要と思われる対象者

ウ 相談方法

- ・来所相談

(5) 外部専門家による教育相談

ア 相談内容

- ・発達障害や情緒障害等に関する諸問題
- ・言語障害等に関する諸問題

イ 対象

- ・発達が気になるこどもの教育相談において外部専門家による指導及び助言が必要と認められる幼児、児童及び生徒並びにその保護者
- ・特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒と関わる機会のある教職員

ウ 相談方法

- ・来所相談
 - ・電話番号：0296-78-2777（特別支援教育課）
- ※ 電話予約の上、来所日時を決定

5 教育情報の収集及び提供に関する事業

本教育研修センターでは、教育研修センター内の図書情報室に資料等を収集するとともに、教材データベースに登録し、これを公開することにより教育に役立つ情報の提供に努めている。

(1) 目的

教育に関する情報を収集し、教育機関・学校等に提供する。

(2) 教育情報の種別と提供方法

種別	内容・提供方法
教育文献	〔内 容〕 研究指定校研究報告書、研究紀要等
	〔提供方法〕 図書情報室で閲覧、教育研修センター内貸出
学習指導案	〔内 容〕 県内の教員から提供された学習指導案
	〔提供方法〕 茨城県教育情報ネットワークの教材データベースを利用して提供 教育研修センターのWebページで一部を閲覧可能
教材・教具・素材	〔内 容〕 県内の教員や教育研修センターの指導主事が作成した教材・教具・素材
	〔提供方法〕 教育研修センターのWebページで閲覧可能
研究成果	〔内 容〕 教育研究に関する研究報告書等
	〔提供方法〕 教育研修センターのWebページで閲覧可能
研修資料等	〔内 容〕 研修講座の資料等
	〔提供方法〕 教育研修センターのWebページで閲覧可能

(3) 教材データベースへのアクセス方法

茨城県教育情報ネットワーク（IEIネット）のWebページ（<https://portal.ibk.ed.jp/material-db/list>）にアクセスし、各画面に表示される説明に従って操作することで利用できる。

(4) 図書情報室の利用時間

平日 9:00～17:00（教育研修センターの休所日を除く）

6 茨城県教育情報ネットワークに関する業務

(1) 業務内容

- ア 教育情報ネットワークシステムの運用、保守、管理
- イ 教育情報ネットワーク利用者のアカウント管理
- ウ 教育の情報化に係る情報提供、利用支援
- エ 各教育機関からの技術的相談窓口、技術支援

(2) 提供する主なサービス

- ア 回線サービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- イ フィルタリングサービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- ウ ポータルサイト
 - ・お知らせ、文書通知
 - ・教材データベース
 - ・教育用コンテンツ
- エ Google Workspace for Education
(Gmail、Meet、カレンダー、ドライブ、Classroom、YouTube、組織アドレス帳)
- オ Webサービス
(県立学校及び学校以外の教育機関)
- カ 県立学校合格発表サービス

7 いばらき輝く教師塾（Ⅰ期・Ⅱ期）

担当：教職教育課
直通：0296-78-3212

令和7年度 いばらき輝く教師塾Ⅰ期

1 目的

教職に関心のある大学・短期大学生、高校生等に対し、教員の魅力を伝えとともに、教員に求められる人間性や専門性について、実践的、協働的に学ぶ研修を行うことにより、教員志望への意欲を高める。

2 対象（条件等）

大学、短期大学、大学院等及び高等学校に在籍中の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。又は、常勤講師や非常勤講師等での勤務経験の有無を問わず、教員免許状を保有している者で、県内の公立学校の教員を目指している者。

3 定員

220人

4 期日及び会場

区分	期日
第1日	8月22日（金）
第2日	【A班】9月10日（水） 【B班】9月12日（金）

第1日 教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）

第2日 笠間市内の各市町村立小・中学校・義務教育学校、県立高等学校、県立特別支援学校

5 日程

期日及び時間：8月22日（金） 10時00分～16時（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	開講式、イントロダクション
	10:30	グループワーク「教員になりたいあなたの夢を応援します」 茨城大学教職大学院生
	11:30	昼食
	12:30	講義・演習「教員の仕事の実際」 センター職員
	13:00	グループワーク「教員の魅力を語り合おう」 センター職員、教諭
	14:30	グループワーク「主体的に体験研修に参加するために」 教諭、センター職員
	15:00	第2日ガイダンス（担当職員との顔合わせ、諸連絡等） センター職員
	15:30	リフレクション

期日及び時間：【A班】9月10日（水）【B班】9月12日（金） 8時～16時30分

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	8:00	移動 友部駅 → 各学校
	9:00	体験研修「児童生徒、教職員との交流」 笠間市内の各市町村立小・中学校・義務教育学校、県立高等学校、県立特別支援学校
		昼食（訪問する学校による）
	15:00	閉講式（各学校）
	15:40	移動 各学校 → 友部駅

6 携行品

参加者が決定後、連絡する。

令和7年度 いばらき輝く教師塾Ⅱ期

1 目的

県内の公立学校の教員を目指している者に対し、教員として必要となる素養を高めるとともに、教育現場で実際に必要なスキルや考え方に触れ、教員になることへの意欲を高める。

2 対象（条件等）

大学、短期大学及び大学院等に在籍中の者で、県内の公立学校の教員を目指している者。又は、常勤講師や非常勤講師等での勤務経験の有無を問わず、教員免許状を保有している者で、県内の公立学校の教員を目指している者。

3 定員

240人

4 期日及び会場

区分	期日	会場
第1日	9月28日（日）	教育研修センター 〒309-1722 笠間市平町1410（電話：0296-78-2121）
第2日	10月26日（日）	
第3日	11月9日（日）	
第4日	11月30日（日）	

5 日程

期日及び時間：9月28日（日） 10時00分～15時30分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第1日	10:00	開講式
	10:10	イントロダクション
	10:15	所長講話 教育研修センター所長
	11:10	講義・演習「教員の使命とは」 センター職員
	12:00	昼食
	13:00	講義・演習「魅力のある学級づくり」 センター職員
	14:00	ワークショップ「魅力のある学級づくり」 センター職員
	15:20	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：10月26日（日） 10時00分～15時30分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第2日	10:00	イントロダクション
	10:05	講義・演習「一人一人の子どもが主体的に取り組む授業づくり」 センター職員
	11:00	ワークショップ「一人一人の子どもが主体的に取り組む授業づくり」 センター職員
	12:15	昼食
	13:05	ワークショップ（午前に同じ）
	15:20	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：11月9日（日） 10時00分～15時30分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第3日	10:00	イントロダクション
	10:05	講義・演習「学級で気になる子どもへの支援」 センター職員
	11:00	ワークショップ「学級で気になる子どもへの支援の実際」 センター職員
	12:30	昼食
	13:30	講義・演習「授業におけるICT活用」 センター職員
	14:10	ワークショップ「授業におけるICT活用」 センター職員
	15:20	リフレクション、諸連絡

期日及び時間：11月30日（日） 10時00分～15時30分（受付開始9時30分）

区分	時間	研修内容・講師等
第4日	10:00	イントロダクション
	10:05	講義・演習「一人一人の子どもを大切にする教師の関わり」 教育相談課長
	11:00	ワークショップ「一人一人の子どもを大切にする教師の関わり」 センター職員
	12:20	昼食
	13:20	講義・演習「キャリア教育とは」 センター職員
	14:00	講話「教職をめざすにあたり」 センター職員
	15:00	リフレクション、諸連絡
	15:10	閉講式

6 携行品

昼食等（その都度連絡する）

8 その他の事業

(1) 茨城大学教職大学院との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城大学教職大学院が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

(2) 常磐大学との連携

- ・目的

教育研修センターと常磐大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。

(3) 茨城キリスト教大学との連携

- ・目的

教育研修センターと茨城キリスト教大学が相互に連携協力することにより、茨城県の高度な教育実践を担う教員の育成を目指す。



茨城県教育研修センター

〒309-1722

茨城県笠間市平町1410

TEL : 0296-78-2121 (代表)

FAX : 0296-78-2122

URL : <https://www.center.ibk.ed.jp/>



各課直通

- ・企画管理課企画係…………… (0296) 78-3629
- ・教職教育課…………… (0296) 78-3212
- ・教科教育課…………… (0296) 78-3213
- ・情報教育課…………… (0296) 78-3211
- ・教育相談課…………… (0296) 78-3219
- ・特別支援教育課…………… (0296) 78-4437
- ・教育情報ネットワーク管理室…………… (0296) 78-3003